

五ノ3126

34

政官記録掛藏版

特命全權大使 朱 歐 回 覽 實 記

第一篇

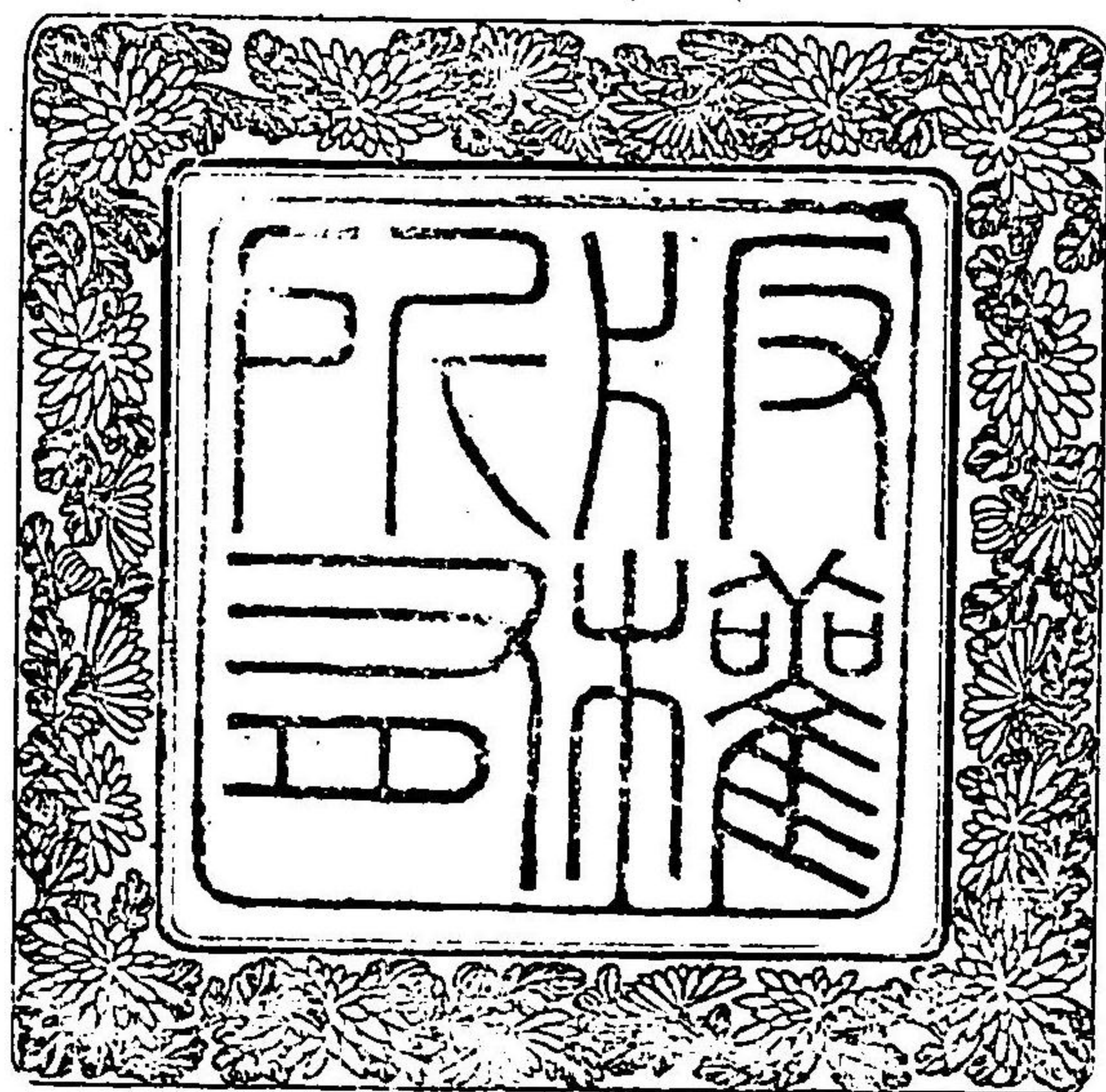
明治十一年十月刊行

3488口

#20
5/5

持命全權大使
米歐回覽實記

29



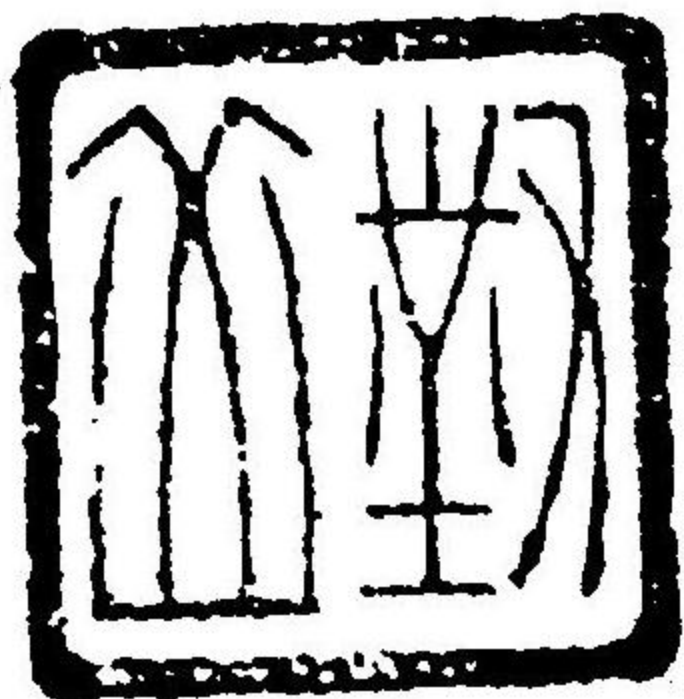
太政官
刊行
記錄掛



光

明治八年三月題

右大臣岩倉具視



米歐回覽實記

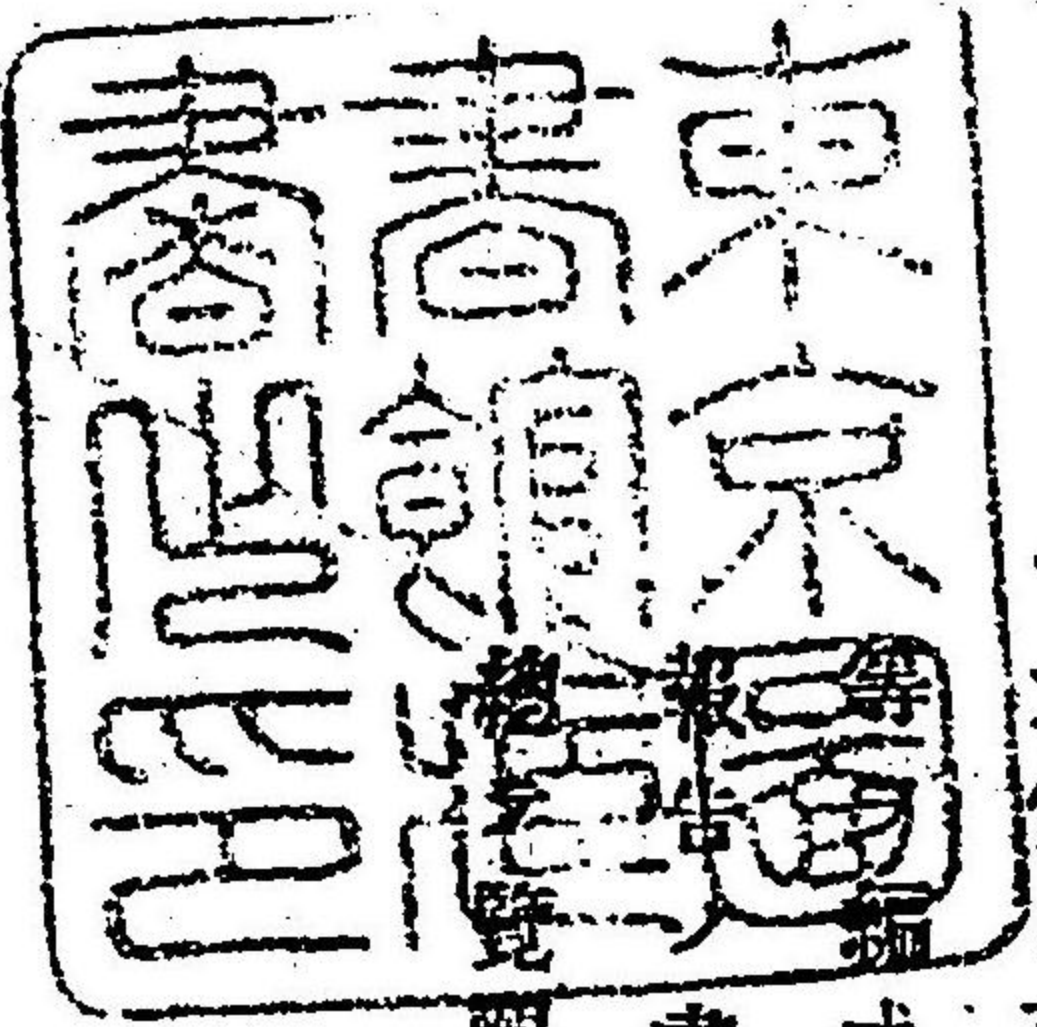
米歐回覽實記

例言

一此書ハ、歐米特命全權大使東京ヲ發シ、太平洋海ヲ航シ、米國ニ留リ、歴瀾的洋ヲ經テ、英蘇兩部ヲ回リ、歐陸ニ渡リ、佛、白、蘭、普、露、蹇、瑞典ノ與ヲ經歷シ、勃ヲ回シテ、日耳曼地方ヨリ、以、埃瑞士ヲ回リ、佛ノ南部ヲスキ、地中海ヨリ、紅海、亞刺伯、印度、支那ノ諸海ヲ航シテ、東京ニ復命スルマテ、日日目撃耳聞セル所ヲ筆記ス、明治四年辛未十一月十日ニ起リ、六年九月十三日ニ止ル、(即西曆千八百七十一年十二月十二日ヨリ同七十三年九月十三日マテ)スヘテ、全一年九个月二十一个日ノ星霜ニテ、米歐兩洲著名ノ都邑ハ、大半回歴ヲ經タリ、

一大使ノ西航スル、書記官ハ使命公務ノ文書ヲ纂メ、大使書類、公署日記、謁見式成シ、又同時派出ノ各省理事官ハ、各國政教兵備ノ底細ヲ視察廉訪シ、書、數大部ヲナセリ、本編ハ大使公務ノ餘、及ヒ各地回歴ノ途上ニ於テ、總覽觀セル實況ヲ筆記ス、是ヲ以テ回覽實記ト名ク、故ニ使節ノ本領ヲル、

※例言



交際ノ應酬政治ノ廉訪ハ、反テ之ヲ略ス、別ニ詳細ノ書アレハナリ、
 一 歐洲ニ於テ全權大使ヲ「アンバサドル」ト稱シ、之ヲ差遣スルハ、異常ノ特典ト
 ナシ、最モ尊重敬待スル使節タリ、我日本ニ於テ、此典ヲ舉行セラレシハ、實
 ニ曠世ノ一事ニテ、乃方今ノ時宜ハ、異常ノ運ニ際會セルコトヲ願ルベシ、明治
 中興ノ政ハ、古今未曾有ノ變革ニシテ、其大要ハ三ニ歸ス、將門ノ權ヲ收メテ、
 天皇ノ親裁ニ復ス、一ナリ、各藩ノ分治ヲ并セテ、一統ノ政治トナス、二ナリ、領
 國ノ政ヲ改メテ、開國ノ規模ヲ定ム、三ナリ、此一アルモ亦改革容易ナラサル
 ニ、其三ヲ并セテ、方今豹變運ニアタル、是殆ト天爲ナリ、人爲ニアラス、其由テ
 然ル所ヲ熟察スレハ、世界氣運ノ變ニ催サル、ニアラサルハナシ、夫レ領國
 ノ法ハ、必ス除カサルベカラス、已ニ國ヲ開ク、一統ノ治ヲナサ、ルヘカラス、
 已ニ一統ノ治ヲナス、將門ノ權ヲ收メサルベカラス、日耳曼ノ聯邦ニ於ル、以
 太利ノ法皇ニ於ル、皆時運ニ催サレ、改革百端危クシテ後ニ維持セリ、我邦今
 日ノ改革モ亦然リ、故ニ内政ノ要已ニ舉リ、外國交際ノ基本ヲ定メント、此異
 常ノ特典ヲ舉行アレリ、今ヨリ後ハ、之ヲ上ニシテ、政府ノ下ニ事ヲ執ルモノ、

此意ヲ識認シ、盛運ヲ維持セサルヘカラス、之ヲ下ニシテハ、國民タルモノ、亦
 此意ヲ識認シ、盛運ニ競勵セサルヘカラス、大使ノ各國ニ歷聘スル、締交ノ責
 任ヲ官ニ負ヒ、採風ノ義務ヲ民ニ盡サント、日日執掌、寧處スルニ暇アラス、寒
 暑ヲ冒シ、遠邇ヲ究メ、僻鄉遐域ヲ跋渉シ、野ニハ農牧ヲ訪ヒ、都ニハ工藝ヲ覽
 シ、市ニ貿易ノ情ヲ察シ、暇アレハ名人達士ニ交ル、固リ操觚ノ士、雲水ノ客カ、
 意ノ適スルニ任セ、漫遊シ、耳目ヲ快クスルニ異ナリ、且西洋ノ通義ニ、政府ハ
 國民ノ公會ニテ、使節ハ國民ノ代人ナリトス、各國ノ官民、我使節ヲ迎ヘテ、懇
 親ノ意ヲ致スハ、即國人ニ懇親ヲ致ス所ニテ、其生業ノ實況ヲ示スハ、即國人
 ニ愛顧ヲ求ムル所ナリ、故ニ岩倉大使深ク之ヲ敬重シ、以謂ク吾使節ノ耳目
 スル所ハ、務メテ之ヲ國中ニ公ニセサルベカラストテ、書記官島山義成（當時
 杉浦弘藏ト稱ス）久米邦武二人ニ命シ、常ニ隨行シテ、回歴覽觀セル所ヲ、審問
 筆錄セシメタリ、是此書編集ノ本旨ニテ、即公務要件ノ一ナリ、若夫レ各使節、
 私ヲ以テ游觀セシハ、緊要國ニ益アルコトニアラサレハ、一一ニ記入セス、
 一總テ各國ニテ回覽セル所ハ、皇帝及ヒ皇后ノ特旨ニ出ルアリ、瑞典以太利ノ
 離宮ノ如キハ、

參例言

國皇ノ特旨伯林ノ病院ハ政府ノ享應ニ出ルアリ、米國北部ノ接伴諸員ノ款
 皇太后ノ旨ニヨルカ如シ、英蘇兩部巡覽ノ如シ、都邑人ノ迎接ニ出ルアリ、類多シ、此製作
 待ニ出ルアリ、編中半ハ此類ニ出ル、或ハ貴族大姓ノ厚意ニ出テ、或ハ衆民ノ協同シ招クニ
 場ノ招請ニ出ルアリ、或ハ府中ノ官民男女日ニ迎接シテ、發程ノ稍速カナル
 出ツ、郵船桑港ニ着スレハ、府中ノ官民男女日ニ迎接シテ、發程ノ稍速カナル
 ヲ措ミ、薩列明度及ヒ市高俄ニテハ、路ヲ要シテ數日ノ淹留ヲ望ミ、己ニ華城
 ニ留レハ、諸都府及ヒ諸社ヨリ書ヲ飛シ使ヲ走ラセ、殆ト暇日ナシ、新約府ノ
 如キハ、淹留日促ストテ、反テ帳帳ヲ懷クニ至レリ、英國ヲ回ルキ、諸方ノ東札
 常ニ束ヲナシ、辭シテ十二八九ヲ省クモ、足跡殆ト英蘇ニ徧シ、佛國ヲ發スル
 非、白國ヨリ使ヲ聘セ、製作場及ヒ名所一百餘ヶ所ヲ記シ、周覽ヲ望ム、他ノ諸
 國モ大抵此例ナリ、故ニ涼車共都ニ達シ、僅ニ笈ヲ「ホテル」ニ弛ムレハ、回覽即
 チ始ル、晝ハ輪響瀟吼ノ際、鐵臭煤氣ノ間ヲ奔ル、烟埃滿身ニテ、喉ニ及ヒ方ニ
 歸レハ、衣ヲ振フニ遑アラズ、宴會ノ期己ニ至ル、威儀ヲ食案ニ修メ、耳目ヲ觀
 場ニ倦ラシ、子夜ニ寐牀ニ就キ、目ヲ覺セハ、製場ノ迎伴人己ニ至ル、故ニ珍異
 目ニ充テ、奇聞耳ニ滿テ、盛饌口ニ饜養スルモ、神倦筋疲ル、ニ當リテハ、飲水

曲肱ノ一快ヲ望ム、且國ノ交誼ヲ欠テ奈何セン、加フニ寒暑ノ變化異常ナル、
 羸質ノ人、殆ト堪ル能ハス、英國人ハ尤モ遠航ニ慣フ、其北部ヲ回ルニ當リ、群
 衆迎送スルモノ、皆一行ノ健勉ヲ祝セサルナシ、轅ヲ倫敦ニ回スノ後、接伴ノ
 諸人ハ、或ハ病ニ感セルモ、一行ハ恙アルナシ、「アレキサンドル」氏毎ニ保健ノ
 法ヲ告ケ、且曰、公等今ヨリ猶十餘國ヲ經テ、暑寒ニ冒觸セハ、健全ヲ保テテ、歸
 航スルモノ、幾人ナカラント、其後、沍寒ヲ佛、白、蘭ニ冒シ、氷雪ヲ日、露、瑞ニ衝キ、
 遽ニ以、填、瑞西ノ暑ニアヒ、阿刺伯、印度ノ炎熱ヲ經タルモ、天ノ靈ニヨリ、一行
 皆ナ健康ヲ全フシ復命ノ後、今ニシテ此編ヲミレハ、日ニ奇見異聞ヲ以テ、絕
 域ヲ回歴シ、間ニ曠日アルハ、反テ崑岡懷手ノ想ヲナス、昔日ノ勤勞ハ、己ニ黃
 梁ノ一夢ヲ隔テ、當時ノ艱苦ハ、腦中ニ痕ヲ消タルカ如シ、此際ノ感慨ハ、只遠
 遊ヲ經タルモノニシテ、始テ諒知スナルヘシ、

一此編日記ヲ以テ體裁ヲ定メ、務テ目撃ノ實際ヲ錄ス、耳食ノ談ヲ以テ、眉目ヲ
 粧ハス、故ニ製作場ヲ談スル纔ニ終リ、宮苑ノ觀忽出テ、山水ノ勝ヲ記スルノ
 際ニ、突然トシテ物産貿易ノ計ヲ錯ニ、雜ニシテ、統ナキハ、即是實錄ノ體面ナ

リ初編ハ西航ノ始メニテ、注意多ク風物ノ異ヲ采論スルニアリ、二編三編ハ、
 工藝制産ヲ詳審スルヲ務ム、四編五編ニ至テハ復テ略シ異ヲ擇ミ、繡縫周備
 ニ意アリ、故ニ回覽ヲ略セル所ニモ、亦其國ノ特美ナキニハ非ス、噲ハ木棉ノ製
 造ハ米ノ波士敦、英ノ曼職特ニテ、再三周覽ヲ經タレハ、哥羅斯哥ニテハ略シ
 テミズ、歐陸ニテハ、白耳義ニ一覽ノ後ハ、佛ノ「アルサス」、日耳曼ノ伯林、薩撒ハ、
 必モ復至ラス、白銅ノ工ハ、獨逸ノ長技ナルモ、英佛ニテ再三ノ覽觀ヲ經タレ
 ハ、又訪サルカ如シ、幸ニ末路埃國ノ博覽會ニアフ、因テ會場ノ列品ヲミテ、各
 國ノ工技ヲ略論列シ、此編ノ結末ヲ振ハス、トヲ得タリ、此編ヲミルモノ、親ヲ
 此回歴ヲ試ム、意想ヲ以テ讀マハ、其錯雜ナル所ニ、反テ實記ノ實ヲ全クセル
 ヲ知ラソ、

一諸場館ニ於テ記述スル所ハ、其行走ノ際ニ、親ク審問セルヲ録ス、此ニ當テ、
 山氏實ニ其殷勤ヲ竭シタリ、然レモ其間ニ誤謬欠略ナキヲ保チ難キハ、蓋其
 故七アリ、一ハ場主ノ秘シテ示サ、ル所アルニヨル、二ハ場内ノ諸員モ亦審
 知セサル、ト多キニヨル、西洋ノ工藝ハ、分科分業繁ク、其場ニアリ事ヲ操ルモ

ノモ、只自己ノ一科ヲ審ニスルニスキス、故ニ各舍各番、ミナ其主長ニ問ハサ
 レハ、他人ハミナ辨知セス、因テ場内ノ諸人延引シ、親ヲ懇ニ其工事ヲ説クヲ、
 傍ヨリ筆記シタルト多シ、三ハ猛力ノ器械ヲ運用スル製作場ハ、輪響機聲ノ
 言語ヲ亂ラスニヨル、四ハ明細ノトハ、各場ヨリ報告書ヲ送リシニ、皇城炎上
 ニ罹リテ、燒燼セルニヨル、五ハ時促シ途ニ急ニ、詳覽ニ遑アラサルニヨル、六
 ハ西洋ノ俗ハ、解説ニ順叙アリ、率爾ノ際ニ、其要ヲ抄撮シ、説トヲ欲セス、故ニ
 倉皇間ニ、術理ヲ問フモ、答フ所ハ猶叙言ノ半ニ及ハサルニ、時促シ去ルト多
 カリシニヨル、七ハ工藝ノ術理ハ、其技術ニ通セサルモノ、能スル所ニアラ
 サレハナリ、然リト雖モ、編中ノ記スル所ハ、ミナ無用トナシ難キハ、抑其故ア
 リ、蓋實際ニ目睹耳聽セル所ヲ記ス、皆現地ノ活機ニテ、書上ノ常理ヲ實ニス
 ルヘシ、技術ノ事ニカ、リテハ、東西殊ニ、状態ヲ異ニス、西人ノ秘トスル所モ、
 東洋ハ已ニ常慣ニカ、リ、而テ其常慣セル所ニ、反テ東洋ニ發明ヲ與フ所ア
 ルモノナリ、噲ハ農事ニ人尿漁魚ヲ用フルハ、我邦ノ常ナルニ、佛ノ博士ハ
 以テ其農業ノ進メル證ト贊稱シ、織機ニ齒輪ヲ施シ、梭ニ從ヒ卷キトルハ、西

洋ニテ常習トセルヲ我西京ノ織工之ヲ見テ積年ノ苦心ヲ氷解セリ西洋ノ
 學藝ニ「タヲリツク」論「プラチツク」實ヲ分ツ理論ハ普通ノ通則ニテ實驗ハ各地ノ
 活機ヲ習煉悟得スルモノニテ偏廢スベカラス此書ハ已ニ實記ヲ以テ名ク、
 主トスル所ハ「プラチツク」ノ裨益ヲアタヘテ理論ヲ實切ニスルニアリ聞見ノ
 間ニ謬誤アルハ看ルモノ之ヲ理論ニ是正シテ可ナリ、

一編中ニ二字ヲ下シ注記セルハ記者ノ論說ニカ、ル蓋シ殊域ヲ回歷スレハ、
 日日ニ耳目ニ感觸スル所異聞異事ナラサルハナシ觸目ニヨリテ來由ヲ訪
 ヒ訪フ所ニヨリ更ニ推考スル所アルハ、經歷觀察ノ實況ニシテ最モ益ヲ得
 ル所ナリ邦武此ヲ筆記スルニアタリ畠山氏ト意ヲ協シ暇アレハ人ニ質問
 シ書ニ檢閱シ詳備ヲ務メタレト奈何セソ回歷殆ト盧日ナク晨ニ出テ夜ニ
 歸リ鉛筆艸艸ニ記憶ヲ留ムルサヘ時ニハ暇ナキト多ク鎮路途中ノ如キハ、
 駿走ノ間ニ要地ヲ瞥過スレハ實ニ審問ニ漏ナルヲ免レス復命ノ後ニ再
 三校訂ヲ加ヘ理化重諸科統計報告歴史地理政法等ノ書ニ覽シ且各理事官
 ノ理事功程中ヨリ抄録シ或ハ各都府ニテ博士聞人ニ親炙シタル談ヲ討聚

シ類ニ觸レテ論說ヲ加ヘ時ニハ各人各書ノ語ヲ己ノ辭ニテ闡釋シタル文
 モ多シ固リ皆之ヲ架空ノ臆說ニ結構シタルニアラサレハ其中ノ異聞ハ亦
 本文ト相發スルモノモ少カラサルヘシ、

一歷聘各國及ヒ各首都ニハ必ス總說ヲ作り首ニオク其體面ハ地理書ニ倣ヒ、
 記ス所モ盡ク實際實歷ニアラス是モ亦實錄ニ於テ然ラサルヘカラサルモ
 ノアリ蓋シ日日ノ記スル所ハ其地ノ經歷ニツキ特ニ記録スヘキ事情ノミ
 ニテ總テ其國土ヲ踏ミ其人民ニ接シテ其生意風物ヲ閱シ各都府滞在ノ間
 ハ車走馬行シテ街巷閭閻ノ間ニ覽觀セル所ハ固リ日日ノ條記スヘキ所ニ
 アラス而テ此一般ノ聞見最モ我耳目ニ感觸ヲ與ヘタル功自ラ大ナリ因テ
 之ヲ總說ニ於テ概知スベカラシム各員ノ散行シ聞見セル所ノ說話モ此中
 ニアリ猶憾ム所アリ因テ未編ニ於テ更ニ歐洲總論五卷ヲ作り之ヲ申說セ
 リ固リ此限アル文字ニテハ締盟各國ノ概勢ヲモ十分ニ盡ス能ハサレト聊
 カ要領ヲ擧ケタルニハ庶幾カラン看者此ニツキ其審知セント欲スル端ヲ
 起スノ後ニハ詳細ノ「ハ」各書ニ就テ學ヒテ可ナリ、

一 各國言語聲音ノ異ナル音ニ越裳九譯ノミナラス使節ノ下ニ英佛獨露四國ノ語ニ習ヘルモノヲ備ヘ時ニ臨ミ遞ニ譯ヲナシテ情意ヲ通スルヲ得タルハ文明ノ德澤ナリ其語ヲ筆シテ此書ノ本料トナシタレハ其物名稱謂ノ厖雜訛謬モ亦少カラサルヲ知ル校正ニ臨ミ之ヲ歸一セント欲スレハ畢竟得ヘカラサルナリ地名ノ如キハ本來單一ナルヘキニ似タレハ猶不可ナリ喩ヘハ我日本ヲ「ヤッパン」「チャツパン」「シヤボン」等ノ訛稱アルカ如シ換地利ヲ「オ、ステンレイキ」「オ、ストリヤ」及ヒ「オ、トリリス」ト呼ビ英國ヲ「ブタニヤ」「エノケリス」「アングリター」ト呼ビ「ナラス」獨逸ヲ日耳曼トイヒ佛ニテハ「アルマン」ト云瑞士ノ如キハ「佛以獨ノ三語ニ分レ佛以語ノ部ニテハ「スウツル」トイヒ獨語ノ部ニテハ「シワイツ」トイフ「バ、リヤ」國ノ「ミニツ」府ヲ本國ニテハ「バイエロン」國ノ「ミニンチェン」トイフ我邦ノ西洋ニ通スルハ「蘭英二國ノ開ク所多キニオル故ニ其稱謂スル所ヲ普通トナシタレハ各國ノ實際ヲ記スルニ於テハ必モ之ヲ準トシテ是正シ難シ故ニ換ノ維也納獨逸ノ薩索尼ノ如キ本國ニテ「ウリーン」「サヒゼン」トイフヲ以テ彼ヲステ、此ニ從ヘリ然レ此

著明ナルカ如キノ外ハ譯者ノ聲音ニ隨ヒ互ニ相誤ル所モ多カルベシ且聲音ノ異ハ文字ノ能寫ス所ニアラス喩ヘハ英語ニテ「リヴァプール」ヲ「ロバプール」トイヒ「ボルミン」ハム「ヲ「バーミン」ハム」トイフカ如キハ「グ」ト「ル」トノ高低ニヨル如此ハ只通呼ニ近キ假字ヲ下セルノミ英ノ「セント」佛ニテハ「サン」トイヒ「ボル」ク「ヲ獨逸ニテ「ベル」ヒ「トイフカ如キ皆各國聲音ノ異ナル多ク現地ノ稱呼ニ從フ夫レ同ク二十六品字ヲ用フル國ニテサヘモ讀法互ニ一ナラス況ヤ我五十音ノ假字ニテ西人ノ語ヲ寫ス到底其正ヲ得難ケレハ務メテ本語ニ近キヲ擇ム

一 西名ヲ支那字ニ譯セルヲ本邦ニ用フル音ニテ讀メハ甚タ異ナレハ已ニ普通トナリタルアリ佛朗西「白耳義」那威薩撒蘇格蘭以上「費拉特費登丁堡奄特坦莫斯科伯林」都府「彼得拿破命閣龍維廉華盛頓」人名「丟克亞爾勞爾德」以上「曹達安摩尼磅」碼以上ノ如キ是ナリ此等ノ支那譯ヲ混シ用フルハ假名ニ省字法ナク行文ノ實際ニ困難多ク且假名字ハ訛誤ヲ生シ易キニヨリ普通トナリシ分ハ支那譯ヲ用ヒ且其首字ヲ用ヒ省文ニ便ニス又新約克綠威聖

參例言

路易ノ如キ、新ハ「ニー」ニ「グロイン」聖「セント」ノ意譯ニカ、ル、如此ク音譯意譯相錯リタルモ、普通ナルハ之ヲ用フ、或ハ「ニー」カツツルヲ新城「エオール」ゲートヲ金門「アイスランド」ヲ氷洲「ポールスタイン」ヲ黑城ト書スルハ、全ク意譯ニカ、ル、同ク「ランド」ニテ、英倫蘇格蘭ノ異アリ、「カツツル」ノ城ハ意譯ニテ「ボルク」ノ堡ハ音譯ナリ、皆普通トナリタレハ、拘拘是正セス、萬國言語聲音ノ異ナル、物名益煩シ、煩ヲ省キテ簡ニツカント欲スルハ、世運ニ背馳スルト同シ、故ニ漢字ヲ用フルハ、誤謬ヲ防キ、眉目ニ瞭ナラシメル所ニテ、假字ヲ加フハ、其稱呼ノ大概ヲ注記スル所ナリ、倘其稱謂ノ本國ニモ通用セシムルヲ要セハ、直ニ其語ヲ學フヘシ、

一各國度量衡ノ製タル種種一ナラス、編中ノ計數務メテ歸一ヲ要スレド、反テ紛冗ヲ繁クスルヲ免レス、里程ヲ記スカ如キ、英ノ「マイル」ヲ改算シテ、我ニ十八町餘ト記スルモ、事實ニ益少ク、反テ奇零ヲ生シ、字數ヲ多クシテ、實際ニ反テ迷誤ヲ滋クスルヲ免レス、然レド又米英ニテハ、英「マイル」ヲ用ヒ、佛ニテハ「キロメートル」ヲ用ヒ、獨逸ニテハ獨逸ノ「マイル」ヲ用フレハ、亦是繁冗ナリ、

故ニ路程ノ類ノ如キ、必モ精算ヲ要セサルハ、英書ヲ檢シ、其記セル所ノ英里ヲ引用セリ、各國ニテ案内記引札等ノ如經度ヲ記スルニ、東京ヲ零度トナスハ、固リ體裁ニ於テ正トス、然レド米國ニテ世界ノ精圖ヲ購ヒ、携帶セシ圖中ニ、自國ノ分ハ、往往華盛頓ノ經度ニ改メ、一般ニハ英ノ緯度ニヨリ、互ニ雜出シテ、實ニ紛冗ヲ覺ヘタリ、因テ願フニ、本邦ニ世界輿圖ノ印鑄甚タ乏シク、精細ノ圖ハ、英米ノ版行ヲ檢セサルヲ得ス、此時ニアタリ、必ス紛冗アランコトヲ慮リ、筆記檢閲ト共ニ便宜ヲ酌量シ、最初米英ノ例ヲツケテ、各國ミナ緯度ノ經度ニ從ヘリ、驗温器ハ、我邦ニ專ラ「ハー」レンヘード氏ノ分度行レタルヲ以テ、他ノ分度モ皆之ニ改算スレド、檢閲ニ便ナレド、米英兩國ノ外ハ「サンヤク」ラード氏ノ分度、重ニ行ハル、所謂百度表ナリ、學術ニカ、ルコトハ多ク、百度又「レオムル」氏ノ器ヲ用フルモアリ、温度ハ精密ヲ要スルモノナレド、改算反テ誤ランコトヲ恐レ、某氏ノ某度ト書ス、只華氏ノ度ハ、我邦ニ普通ナルヲ以テ、時ニハ直ニ某度ノ書セル所ナリ、編中ノ度量衡ハ、英佛ノ兩制ヲ以テ記スルモノ多シ、其數ヲ我度量衡ニ比較シタルハ、世ニ單行本多ク、レド、大抵編中ノ

記實ハ精數ヲ詳査スルヘキモノ少ク却テ其約數ヲ較算シテ心慮ニ存スヘキモノ多シ約數ノ見渡シハ讀書ノ要領ナレハ此ニ共一斑ヲ表明セシ、
一距離度

英ノ「フイード」ハ我曲尺一尺ニ當ルト少シ延タル

佛ノ「メートル」ハ我曲尺三尺二寸九分ニ當ル約三「メートル」ヲ我一丈

ニ比較ス一寸二三分ノ縮ミト知ルヘシ白耳義瑞士以大利皆同ヲ爾

佛制ニ改正セリ

英ノ「マイル」ハ千七百六十「ヤールト」三「フイート」ヲ一「ヤールト」トス我十四町三分町ノ

二ニ當ル約五「マイル」ニテ我二里ニ比較ス一町二十間ノ縮ミト知ル

ヘシ、

佛ノ「キロメートル」ハ我九町八間ニ當ル四「キロメートル」ニテ我一里ニ

比較シ三十二間長シ八「キロメートル」ハ英ノ五「マイル」ニ當ル、

一平方尺

英ノ「エーカー」ハ我四段二十步ニ當ル五「エーカー」ニテ我二町ニ比較シ、

位進ノ法ヲ用フ故ニ初^〇ノ^〇ハ^〇萬位ナリ再^〇ノ^〇ハ^〇億位ナリト記憶スヘシ西洋
ノ式ハ三位進ニシテ初^〇ノ^〇ハ千位希臘ノ「キロ」英ナリ是ロリー一千十千

百千ト進ミ再^〇ノ^〇ヲ截リ千千ノ位一「ミリオン」我トス我邦二十千百千ノ

稱呼ナシ又百萬ニツキテ名稱モナシ若シ西洋三位進ノ通式ニヨレハ數

名ヲ紛裂シ眉目ヲ亂ルニヨリ四位進ニ改メタリ、

附テ云佛ノ自然度ナチュールハ現今歐洲大陸地方ニ用ヒラレタル制ニテ蘭白以

然リ此書中ニ多ク其度ヲ用フ即チ「メートル」「アール」「リットル」是

ナリ分每十位ニ「デカ」十「ヘクト」百「キロ」千ノ希臘語ヲ加ヘ其小數ハ「デシ」十

一「サンチ」百分「ミリ」千分ノ羅旬語ヲ加ヘテ之ヲ分別ス「ヘクタール」ハ百

「タール」「サンチメートル」ハ百分ノ「メートル」即チ厘位ナルカ如シ此モ

記憶シオクヘシ

此書分ツテ五編卷トナス其目左ノ如シ、

第一編 北亞米利加洲合衆國ノ部

第一卷 太平海航程ノ記

舉例言

- 第三卷 米利堅合衆國ノ總説
- 第三卷 桑方西斯哥府ノ記上
- 第四卷 桑方西斯哥府ノ記下
- 第五卷 加利福尼亞州鐵道ノ記
- 第六卷 尼哈達州及ヒ「ユタ」部鐵道ノ記
- 第七卷 落機山鐵道ノ記
- 第八卷 市高俄鐵道ノ記
- 第九卷 華盛頓鐵道ノ記
- 第十卷 閩龍縣ノ總説
- 第十一卷 華盛頓府ノ記上
- 第十二卷 華盛頓府ノ記中
- 第十三卷 華盛頓府ノ記下
- 第十四卷 北部回覽ノ記上 新約克府「ウエス
トポイノト」
- 第十五卷 北部回覽ノ記中 新約克州
「ナイアギラ」

- 第十六卷 北部回覽ノ記下 波士敦
春原
- 第十七卷 華盛頓府ノ後記
- 第十八卷 費拉特費府ノ記
- 第十九卷 新約克府ノ記
- 第二十卷 波士敦府ノ記
- 第二編 英吉利國ノ部
- 第二十一卷 英吉利國ノ總説
- 第二十二卷 倫敦府ノ總説
- 第二十三卷 倫敦府ノ記上
- 第二十四卷 倫敦府ノ記中
- 第二十五卷 倫敦府ノ記下
- 第二十六卷 里味不府ノ記上
- 第二十七卷 里味不府ノ記下
- 第二十八卷 漫議特府ノ記上

※例言

- 第二十九卷 漫識特府ノ記下
 - 第三十卷 哥羅斯哥府ノ記
 - 第三十一卷 壹丁堡府ノ記
 - 第三十二卷 高蘭士山水ノ記
 - 第三十三卷 新城府ノ記上
 - 第三十四卷 新城府ノ記下
 - 第三十五卷 「アラットホルト」府ノ記
 - 第三十六卷 舌非力府ノ記
 - 第三十七卷 「スグッホルト」及ヒ「ウァリキ」州ノ記
 - 第三十八卷 北明翰府ノ記
 - 第三十九卷 「チエスター」州ノ記
 - 第四十卷 倫敦府ノ後記
- 第三編 歐羅巴大洲列國ノ部上
- 第四十一卷 佛朗西國總說

- 第四十二卷 巴黎府ノ記一
- 第四十三卷 巴黎府ノ記二
- 第四十四卷 巴黎府ノ記三
- 第四十五卷 巴黎府ノ記四
- 第四十六卷 巴黎府ノ記五
- 第四十七卷 巴黎府ノ記六
- 第四十八卷 巴黎府ノ記七
- 第四十九卷 白耳義國ノ總說
- 第五十卷 白耳義國ノ記上
- 第五十一卷 白耳義國ノ記下
- 第五十二卷 荷蘭佗國ノ總說
- 第五十三卷 海牙鹿特坦及ヒ「レーデン」府ノ記
- 第五十四卷 奄特坦府ノ記
- 第五十五卷 普魯士國ノ總說

參例言

- 第五十六卷 普魯士西部ノ記
- 第五十七卷 柏林府ノ總説
- 第五十八卷 柏林府ノ記上
- 第五十九卷 柏林府ノ記中
- 第六十卷 柏林府ノ記下 附「ポツダム」
- 第四編 歐羅巴大洲列國ノ部
- 第六十一卷 露西亞國總説
- 第六十二卷 露西亞鐵道及ヒ聖彼得堡府ノ總説
- 第六十三卷 聖彼得堡府ノ記上
- 第六十四卷 聖彼得堡府ノ記中
- 第六十五卷 聖彼得堡府ノ記下
- 第六十六卷 北日耳曼前記
- 第六十七卷 德馬國ノ記
- 第六十八卷 瑞典國ノ記上

- 第六十九卷 瑞典國ノ記下
- 第七十卷 北日耳曼後記上
- 第七十一卷 北日耳曼後記下
- 第七十二卷 南日耳曼ノ記
- 第七十三卷 以太利國總説 附埃國「チロリー州
- 第七十四卷 佛稜府ノ記
- 第七十五卷 羅馬府ノ記上
- 第七十六卷 羅馬府ノ記下
- 第七十七卷 那不兒府ノ記
- 第七十八卷 「ヴェニシ」府ノ記
- 第七十九卷 埃地利國總説
- 第八十卷 埃地利鐵道及ヒ維納府ノ總説
- 第八十一卷 維納府ノ記
- 第五編 歐羅巴大洲列國ノ部下及ヒ歸航口程

※例言

- 第八十二卷 萬國博覽會見聞ノ記上
- 第八十三卷 萬國博覽會見聞ノ記下
- 第八十四卷 瑞士蘭國ノ記
- 第八十五卷 瑞士蘭山水ノ記
- 第八十六卷 「ペロン」及ヒ「ゼネーバ」府ノ記
- 第八十七卷 佛國里昂及ヒ馬耳塞府ノ記
- 第八十八卷 西班牙及ヒ葡萄牙國ノ略説
- 第八十九卷 歐羅巴洲政俗總論
- 第九十卷 歐羅巴洲地理總論
- 第九十一卷 歐羅巴洲農業總論
- 第九十二卷 歐羅巴洲工業總論
- 第九十三卷 歐羅巴洲商業總論
- 第九十四卷 地中海航程ノ記
- 第九十五卷 蘇士運河及ヒ紅海航程ノ記

- 第九十六卷 阿刺伯海航程ノ記
- 第九十七卷 錫蘭島ノ記
- 第九十八卷 榜葛刺海航程ノ記
- 第九十九卷 支那海航程ノ記
- 第一百卷 香港及ヒ上海航程ノ記

每卷ノ目錄ハ各編ノ首ニ記載スヘシ、
 編卷ハ略其記事ノ紙張ニヨリテ分ツ別ニ意旨アルニ非ス、每卷内ニ更ニ章
 款ヲ分チ、肩目ヲ明ニセ、ノヲ欲スレトモ、元來日記ノ體例ナレハ、其月日ヲ以
 テ章ニカヘ、一日ノ回覽ニ數件アルハ、圈ヲ隔テ、款目ニカヘタリ、
 一編中ニ銅版圖ヲ出ス、無慮三百餘圖ニ及フ、皆各地各都ノ、欄目スヘキ風景建
 築等ニテ、文明諸國ノ一斑ヲ國人ニ觀覽セシメント欲スル意ニ出ツ、多クハ
 回覽ノ際、現地ニ於テ購ヒ得テ歸リシ、採影ヲ模シ、中ニハ銅版圖ヲ複刻セル
 モアリ、採影ノ眞ヲ寫スハ、視線延長シ、遠近ヲ差スルヲ免レヌ、看ルモノ幸ニ
 注意シテ可ナリ、經歷各國ノ地圖ニ至テハ、環海一周ノ實記ニカヘ、リ、總圖ハ

略ユスキ分圖ハ繁ニワタリ、畢竟全キヲ得サルニヨリ、經過ノ際ニ特ニ地圖ヲ要スル分ヲ抄載シテ、各卷ニ附セリ、他ハ普通ノ地圖ニ照スヘシ、器械運轉ヲ説クニ、圖ヲ掲ケサルハ、甚タ緊要ヲ没スレトモ、如何セン元來日、日忽忽ノ目撃ヲ記セルニヨリ、其圖ヲ寫シ得ルヲ難ク、後ニ類似ノ器械圖ヲ寫入セハ、或ハ大謬ヲ傳ヘンコトヲ恐レテ、多ク欠略セリ、

一世運ノ推移スルヲ、驟輪ノ如ク、人事ノ變化スルヲハ、波瀾ニ似タリ、辛未十一月ヨリ、筆ヲ執テ、六年九月ノ復命マテ、此編ヲ草スル際ニモ、既ニ幾多ノ變化ヲ閱シタリ、蘇格、グリノッ府ノ白糖製場ハ、祝融ニ燼シ、鹽湖「モルモン」教徒ノ失踪セル如キ、皆編中ニ記入シタレトモ、其後釘編ニモ、數月ヲ費シ、後又再三校正増補シテ、殆ト三年ノ星霜ヲ經タレハ、其間ニ生セル變化モ亦少カラズ、況ヤ商法ニ關セルコトハ、一週日モ其不變ヲ期シ難シ、英佛ニテ生絲ノ景況ヲ記シタレトモ、爾來年年ニ價ヲ損シ、英領印度「アスマム」ノ茶殖シテ、茶價ノ變セシ如キハ、日本ニ大ナル關係ヲ有セルモノナリ、西班牙「ドン」カल्लीス「黨」炎モ漸ク熄シ、土耳其ノ國黨ハ、編中ノ記事ニ、變動ヲ生スルニハ至ラス、列國ニナ寧

靖ヲ保チ、開化ヲス、ムレハ、五年ノ間ニ、更ニ繁昌ヲ加ヘタラコトヲ、想像スルナリ、

明治九年第一月

續少史久米邦武識

米歐回覽實記初編

目錄

初編 米利堅合衆國ノ部

第一卷 太平洋海航程ノ記 自明治四年辛未十一月十日至十二月五日

橫濱發船

二丁

郵船亞墨利加號ノ景況

同

地球燥濕潮流ノ圖

太平洋海航程日表

五丁

太平洋海中記事

七丁

西洋歲夜ノ風俗

九丁

航海中雜事

同

第二卷 米利堅合衆國總說

合衆國建國ノ由來

一一丁

幅員人口

一三丁

※目錄

山脈原野 一六丁

河湖及ヒ水陸運漕路 一八丁

氣候 二二丁

農牧產物 二四丁

礦産製作 二七丁

貿易ノ景況 三一丁

人種風俗 三三丁

普通教育 三五丁

宗教 三八丁

貨幣度量衡 三九丁

第三卷 桑方斯西^{サンフス}哥^ゴ港^{カウ}近^{キン}郡^{コン}ノ記^キ上 自十二月六日至十五日

桑方斯西^{サンフス}哥^ゴ港^{カウ}近^{キン}郡^{コン}ノ地圖 四一丁

金門^{カイン}及ヒ金門^{カイン}内^{ナイ}ノ景^{ケイ}并^{ヘイ}圖 四一丁

桑方斯西^{サンフス}哥^ゴ府^フノ略^{リョク}説^{セツ}及ヒ逆^{ギャク}旅^{リョ}ノ景^{ケイ}況^{キョウ} 四五丁

「ミッショ^{ミッショ}ン社^{シャ}羊^{ヤウ}毛^{マウ}紡^{フウ}織^{シキ}場^{バウ} 四九丁

「ウー^{ウー}ド^ドワ^ワル^ルト^ト公^{コウ}苑^{エン} 博物^{ボツ}觀^{カン}苑^{エン}ヲ設^{セツ}シ^シル主^{シュ}意^イ 同 丁

金門^{カイン}及ヒ黑^{クワク}岬^シノ圖 金門^{カイン}及ヒ黑^{クワク}岬^シノ圖 「ウー^{ウー}ド^ドワ^ワル^ルト^ト苑^{エン}ノ口 五二丁

桑^{サン}灣^{ワン}ノ船^{セン}游^{ユウ}及ヒ「メ^メン^ンガ^ガ島^{シマ}造^{ゾウ}船^{セン}廠^{ヤウ} 五四丁

「プー^{プー}ス^ス社^{シャ}礮^{カウ}山^{サン}器^キ械^{ケツ}製^{セイ}作^{サク}場^{バウ} 同 丁

義^ギ兵^{ヘイ}步^フ操^{ソウ} 同 丁

桑^{サン}港^{カウ}近^{キン}郊^{コウ}ノ游^{ユウ}衍^{エン} 村落^{ソク}ノ景^{ケイ}況^{キョウ} 五五丁

「オ^オ、シ^シラ^ラン^ンド^ド渡^{ダツ}シ^シノ棧^{ケン}橋^{キョウ}及ヒ「サ^サン^ンチ^チョ^ョー^ース^ス庭^{テイ} 五六丁

「ラ^ラン^ンマ^マン^ン女^{ニョ}學^{ガク}校^{コウ} 唱^{テウ}歌^カノヲ 五九丁

「リ^リン^ンコ^コー^ール^ルン^ン小^{コウ}學^{ガク}校^{コウ} 教^{キョウ}官^{カン}俸^{ヘイ}給^{キョク}ノヲ 同 丁

大^{ダイ}享^{キョウ}筵^{セン} 享^{キョウ}會^{カイ}醴^{レイ}金^{キン}法^{ホウ}ノヲ 六一丁

第四卷 桑^{サン}方^フ斯^ス西^シ哥^ゴノ記^キ下 自十二月十六日至二十一日

「ア^アジ^ジリ^リク^クリ^リチ^チワ^ワル^ル苑^{エン}ノ競^{ケイ}馬^バ 六四丁

岩^{イワ}亭^{テイ}ハ^ハウ^ウス^スノ眺^{テウ}望^{バウ} 六五丁

目録

「アルカドラス島砲臺ノ圖」 岩亭ノ風景圖

「オ、シラノド邑」

六五丁

酒造場 貿易ニ名譽ヲ重スル説

六七丁

「オ、シラノド學校回覽」

六八丁

兵學私校

盲啞院

「ユニヴァルシチー」

馬具製造場

七二丁

郵船會社ノ倉庫

同 丁

歐米商業普通ノ施設ヲ論ス

同 丁

桑方斯西哥ノ總説并ニ論

第五卷 加利福尼亞州鐵道ノ記 自十二月二十一日至二十四日

七四丁

加利福尼亞州ノ總説

歷史 地理 氣候

地味

人種 并ニ清人來寓ノ説

八三丁

スリピン車ノ事

加利福尼亞平地 加利福尼亞鐵道地圖

九〇丁

「ストラットン邑癲狂院」

九三丁

薩列明度府

同 丁

蒸氣車製造場

九五丁

加利福尼亞州會堂

同 丁

「シールラネヴァマ山麓」

九七丁

「ケープホールン山側面ノ圖」

「フロームル鑿割ノ圖」

九八丁

「ゴールドロン」ノ淘金種

一〇四丁

世界ノ大金礦及ヒ黃金利用説

第六卷 尼哇達州及ヒ「ユタ部鐵道」ノ記 自十二月廿五日至晦日

「シールラネヴァマ山險 雪覆ヒ及ヒ雪掻車同圖」

「スミット隧道」

一〇七丁

「スミット隧道」

同 丁

尼哇達州ノ略説

五

「ツルキー河及ヒ「ハンホルト」ノ漠野 并地圖 一〇八丁
印甸人窟宅及ヒ印甸人ノ事 一〇九丁

「ハンホルト荒野印甸人ノ住居ノ圖
「ハンホルト河」ペリサツテ峽ノ圖 一一五丁
「ペリサツテ峽」ノ景 并地圖 一一七丁

「ユタ部略説及ヒ「オクテン村」
大鹽湖 并地圖 一一八丁
鹽湖府ノ總説 一一九丁

「ユタ部廳及ヒ「テリートリー」ノ事 一二一丁
「モルモン寺及ヒ「モルモン宗」ノ由來 一二二丁
鹽湖府廳前市街ノ景ノ圖 「モルモン寺」ノ圖 一二四丁

「ドンゲラス砲臺 一二五丁
「モンテインホール」學校及ヒ「モルガン商業學校」
第七卷 落機山鐵道ノ記 自明治五年壬申正月元日至十七日

「ユタ部及ヒ近地方銀礦ノ記事 一二八丁

「ウアサツ山險 一三一丁
「エコー山村」ウエーベ河峽ノ圖 「テヴィルス峽」ノ圖 一三四丁

「ウアイオミン」部ノ略説
「ウアサツ山」峽ノ圖 落機山ノ荒原圖
落機山漠野 并地圖

落機ホオウ山嶺及ヒ「セールメン」嶺 一三五丁
「チブラスカ州」ノ略説 并地圖 一三八丁

同荒原「ブレッチ」河 并地圖 一三九丁
哈馬哈府 并地圖 一四二丁
「ミソリ」河新橋ノ建築及ヒ移民流車 一四三丁

米國荒原ニ植民開地ノ説
第八卷 市高俄鏡道ノ記 自正月十七日至十九日 一四九丁
「ミソリ」河 附聖路易府

「アイョア州ノ略説」

一五一丁

玉蜀黍利益ノ説

密斯失比河 并水利ノ説

一五四丁

「イルイノイス州ノ略説」

一五六丁

市高俄府ノ總説

一五八丁

上水汲揚機關及ヒ「ミチカン湖底ノ隧道」

一六〇丁

市高俄府廳ノ圖 同湖濱ノ抄圖

藥水消防唧筒

一六二丁

市高俄河ノ隧道

一六三丁

市高俄府小學校及ヒ商人集會所

一六四丁

第九卷 華盛頓鑛道ノ記 自正月廿日至二十一日

「チンチャナ」オハイオ「兩州ノ略説」

一六七丁

「オハイオ河 附」シンシンナッチ府

一六九丁

「ピッチスホル」府

一七〇丁

桑港以東沿道各州植民開拓ノ總説

一七一丁

地産人口表 牧畜及ヒ牧畜利益表

荒地渡シ 農器械製作表

「デルワール州ノ略説」

一八一丁

馬利蘭州及ヒ「ホルチモール」府ノ略説

一八二丁

第十卷 「コロンピヤ縣」ノ總説

「コロンピヤ縣」ノ由來

一八五丁

華盛頓府市街及ヒ修路法

一八八丁

道路修繕ノ管係ヲ論ス

「ペンシユルヴァニヤ街」ノ「ボトマール」河長橋ノ

街車及ヒ街車鑛軌

一九三丁

街車鑛軌ノ由來

府中ノ建築生理

一九六丁

氣候 并日本ト氣候ノ比較

一九七丁

第十一卷 華盛頓府ノ記上 自正月廿一日至二月廿四日

參目錄

九

大統領館 同圖

一九九丁

合衆國會堂 同圖

二〇一丁

合衆國立憲ノ説

消防訓練

二〇九丁

老兵院

二一〇丁

黑人學校

二一一丁

黒奴ノ由來及ヒ黒奴廢止ノ始末

第十二卷 華盛頓府ノ記中 自二月廿五日至三月廿日

褒巧院

二一七丁

褒巧院内外ノ景圖

蒸氣船及ヒ電氣發明ノ始末

印書局

二二五丁

「スミソニヤ」ノ學校

同 丁

「ポトマック」河船遊

二二八丁

「ヴェル」ノ山華盛頓氏舊宅ノ圖 同墳墓ノ圖

司天臺

二三一丁

大藏省及ヒ紙幣局

二三三丁

海軍省船廠

二三五丁

第十三卷 華盛頓府ノ記下 自三月廿一日至五月四日

驛遞總館并ニ沒書局

二三九丁

飛脚仕組ノ事

勸農寮

二四一丁

米國農業及ヒ歐洲移住民ノ由來

「アナポリス」府海軍學校

二四九丁

西洋ニテ婦人ヲ尊敬スル風俗ヲ論ス

「アーリントン」山南北戦争ノ招魂祭

二五四丁

同所「ゼネラル」リ「氏」舊宅ノ圖

同戰場ノ跡士卒ノ墳墓圖

※目錄

瀨狂院 地道ヲ鑿リ清氣ヲ送ル法

二五六丁

第十四卷 北部巡覽ノ記上 自五月五日至七日

「ニューヂェルゼー州途上記事」

二五九丁

「ヂェルゼー府ヨリ新約克府ヘノ渡船」

二六〇丁

同圖 高架鎮道ノ圖

二六二丁

新約克「ブロートウエー街ノ繁華」

二六三丁

市場及ヒ市場ヲ設ケル説

二六五丁

商船陸揚場ノ繁華

二六六丁

「センタラール苑」

二六六丁

同苑中心ノ景ノ圖 市場繁榮ノ圖

二七〇丁

「ウエストポイント」ノ陸軍學校

二七〇丁

同圖 同校内ヨリ「ホッソン河ノ眺望」

二七三丁

陸軍生徒教練試驗

第十五卷 北部巡覽ノ記中 自五月八日至九日

「ホッソン河上流」

二七七丁

「オルバニー府及ヒ新約克州ノ總説」

二七八丁

「プッハロ」ヨリノ大運河グレートカナール

二八一丁

「ホッソン河岸鎮道圖」 大運河ノ圖

二八四丁

「シラキニス製鹽場」

二八四丁

尼亞吉拉邑ノ總説

二八五丁

尼亞吉拉瀑布ノ記

二八七丁

米利堅瀑 馬履瀑 加拿利奄瀑 三人昆弟島

二八七丁

尼亞吉拉瀑上流及ヒ昆弟島ノ圖 三瀑及ヒ懸橋ノ圖

二九一丁

同河峽盤渦溪及ヒ懸橋

二九一丁

盤渦溪懸樓ノ圖 懸橋上ノ圖

二九五丁

同向岸英領地方ノ博物館

二九五丁

第十六卷 北部巡覽ノ記下 自五月十日至十六日

「ロヂェストル府」

二九七丁

「サラトガ邑大遊旅」

二九八丁

同圖 同市中公苑ノ眺望圖

「サラトガ湖及藥泉」

同 丁

「ヴェルモント」マッサセッチュ「兩州途上記事」

二九九丁

建築石材ノ礦

三〇〇丁

西洋瓦材ノ説

波士敦府ノ遊苑

三〇三丁

米國大都府繁昌ノ驟進

太平大樂會 愛國心ノ説

三〇四丁

「ヘーコン街ノ圖」

太平樂會ノ圖

波士敦港ノ船遊

三〇七丁

空船記事

三〇八丁

「スプリングヒル邑小銃製造場」

三一〇丁

第十七卷 華盛頓府後記 自五月十七日至六月廿一日

華盛頓府暑中ノ景況

三一三丁

西洋避暑ノ風俗并ニ暑中官府休暇ノ説

合衆國南部ノ物産記聞

三一九丁

烟草

稻米

棉花

甘蔗

合衆國近年ノ國計

三二五丁

大統領選舉會ノ競争 米國政治家三黨ノ一

三二七丁

第十八卷 費拉特費府ノ記 自六月廿二日至廿五日

「ヂェーコーク氏ノ別業」華盛頓部新港ノ一

三三三丁

費拉特費ノ總説

三三五丁

合衆國造幣寮

三三八丁

東洋西洋貨幣異同ノ論

「ヂラルト學校」

三四二丁

「フェヤモント苑ノ圖」

費拉特費ノ市街圖

「フェヤモント苑」

三四三丁

目録

一五

米國各都府ノ人氣ヲ論ス
獨立國會堂

三四七丁

同圖 造幣寮ノ圖

牢獄

三四九丁

費拉特費府雜記

同 丁

「ペンシルヴァニア州總説

三五一丁

第十九卷 新約克府ノ記 自六月廿六日至廿七日

各地方利益ノ競ヒ「シチー」ニ繁昌ヲ進ムル説

三五五丁

新約克府總説

三五七丁

同府ヨリ「ブロックリン」府ヘノ渡船圖

「プロートウエー」ノ繁華

三五九丁

「パイプナル會社

少年教會堂

三六〇丁

歐米八信教ノ論

覽兒院

「シニワルト氏商店 同人一生ニテ億弗ノ財産ヲ蓄ヘタルヲ

三六五丁
三六六丁

同圖

「ホレホン新聞社

三六八丁

米國ニ新聞盛ンニ行ワル記事

電信總局

三七〇丁

「ツラフリン氏ノ商店及ヒ「ハーホル新聞社

三七二丁

牡蠣及ヒ之ヲ繁殖スル法

三七三丁

第二十卷 波士敦府ノ記 自六月廿八日至七月三日

波士敦府及ヒ「マッサセツチユ州ノ略説

三七七丁

「マッサセツチユ州廳ノ圖 波士敦市街圖

波士敦大學校

三七九丁

消防器械所

三八〇丁

「ラウランセ邑棉花紡績場

三八一丁

索引錄

一七

棉花并ニ棉花紡織ノ由来

「ロエル邑羊毛紡織場」

三八八丁

上水溜池及ヒ波士敦近郊游衍

三九〇丁

北光記事 磁石樞軸ノコ

三九一丁

「ホッソノ邑回覽」

三九二丁

「ロードアイランド」州及ヒ「プロヴィンセ」府同上

三九三丁

并ニ當州製作ノ盛ナルヲ

波士敦港發船

三九五丁

米國餘論

三九六丁

歷瀾洋航程日表

三九七丁

正誤

第二卷 二四丁

六十里ヲ六十英里ニ誤ル改テ百五十英里ニ作ル

第三卷 四七丁

贗金粉ハ賽金粉

第四卷 六九丁

五四歳ハ五六歳 一人男生ハ一ノ男生

七九丁

深謀ハ遠謀

第六卷 一一二丁

「ペーリング」ハ「ペーリング」

一一九丁

北西二度ハ北四二度

第八卷 一五二丁

博十ハ博士

第九卷 一七六丁

麥作ヲ比較スレハ「アッセル」ニテ較スハ麥作ヲ比較ス

レハ「アッセル」ニテ較スレハ「アッセル」ノ傍注ヲ本文ニ誤ル

第十二卷 二三四丁

七大船廠上ニ米國ニノ三字ヲ脱ス

第十四卷 二六一丁

森瀨ハ森瀨

二六九丁

土民ハ士民

第十八卷 三四二丁

集貨ハ集貨

三四八丁

問フイ失ハ問フヲ失

第十九卷 三五九丁

經文ノ世界ハ經文ヲ世界ノ誤

米歐回覽實記

第一編 米利堅合衆國ノ部

第一卷 太平洋航程ノ記

明治四年十一月十日 冬至 西曆一千八百七十一年十二月十二日

遣歐米特命全權大使岩倉具視副使木戸孝允大久保利通伊藤博文山口尙芳一行ノ官員及ヒ諸省ノ理事官總テ四十八人皆東京ヲ發シ横濱ニ着シ宿ヲ爲ス、

午後五時ヨリ蘭ノ公使「アンデルウーヘン氏」此日ハ本國ノ祝口ナルトテ正副使ヲ其館ニ宴ス、

十一日 晴

此日ハ都ニアル親戚朋友皆遠キ旅行ヲ送り來テ別宴ヲナス、夕六時ヨリ裁判所ニ於テ各國ノ在留公使及ヒ書記官ニ「ソシネル」ハ「ソシネル」ニテ夕食ヲ享シ別ヲナス、

第一卷

十二日 晴夜雨

此頃ハ續テ天氣晴レ、寒氣モ甚シカラズ、殊ニ此朝ハ曉ノ霜盛ソニシテ、扶桑ヲ上ル日ノ光モ、イト澄ヤカニ覺ヘタリ、朝八時ヲ限リ、一統縣廳ニ集リ、十時ニ打立テ、馬車ニテ波止場ニ至リテ、小蒸氣船ニ上ル、此時砲臺ヨリ十九發ノ砲ヲ轟カシテ、使節ヲ祝シ、尋テ十五發シ、米公使「テロンク」氏ノ歸國ヲ祝ス、海上ニ砲烟ノ氣、彈爆ノ響、シハシ動テ靜マラス、

使節一行、及ヒ此回ノ郵船便ニテ、米歐ノ國國ヘ赴ク番生、華士族五十四名、女學生四名モ皆上船シ、各共部室ヲ定メ、荷物ヲ居付ルナト、一時混雜大方ナラス、十二時ニ至リ、出船ノ砲ヲ一彈シテ、頓ニ錨ヲ拔キ、滾輪ノ軋ヲハツシケリ、港ニ繁ケル軍艦ヨリ、水夫皆桅上ニ羅列シ、帽ヲ脱シテ、禮式ヲナシ、港上ニハ見送リノ爲メ、船ヲ仕立、數里ノ外マテ戀ヒ來リヌ、

○此回ニ發スル飛脚船ハ「アメリカ」ト號ス、太平會社飛脚船ノ内ニテ、第一ナル美麗ノ船ナリ、長サ三百六十三「フィート」、約我七幅五十七「フィート」、深サ二十二「フィート」、甲板ヨリ上ノ高サ八「フィート」、蒸氣ノ力一千五百馬力云フニ似ケレトモ

噸數ニ比スレハ甚弱シニテ、四千五百五十四噸ヲ積ム、上等ノ客室三十、次等ノ客室十六、總テ四十六室アリ、九十二人ヲ容ルヘシ、船長「トーン」氏ヲ始メトシテ、頭立タル乗組人二十四人、水夫小遣スヘテ七十九人、總計百零三人、天秤仕掛ノ蒸氣器械ニテ、外輪ノ船ナリ、此ニ「アメリカ」號飛脚船ノ法則ヲ譯シ載スヘシ、米歐ニ行ハル、郵船ハ、大概之ニ準ス、

- 一 夜十一時ニナレハ、燈ヲ消スヘシ、病氣ノ外ハ、其後ニ燈スヘカラス、但病氣ノ時ハ、船長又ハ醫師ヘ斷テ許ヲウクヘシ、
- 二 船内ノ部屋、又ハ客室ニテ、烟草ヲ喫スヘカラス、
- 三 鳥獸飼犬ハ、部屋内ニ入ルヲ許サス、
- 四 博奕ヲ禁ス、夜十一時後ハ、骨牌遊ヒモ許サス、
- 五 出船ノ上ニテ、乗合ノ人人ニ、食用ノ順席ヲ知ラヌル札ヲ渡スニエ、其順ニ着座アルヘシ、
- 六 乗合ノ人人水或ハ酒ノ望ミアラハ、食用ノ鈴ヲナラサヌ以前ニ、給仕人ニ申付ルヘシ、

七 乗合ノ人人車輪ノ圍ヒ甲板ノ欄外ニ徘徊スルヲ許サス(當直ノ士官ト談スルヲ許サス)

八 許ヲ受ケスシテ發砲スルヲ許サス、
九 自然船危キ時ニ臨ミテハ船長及乗組ノ役役力ノ限り乗合ノ人人ノ命ハ勿論諸荷物マテ保護致スヘキニ付躁キテ自ラ危難ヲ増スヲナカルヘシ、

十 書庫ノ書籍ヲ借ル人人ハ醫師ヘ相談アルヘシ、
十一 乗合ノ人人部屋ノ内ニ大切ナル品物ヲ置カハ格別ニ心ヲ附ケ給フヘシ、

十二 午前十一時ニハ役役ヨリ部屋ヲ見廻ルヘシ、
時アリテ合圖ヲナラシ火消ノ訓練ヲ調ヘルコトアルヘシ其期ニ臨ンテ驚キタマハサル機(兼テ申置候也)

凡ソ横濱ヨリ(桑方斯西哥港マテ)二百七十五弗半ヲ上等ノ船賃トシ中等ハ百弗ヲ減ス、
此日房總ノ海ヲ乘リ出テ、豆相ノ洋ヲ走リユク(富嶽ノ雪箱根足柄ノ峯峯

皆夕陽ノ下ニ翠黨ヲコラシ景色ウルワシク見ユルヲ名殘ヲシケニ見送レハ其夜モ月色サヘワタリ海上ノナカメ最モ好ロシ之ヲ日本地方ノ別レトシテ十一時ニ至リ皆寢室ニ入リシニ夜半ヨリ一隙ノ雨ソ、キ來リ風浪頓ニ起リテ船ノ撼動甚タシ、

十三日 朝露風強

是朝ヨリ太平洋ノ航路ニ掛ル此日正午ニ北緯三十三度三十八分東經是ハ綠威ノ天文臺ヨリ百四十二度三十八分横濱ヨリ進行二百十〇海里ト客座ニ張出シテ衆客ニ示ス洋中ヲ渡ルニハ終日何ノナカメモナク只滾輪ノ音ヲ聞キテ船ノ進ムヲ知ノミナレハ毎日ニ張出ス經緯度及ヒ船ノ進ミヲ見テ時計ノ差ヒヲナスコト道中ニテ旅館ニ着キタルヨリモ樂シ此ニ航海ノ日記ハ他ノ其煩冗ヲ省キテ一ノ表トナス左ノ如シ、

- 十三日雨露風強シ 北緯三三度三八 東經一四二度三八 進二一〇海里
- 十四日晴絮雲風穩 三二度一一 一四六度一六 一九〇
- 十五日晴雲少風平 三一度二九 一五〇度〇五 二〇九

| | | | | |
|------|-------|-------|--------|-----|
| 十六日 | 半晴風平 | 三〇度五八 | 一五〇度二四 | 二二五 |
| 十七日 | 風雨起 | 三〇度四七 | 一五八度三〇 | 二一一 |
| 十八日 | 風雨猶甚シ | 三〇度三二 | 一六二度七 | 一九八 |
| 十九日 | 細雨風衰フ | 三〇度五〇 | 一六六度一八 | 二〇三 |
| 二十日 | 風雨又起ル | 三〇度四〇 | 一七〇度三七 | 二二一 |
| 二十一日 | 風雨稍平 | 三〇度三二 | 一七五度二 | 二二七 |
| 又 | 又 | 三〇度二〇 | 一七九度三〇 | |
| 二十二日 | 快晴風ナシ | 二九度五八 | 一七六度〇七 | 二一八 |
| 二十三日 | 濕霧風平 | 二九度五〇 | 一七一度四七 | 二二七 |
| 二十四日 | 陰雨風起ル | 三〇度〇〇 | 一六七度二五 | 二二七 |
| 二十五日 | 雨風稍強 | 二九度五〇 | 一六三度〇二 | 二二八 |
| 二十六日 | 快晴美風 | 三〇度二三 | 一五八度三八 | 二二九 |
| 二十七日 | 晴風強シ | 三〇度〇三 | 一五四度一四 | 二二九 |
| 二十八日 | 晴風平 | 三〇度〇六 | 一四九度五四 | 二二五 |

六

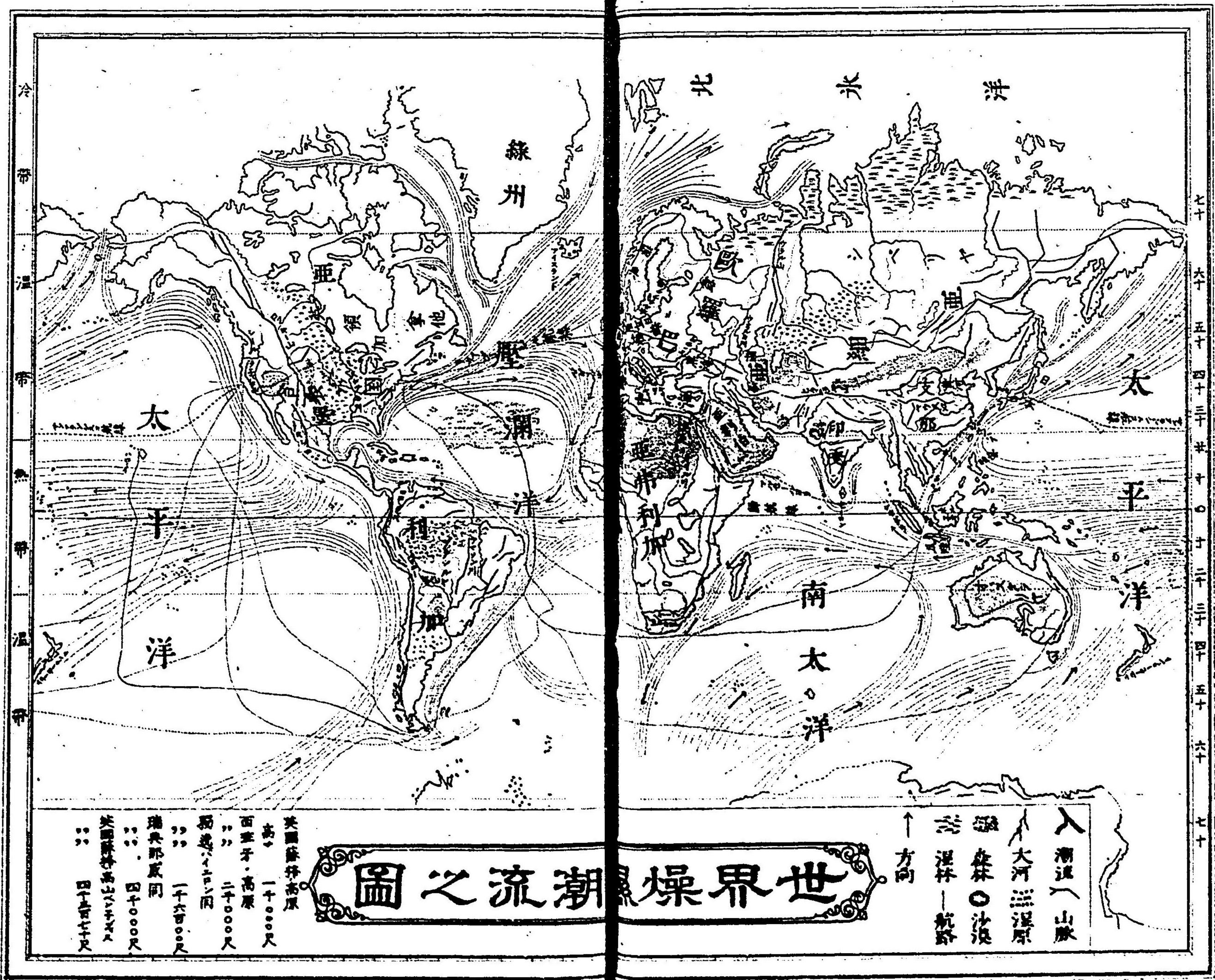
| | | | | |
|------|--------|-------|--------|-----|
| 二十九日 | 晴風平 | 三〇度〇六 | 一四五度四七 | 二三〇 |
| 月 | 朔陰天風起 | 三〇度四四 | 一四〇度四七 | 二四七 |
| 二日 | 陰天風平 | 三一度五四 | 一三六度一四 | 二四四 |
| 三日 | 晴天風平 | 三三度三〇 | 一三二度一七 | 二二七 |
| 四日 | 陰風平 | 三五度〇一 | 一二八度二〇 | 二一七 |
| 五日 | 薄陰風絶濃霧 | 三六度三九 | 一二四度二二 | 二〇二 |
| 六日 | 晴桑港ニ着ス | 三七度四七 | 一二二度〇六 | |

總テ全二十二日、四千八百五十三海里、約我二千三百里、大洋ヲ乘リキリ、一黠ノ島影ヲタニ見サル波路ニテ、船中ノ事記スヘキナシ、氣候ハ南方三十度ノ交マテ乘リ出タルトモ、海上ハ陸地ト違ヒ、氣候ニ格別ノ變化モナシ、但シ日本ヨリハ稍暖ナルコト多シ、此頃ハ洋中梅雨ノ時候ニ似テ、出帆ノ其夜ヨリ雨來リ、海天ニ白雲立起リ、其後十餘日ハ滿月ノ頃ナレ、大抵雨中ニテ月影サヘモ見ルマレニテ岑寂ヲ増シタリ、大洋ノ上ハ波ノ幅モ大ナル故、風立ツトキハ、船ノ撼動ニカアリテ、頭腦ヲナヤマスト甚タシ、然レモ風靜ナル時ハ殆ソト

益ニタトヘル水面トナル、

○洋中目ニ觸ルハ「カール」ト云鳥アリ其形ハ鷲ニ似テ瘡セ飛翔ノ姿ハ鶴ニ似タリ翅長ク三折シテ疊マル我邦ニテハ振天翁又アホウ鳥ト呼フモノナリ此鳥大抵地方ヲ離ル、十度ノ交ヨリ始メテ海上ニ翔リ遊ヒ又米ノ地方ヲ離ル、十度ノ前邊ニテ絶ヘル洋面ヲ家トスルカ如シ蓋大洋無人ノ小島ニ栖テ育スル鳥ナルヘシ又東經百六七十度ノ交ヲ過シコロニハ白キ鳥ヲ見ル大ナルハ鴉ノ如シ小ナルハ鳩ノ如シ飛翔翩翩トシテ紙ノ風一舞ヒ落ル如ク遠ク望メハ飛蝶ニ似タリ是モ「カール」ノ一種ニテ此邊ノ鳥ニ育スル鳥ナリト又米ノ地方ニ近ツク二日前ヨリ「カール」鳥見ヘス白鷗アリテ船ヲシタヒテ翔リ舞ヒ進ミ行ニ從ヒマスマス多ク若船ノ頃ハ群飛スルヲ蠅ノ如シ殆ト人ノ頭上ヲ掠メサラントスルニ至ル故ニ洋中ヲ渉ルニ「カール」ミユレハ船ノ遠ク地方ヲ離レタルヲ知り白鷗ヲミレハ地方ニ近ツクヲ知ルナリ、

○地球上ヲ東ニ廻レハ遂ニ一日ヲアマスモノナル故ニ航海曆法ニ經度百八



冷帶
溫帶
熱帶

七十
六十
五十
四十
三十
二十
十
〇
十
二十
三十
四十
五十
六十
七十

世界乾燥潮流之圖

入海流—山脈
大河—濕原
森林—沙漠
洋流—航路
↑ 方向

英國蘇格蘭高原
高—一千〇〇〇尺
西班牙—高原
高—二千〇〇〇尺
阿爾卑斯山脈
高—一十六百〇〇尺
瑞典那威同
高—四千〇〇〇尺
英國蘇格蘭山脈
高—四千七百七十尺

十度ノ交ヲ過ルキ、一日ヲ増スヲ定リナリ、太平洋中ニ、英ノ緯威ヨリ百八十度ノ交アリ、即前表ノ廿一日ニ此ヲ過キタルヲ以テ、廿一日ヲタ、ミテ航海曆ニ合ス、我東京ノ皇居ハ、英ノ緯威ヨリ東百三十九度四十九分ニアリ、是ヨリ桑港迄九十七度五十六分ヲ隔ツ、時差六時三十六分ニ及フ、皇居ヨリ百八十度ノ交ハ、歴瀾的ノ洋中ニアリ、西洋ニテ國都ニハ必ス司天臺アリテ經度點トスルナリ、

○十一月廿一日ハ西洋曆ニテ千八百七十二年一月一日ナリ、故ニ廿日ノ夜ハ、歐米ノ船客ミナ會シ、銀盤ニ「シャンパン」アラデー、其外種種ノ酒ヲ和シ「ボンケ」ト名ケ、之ヲ酌テ談話子夜ニ至ル、猶東洋ニテ守歲ノ俗ノ如シ、子夜ヲ過レハ、即チ來年ニ入ル、亦迎年ノ意ナリ、

十七日ニハ、皇城ニ於テ大嘗會ヲ行ハレルヲ以テ、旅中ナカラ聊天皇陛下ノ萬歲ヲ祝セント、船中一般ニ「シャンパン」酒ヲ賜ハリ、大使ハ直垂ヲ穿ツテ、船中ノ洋客ニ向ヒテ其由ヲ演シテ、幸ニ共ニ祝セソコトヲ演舌アリケレハ、米ノ日本公使「テロング」之ヲ其國語ニテ衆ニ演ス、衆皆起テ杯ヲ舉ケ祝ス「アド

ソグ「マ」大使ニ向ヒテ、並セテ其慶ヲ受ケルヘキ意ヲ演シテ杯ヲ舉ケ、衆皆之ヲ祝ス、英ニテ辭令ヲ演舌スルヲ「スピーチ」ト云、盛會饌席ミナ之ヲ以テ其情ヲ舒ス、米英殊ニ盛ニ行ハル、當使節ノ旅行ニ「スピーチ」ヲ爲スハ、此日ヨリ始ル、

合衆國ノ海軍士官「マクロー」ル氏ハ、此船ニ乘リテ歸國セリ、此人船將次官トナリ、今年夏ノ朝鮮打入りニ、分捕セシ書文籍案ヲ所持セルヲ、使節ニ出シ示シヌ、其品總テ五品アリ、一ハ大典會通ト題セル、朝鮮ノ典令ノ内一冊、刑典二ハ港畫圖、但シ洋紙洋式ノモノナリ、三ハ同横文字ノ圖解、四ハ勘定書、五ハ具草兩様ノ手紙ナリ、

第二卷 米利堅合衆國ノ總說 政治兵制國計ハ理事功程ニ讓リ略ス後之ニ倣ヘ

西班牙ノ「コロンボス」カ、亞米利加洲地ヲ發見セシハ、實ニ我明應ノ時代ニテ、其事世ニ隱レナケレ、見發見セシ地ハ、北亞米利加合衆國ニハ「アラス」北亞米利加ヲ初テ發見セシハ、英國「プリストル」ノ商人、一千四百九十七年ニ始テ此地ニ至レリト謂フ、其植民ヲ始メタルハ、是ヨリ九十年程モ後レテ、英ノ海商、今ノ「ヴァルタニヤ」州ニ至リ、植民ヲハシメ、數回土民ノ爲メニ殺サレタルコトアリ、是ヲ首唱トス、○一千六百十九年ニ至リ、英國ヨリ「ヴァルタニヤ」州ニ代權ニ代ルノ威權政府ヲ設ケタリ、此頃ハ英國女王「エリザベス」ノ世ニテ、本國ニ教門ノ論興リ、「プロテスタント」教中ニ「インデペンデント」宗トテ、自由ヲ主張スル一派ノ徒アリテ、英國式ノ新教ヲ不承服ニテ、一千六百二十年ニ、巡回教父「ウリヤム」プラット「ポルト」エトウフル、「ウインスト」等、海上ヲ渡リ來リ、「ケーフ」ヨット「ニ」テ天ニ誓ヒ、今ノ「マッサセツ」州ニ植民シ、教化ヲ布キ、「フリモート」ニ政會ヲ設ケタルナト、此國土ノ開ケルハンメトハナレリ、○其後英人「ウリヤム」ハ「ハ」

ソシユルヴァニヤ州ヲ開キ蘭人「ホッソソ」ハ新約克州ヲ開キ其外馳馬人佛蘭西人ナト各荒地ヲ開キ後種々ノ變遷アリテ英國ノ屬地トナリ英王ヨリ「ガバナル」知ヲ差越シ王命ノ下ニテ委權政府「プロウインヤル」ヲ建テ各州ノ首領ヲ支配セリ○英國ノ君民ハ此地ノ膏澤ヲ吸ント不法ノ稅ヲ徵セシニヨリ「パトリック顯理」サミエル阿丹士等ノ民權家抗論ヲ起シ敢テ服セス英國其理ニ屈スルモ其利ヲ忘ル能ハス茶稅ノ法ヲ設ケ陽ニ利ヲ與ヘ陰ニ稅權ヲトラントセシニ米人益其旨意ニ憤怒シ一千七百七十四年ヨリ國黨「レボリ」ヲ起シ七十六年ニ英國ノ支配ヲハナレテ獨立シ十三州ノ盟約政府「コンファデ」ヲ建テ華盛頓ヲ大將軍トナシ民兵ヲ擧ケ英國ノ軍ト八年ノ戰爭ヲ歷テ遂ニ和睦トナリ是ニ於テ衆議ヲ協シ聯邦政治「ユニオン」ヲ創メ「ヨク」ニ米國ノ人氣ハ國王ノ權ヲ憎ム「毒蛇」ノ如ク大統領モ國王ノ變名ニスキストテ殊ニ有名ナル顯理ナド烈シク之ニ抗論シタレモ竟ニ其理ニ服シ華盛頓氏カ此職ニアルナラハ懸念ナシトテ一千七百八十九年ヨリ今ノ合衆聯邦治ヲハシメタリ○故ニ此國ノ人ハ「ミナ」民主ノ風ニ生長シ一視同仁ノ

懷アリ人ニ接スル眞率親ミ易ク事ニ當リ從容「ホク」レヌ眞ニ天地ノ公民ナリ其弊ハ官威上ニ輕ク法度ニ活機ヲ失ヒ人人各私權ヲ張リ苞苴官ニ行ハレ公黨下ニ軌ノ憂ナキ能ハス但米國人ハ此風ニ浸潤セルノ久シキ純然タル民主ノ域トナリ復君主ノ治ヲ以テ其和平ヲ希フベカラザルナリ然レモ此風外國ニ流レ入り君民ノ間ヲ離間シ常典一タヒ敗ルニ至レハ其國本動テ鎮マラス佛國首ニ其禍ヲ受ケ西班牙晚ニ忠害ヲ蒙レリ故ニ歐洲ニ於テハ立憲政治ヲ協定シテ其昇平ヲ保護スルヲトナレリ

○此國ハ最初十三州ノ聯合ニテ人口五百萬人ニ足ラサリシニ今年マテ九十六年ノ間ニ拓地植民ノ業駁々トシテ進ミ竟ニ三十七州ヲ建テ三千九百萬八ニ及フ大國トハナリタリ其幅員ノ廣大ナル殆ト歐羅巴全洲ニ比スル廣域ナレハ先其國土荒増ノ形勢ヲ記シテ後ニ其詳カナルヲ記スヘシ凡合衆國ノ地ヲ三ツノ大部分ニ分ツ太平洋「パシフィック」一名ハ大東洋ノ東岸ヨリ東方落機ノ山マテヲ界トシテ幅最廣キ所ハ一千英里ニ及フ廣土ヲ太平洋ノ平地トス○落機山ノ東ヨリ東方「アルゲニー」ノ大山脈マテヲ界トシ幅最廣

キ所一千四百英里ニ及フ廣土ニ密士失比ノ大河アリテ南北ヲ分チテ中央
 ナ流レ去ル因テ此ヲ密河谷ノ平地トス○「アルゲニー」山脈ヨリ東壓瀾的名
 ハ大ノ海岸マテヲ壓瀾海ノ平地トス其土壤ノ廣サハ太平洋平地ト略其積
 ヲ同クスレト合衆國初興ノ地ニシテ且歐洲ト海ヲ隔テ相往來シ人口繁庶
 ニテ貿易甚旺ノ域ナリ○合衆國ノ起ル僅ニ九十六年最初ハ壓瀾海ノ平地
 ニ興リ次第ニ地ヲ西方ニ開キ今ヨリ三十年前マテ密河谷ノ平地ヲ漸漸ニ
 開キタリシニ其頃ヨリ落機山ヲ越エ太平洋海ノ平地マテ盡ク其版圖ニ入レ
 タリ

壓瀾海ノ平地ヲ三部ニ分ツ北方ニ六州中央ニ六州一縣南方ニ五州都ヲ
 十七州一縣幅員四十四萬六千二百九十一方英里人口千八百十五萬二千
 百八十〇人一千八百七十年ノ統計
 密河谷ノ平地ヲ二部ニ分ツ北方ニ十州南方ニ七州都ヲ十七州幅員百十
 四萬九千八百五十五萬方英里人口一千九百三十九萬九千百十二人
 太平洋海平地ハ只三州アリ幅員六十〇萬〇七百九十七方英里人口百五十

五萬六千〇〇一人

落機山ノ東西ニテ「リトリ」ノ荒野九部アリ都ヲ幅員九十七萬二千九
 百七十二方英里人口三十一萬千〇三十人ニ過ス近年亦露西亞國ヨリ「ア
 ラスガ」ト云荒土五十七萬七千三百九十方英里ノ地ヲ買取タリ此ニ住ス
 ル人民ハ七萬五千人ニ過キストナシ外ニ「インヂヤン」人カ一部ヲナシタ
 ル地アリ幅員六萬八千九百九十一方英里人口二十四萬六千人アリ
 之ヲ都ヲ合衆國ノ版圖トス都合幅員三百六十一萬千八百四十四方英里人
 口三千八百八十七萬七千人三十年ノ統計ナリ此外ニ外國ヨリ寄留ノ人民ス
 ヘテ七百五十萬人ニ過ク我日本ニ比スレハ人口三分ノ一多聯邦誌略ニ米
 利堅ノ地ヲ論スル毎ニ清國ト相比較ス寔ニ此兩國ハ東西ノ半球ニ於テ膏
 沃ノ壤地ヲ占メ足掌互ニ直下ヲ同クス緯度モ相同シク國形モ幅員モ粗相
 同シ然レ清國ノ山脈ハ東西ニ走ルヲ以テ河水ニ清流多シ米國ハ之ニ反シ
 山脈南北ニ走ルヲ以テ河水ニ濁流多シ人種ノ殊ナル風俗ノ異ナル其地宜
 ヲ相シテ生理ヲナスモ亦相同シカラズ故ニ人民ノ務ムル所ノ物産モ互ニ

有無ヲ殊ス是天然ニ化居懋遷ノ利ヲ存セル所ナリ且共ニ天府ノ饒地ナ
レハ人文ノ相開クルニ從ヒ太平洋海ヲ相隔テ互ニ交際ノ隆ヲ致サンコト
リ希望セラレタリ

○凡ソ大陸ノ地方ハ原野ノ廣キ山脈ノ綿亘セル一モ我日本ニ較ヘテ説コト
難シ如何トナレハ我日本ハ海上ノ孤島ニテ山脈亂錯シ平原廣野ト謂ツヘ
キ地ナシ關八州奥羽ノ地ハ我邦ニアリテハ寬曠ノ野ナレトモ大陸地ニアレ
ハ平地ノ最狭少ナルモノナリ我日本ハ一ノ山脈ニテ成タリトモ謂ヘシ大
陸地ニテ大山脈ト稱スルハ盡ク峻峯重層スルニハアラス中ニハ大原野ヲ
包ム猶我東山道ニテ山上ニ平野ヲ抱キ人跡ヲ絶ニ至ラスシテ筑紫四國羽
越ノ地ハ反テ往々人跡ヲ絶タル疊山アルノ理ナリ

米國ノ山ハ四脈ニ分ル前條ニモ謂シ如ク太平洋海ノ西岸ヨリ數フレハ第一
ヲ海岸山脈トス次ヲ「シイルラ子ヴァタ」ノ山脈トス第三ヲ落機ノ大山脈トス
第四ヲ「アルゲニー」ノ山脈トス此四山脈ノ外ハ概シテミナ平原廣野ナリ此
回ノ行ハ蒸氣車ニテ鐵道ヲ走リ海岸ノ山脈ヨリ越ソメテ四山脈ヲ横絶シ

壓瀾海ノ平地ヲ巡覽シタレハ全國ノ地形ハ略一般ヲ窺ヘリ其他ハ見聞ス
ル所ヲ參シテ此ニ大略ヲ述ヘシ○第一ナル海岸山脈ハ北方「オレゴン」州英
屬地ノ境ニ湧層シテ「カリホルニヤ」ノ西岸ヲ走ル峻嶮險嶂多ク頗ル我邦ノ
山嶺ニ似タリ○第二ナル「シイルラ子ヴァタ」山脈ハ「カリホルニヤ」ノ東境ヲ走
リ亦峻嶮ナリ此山脈ニ金銀汞ノ諸礦ヲ藏シ且樹木ニ乏シカラス「カリホル
ニヤ」ハ歐米諸國ニ聞ヘテ佳山水ノ名勝多キモ此兩山脈ニヨリテ成レルモ
ノナリ兩山脈ノ間ハ寬廣ノ沃野ニテ渺茫トシテ平衍天ニ連ル他日ニ人鳩
リ土開クレハ眞ニ陸海天府ノ國トナルヘシ「シイルラ子ヴァタ」ノ山ヲ越レハ
亂嶺糾紛シテ平原ヲ開ク概シテ枯燥ノ野地ニテ生氣アルナシ目シテ亞米
利加ノ沙漠ト云「ハンボーン」ノ荒野ハ其一ナリ後ニ詳○第三ナル落機山脈
ハ世界大山脈中ノ一ニシテ其長サ九千八百英里ヲ亘ル北海ノ濱ヨリ起リ
「マルセルラン」ノ海峽ニ達ス中ニハ一萬八千餘尺ニモ及フ高峯ヲ起スニ至
レト山勢甚々寬廣ナレハ往々散漫シ山上ニ茫茫ノ荒野ヲナシ上ルヲ知ラ
ズ下ルヲ覺ヘサル所多シ此大山脈ハ米國ヲ東西ニ平分シタル中脊ノ地ナ

レハ土壤枯燥シテ潤ヒナク殆ト生草モナキニ至ル此山脈ノ東麓ヨリ以東
 ヲ密河谷百萬方英里ノ平地トス此ハ米國ノ沃野ニテ全國ノ農産ハ大半此
 地ヨリ出ツ生齒ノ年々ニ増ス一人ヲ驚カス○第四ナル「アルゲニー」山脈ハ
 北方「メーン」州ヨリ起リ英領地ト米國トノ境ニ湧層シ「新約克州」ニ至リテ中
 絶ス樹木饒多ナルハ「ヴェルモント」ノ州名ニテモ知ラレタリ「ヴェルモント」ハ再
 ヒ「ペンシルヴァニア」州ニ起リテ「アラバマ」州境ニ盡ク亦險峻ノ嶺多ク樹木饒
 カニ礦物ヲ藏ス○此四大山脈ノ山間ニ抱キシ平原曠野ニテモ其廣サ我八
 州ノ地ニ比スヘキモノ指ヲ屈スルニ遠アラス一般ノ平陸ハ岡陵漫ニ起伏
 シ廣キ所ハ直ニ千里ニ達リ一峯ノ目ヲ遮ルナシ之ヲ要スルニ米洲ハ五大
 洲中ニ於テ尤モ平地多シト稱ス實ニ誣サルヲ覺フナリ

○此ニ水道ヲ記シ并セテ此國天然ト人修トニ成ル漕運ヲ説カン○四山脈
 リ生スル河流甚多シ其眼目トスルハ密士失比河ナリ北方ナル「ミネソタ」州
 ノ數小湖ヨリ滴リ流レテ南方「ニューオレンス」府ニ至リ海ニイル三千百六十
 英里ヲ流ル世界第一ノ大河ナリ後ニ詳落機山ノ東ヨリ出ル「ミソリ」河ノ諸

流「アルゲニー」山ノ西ヨリ生スル「オハヨ」河ヲ首トシ大小ノ河流東西ヨリ流
 レテ此河ニツク密河谷ノ平地ハ其利ニヨリテ富殖ヲナセリ○北方ニハ
 大湖五アリ其狀肺葉ノ如ク相連ル西ヲ「シネペリオ」湖ト云南ヲ「ミチガン」湖ト
 云湖南ハ即チ市高俄府ナリ東ヲ「ピニオン」湖ト云是ヨリ東南ニ「エリ」湖「オンダ
 リオ」湖相ツラナル此兩湖ノ際ナル水峽ヲ「ナイアガラ」ノ瀑布トス五大湖ノ
 水面積ハ總テ九萬七千八百方英里ニ及フ「オンダリオ」湖ノ下流ハ英領加拿
 他地方ニ送リ打出シテ「セントローレンス」河トナリ「壓瀾海」ニ入ル如此ナル
 大湖ノ接連セルヲ以テ大舶其上ヲ運行シ北方ノ土壤廣シト雖モ運輸ノ利
 ニ欠乏ナク湖濱ニ巨市大府甚々多シ○米國ノ水運ハ大河湖ヲ仰キテ其網
 トシ他ノ支流ニ因テ其紀トナス「新約克府」ハ「ホッソソ」河ニヨリ「費拉特費府」
 ハ「デルワ」河ニヨリ「シンシン」ナツテ「府」ハ「オハイオ」河ニヨリ「桑方斯西哥府」ハ「サ
 クラメント」河ニヨルカ如ク總テ合衆國ノ内地ニ於テ江湖ニヨリ航通スヘ
 キ線ヲ并スレハ二萬英里ニスク天然水利ノ富ハ世界ニ抽テ第一ナリト云
 合衆國ハ僅ニ二三百年ニ過サル新國ニテ全歐洲ニ同シキ廣土ヲ有シタレ

内國富殖ノ方ヲ盡セルヲ人民ノ勉勵ト州郡政治ノ遠度トヲ察セラル抑
 國ノ富ヲナスヤ百貨ハ地ニ散シテ生ス是ヲ聚ムルニヨリ價ヲ生ス其聚メ
 タルヲ能散スルニヨリ其價ヲ増ス其能聚メ又能散スルハ漕運ノ利第一ノ
 基本タリ○米國ノ廣漠ナルニ二萬英里ノ水運ニテハ未タ足ラス因テ運河ノ
 利ヲ起ス「カナル」ハ角倉氏カ西京ニ鑿疏運河ハ兩河ノ間ヲ鑿通シ相接続
 スルモノアリ河流ノ峻ナルヲ避ルモノアリ姑ク經過ノ地ニ就テ略言スレ
 ハ「セントロイス」府ト市高克府トノ交ニ河道絶ル因テ「リダノイス」運河ヲ掘
 テ市高克府ニ達ス「エリ」湖ノ水ハ「ナイアキラ」ニ止リ舟ヲ通セス因テ「アッパ
 ロ」新約克州「エリ」湖ノ「尾ニアル」都府ヨリ運河ヲ掘テ「ホツソソ」河ニ達ス其他「アレキサンド
 リヤ」華盛頓府ヨリ運河ヲ掘テ遠ク河上ニ遡リ「チセビーキ」ノ首ヨリ運河ヲ
 掘テ「シユスケ」ハソ「オ」河ニ遡リ「ヴァルゲニヤ」「ペンシルヴァニア」州中土ノ物産ヲ
 漕スルカ如シ全國ノ内ニモ殊ニ東方ノ諸州ハ其便利ヲ盡セリ總テ全國運
 河ノ長サハ四千英里ニ及フト云、

全國道路ノ修繕ニツキテ詳カナル報告ヲ得サリシハ遺憾ナレト「カリホー

ニヤ」「エタ」及ヒ「オマハ」府ヲ經過スルハ廣濶ナル馬車道ヲ野上及村市ノ間ニ
 設ケ雨雪ノ後ニハ塗泥ニテ履ヲ没スルヲミレハ土曠ニ人稀ナルカ爲メ十
 分ノ便利ヲ盡スニハ至ラサルヲ知ル然ル人民ミナ車輪運搬ノ利ヲシルニ
 ヨリ僻郷ニ至ルマテ細小ナル荷擔ノ蹊徑ヲ設ケス○鐵道ノ架設ニ至リテ
 ハ歐洲諸國ニ超越ス一千八百六十四五年ノ比マテハ總計長サ三萬八千餘
 英里ナリシニ七十年ニ至リテハ殆ト六萬英里ニ及フ此數ハ世界鐵道總長
 ノ半數ニ當レリ中ニモ三年前ニ落成セシ「オマハ」府ヨリ「カリホー」州ヘノ
 鐵道ハ其建築ノ浩大ナルヲ世界ヲ驚カシ貿易ノ形勢ヲ一變スルニ至レリ
 ○凡歐米ニ於テ國土ノ割ニ鐵道線ヲ多ク架有セル國ハ英白佛及ヒ米ノ四
 國ナリ米國ハ地曠シ線路長クレハ他ノ諸國ノ如ク建築ノ精ヲ求メ難シ故
 ニ地ヲ鞏築シ木材ヲ敷キ鐵軌ヲ均平ニ釘固シテ車輪ヲ阻格セサルニ止リ
 修美粧飾ニ違アラス其施工ノ經費ハ一英里ニ付テ五萬〇四百十八弗ノ平
 均ナリ此平均數ノ内驛ハ北部ニテハ五萬〇五百五十弗ニテナリ南部ニテ
 ハ二萬六千五百七十五弗ニテナリ中部ニテハ七萬九千四百廿七弗ニテナ

リ、太平洋平地ニテハ九萬八千三百弗ニテナル、之ヲ英國鐵道ノ平均費ニ比スレハ二分ノ一ヨリ六分ノ一ニテ架設スルナリ、是地代ト儲貸トノ高低ニ管係スルヲナリ、且米人ノ性質ハ英國ヨリ脱化シ、氣象更ニ活潑ニシテ、局度宏大ナリ、自ラ誇リテ、英人二名ニテ、我一名ニ當ルト謂トナン、

○此國ノ氣候ハ、版圖廣濶ナルヲ以テ、其差等モ亦殆ト全備セリ、南方「フロリダ」州ノ如キハ、南緯二十四度ニ接シ、熱帶諸國ト氣候ヲ同シシ、北方「アラスカ」露國ヨリ新ニ至リテハ、冷帯ニ迫レリ、中央諸州ハ中和ノ氣候ニテ、支那ト相比シテ論スヘシ、然レ寒暑ノ變化異常ニテ、我日本ニ比スレハ怪ムヘキホトナリ、蓋シ其地勢タル、山脈南北ニ綿亘シ、東西ヲ横絶スルモノナリ、北方ハ陸地廣シ、南方ハ灣海ヲ隔テ、熱帶ノ州土ニ面ス、故ニ南方空氣少シク異動アレハ、其炎蒸ノ氣流レテ、直ニ加那他ノ地方マテ、感動スルニ障礙ナシ、北方ノ空氣少シク異動アレハ、加那他ノ吹下シ、直ニ墨是哥灣ニ至ルヘシ、故ニ風ノ向背ニテ、寒暖速ニ變スル、此國ノ全土ヲ概シテ省然リ、○其中ニ於テ、之ヲ詳論スレハ、落機山ノ西麓ヨリ「カリホルニヤ」ニ至ルマテ、一帯ノ地方ハ、南ニ墨是

哥ノ高地ヲ蔭ニシ、前ニ太平洋海ノ温潮流レ來ルヲ以テ、寒暑共ニ酷ナラス、空氣モ頗ル濕ヘリ、○又海岸山及ヒ「シイルラネヴァタ」山ノヘダ、ハリニヨリテ、落機ノ近傍ニ至レハ、雨澤甚少シ、我一行ノ逢ヒシ、此回落機ノ大雪ハ、十年間一マヒアル異候ナリト云、市高俄府ニ至リシキハ、我立春ノ比ナリシニ「ミチダ」湖ヨリ來ル風ハ、膚ヲ刮リ、地上ニナ凍リ、其寒氣甚ク異常ナリキ、○其後、盛頓ニテ春夏ノ兩候ヲ經シニ、春ハ三月ニ至リテ始メテ雪絶ヘ、草木乍チ花サキ、乍チ綠ヲ動シ、四月ニ至リ南風一タヒ拂ヘハ、炎氣八十度ニ及ヒ、北風來レハ又冷ナリ、五月ヨリ炎熱次第ニ増シ、六月ニハ百度ニ至ル、新約克府ヨリ波士敦府マテ、大抵ミナ同シ、中土ナル市高俄府邊モ亦然リトナン、如此ト三十四日ニテ、七月初ヨリハ己ニ秋涼ヲ催セリ、ニテ云フ、是ヲ聞ク、冬季ノ寒ハ、新約克州中ニテモ下テ零點ニ及フヲアリト、○凡春夏秋冬ミナ三ヶ月ニテ、温熱冷寒ヲ變スルハ、東洋地方ノ氣候ナルヘシ、梅雨ノ如キハ、清國ニテモ江南ノ異候トナス、殊ニ歐米ニハ驚キ異ム所ナリ、但米地ニテモ驟雨ハ度々アリ、東部地方ハ、一般空氣乾燥シ、我邦ニ比スレハ、燥濕甚ク差アリ、菜蔬ノ類モ、

兩三日室中ニオケハ、粉碎スヘキホトニ燥キ、朝漱ニ用ヒシ手巾、午後ニ至リテ濕ヲ帶タルコトナシ天色ハ清朝ニシテ、遠望常ニ六十英里ニ達スヘシ、
 ○土地ヨリ生スル產物モ亦氣候ト同シク、其差等殆ト全備セリ、南部ノ諸州ハ熱帶ニ近シ、沙糖棉花稻米烟草等熱國ノ產物ヲ生ス、カロライナ州ノ稻米ハ歐米ニ於テ第一ノ良稻ト稱ス、米國南方ノ棉花ハ、米國ニ用ヒ盡サス、之ヲ英ニ輸ス、英國之ヲ仰キテ世界ニ衣被シ、兩國之ニ因テ富ヲナス、盛ナリト謂ヘシ、烟草ノ利モ之ニ次テ巨大ナリ、其他諸麥大小麥裸麥玉蜀黍トウモロコシ大麻亞麻ホップ蠶果牧畜ニナ饒ニ農牧ノ利ハ泉ノ湧カ如シ、近年又南方ニ蠶桑ノ業ヲ起シ、駭々トシテ緒ニツク、○北部及ヒ西方諸州カリホルニアノ諸州ハ、粗歐洲ト地位ヲ同クシテ、產物モ亦相類ス、諸麥玉蜀黍秣草燕菁甜紅燕菁ヲ耕シ、林檎桃梨葡萄瓜瓠ヲ植ヘ、楓糖メイビレヲ榨シ、蜂蜜ヲ釀シ、馬牛羊豚ノ畜ヲ務ム、農作ノ利益ハ、歐洲交易最一ノ品タリ、

全國耕田ノ數ハ、一千八百六十年ノ記載ニ、一億六千三百二十五萬「エーカー」ニ及フ、我我四千百餘萬、爾來南北戰爭ニヨリ開墾ノ勢ヲ一頓シタレトモ、今ハ此

數ヨリ増加シタルヘシ、○是ヨリ生スル農產ノ穀類ハ、一千八百七十年ノ統計ニ據リ「アッセル」ヲ以テ數ヘ、「アッセル」ハ「ガルロ」ニテ我ニ斗ニ較ス

- 玉蜀黍 九億九千四百八十九萬「アッセル」
- 小麥 二億三千〇九十六萬「アッセル」
- 燕麥 二億五千五百九十八萬「アッセル」
- 裸麥 千五百三十五萬「アッセル」
- 大麥 二千六百七十四萬「アッセル」
- 馬鈴薯 一億二千〇五十八萬「アッセル」

是ミナ國民ノ貴要トスル本食ナリ、其他蕎麥黍甘藷有莢類ノ產高ハ、此ニ略ス、稻米ハ只西南部ノ兩三州ニ耕作ス、其產高一千八百六十年ノ記載ニ、

稻米 一億八千七百十四萬「ボント」約五十「ボント」ニテ

其他貿易品製作品ヲ耕作スルハ、中部南部ニ烟草ヲ種ヘ、南部ニ棉花甘蔗ヲ種ヘ、北部ノ楓糖及ヒ全部ニ麻類、一千八百六十年ノ記載ニ、

烟草 四億二千九百三十九萬七千七百七十一「ボンド」我百二十

棉花 五百十九萬八千〇七十七噸 我千七百斤
 大^{ヘン}麻^マ 十萬二千四百九十噸
 亞^フ麻^{ラツキス} 三百七十八萬三千〇七十九「ポンド」
 白糖 三億〇二百二十〇萬五千「ポンド」
 糖汁 千六百三十三萬七千八十「ガルロン」
 楓白糖 三千八百八十六萬三千八百八十四「ポンド」
 楓糖汁 百九十四萬四千五百九十四「ガルロン」 我二升五合

是其大略ナリ、

牧畜ノ利ハ同年ノ記載ニ、

馬 六百一十一萬五千四百五十八疋
 騾 百十二萬九千五百五十八疋
 牝牛 百七十二萬八千八百六十二疋
 犢及ヒ^{キヌゴキヤン}奄牛 三百七十一萬千七百七十五疋
 羊 二千二百三十一萬七千七百五十六疋

豚 三千二百五十五萬五千二百六十七頭

牧畜ヨリ生スル利益ハ、

牛^キ酪^{トル} 四億六千〇五十〇萬九千八百五十四「ポンド」
 乾酪^チ 一億〇五百八十七萬五千三百三十五「ポンド」
 羊毛 七千〇五十一萬千三百四十三「ポンド」

憶フニ今ハ是ヨリ十年ヲ經タレハ即今ノ數ハ更ニ増加シタルベシ、

○農牧ノ業ノミニテ國ノ生意ヲ證シ難シ如何トナレハ南蠻モ耕シ食フヲシ
 ル北狄モ牧シ屠ルヲ知ル生テ食シ食シテ死ス榛々^ハ拓々^ハノ域中ノミ共開智
 ナルニ及ベハ利用以テ厚生ノ道ヲ盛ンニシ礦業興リ製作巧ミナリ昔者^ハス
 カンデネロヤン^ノ夷民^{今ノ瑞}典^威ハ石ヲ以テ刀刃ニカヘタリト今米國^{イン}ダ
 ヤン^モ亦然リ礦業興ラサル時代ヲ目睹セハ憐ムベキノ生意ナラシ進テ銅
 礦ヲ採リ金銀ニ及フ三品金ノ國民ニ貴重セラルマテハ是ヲ金ノ時代ト謂
 テ中世ニ比ス銅質ハ軟ニシテ器械ニ適セス必ス堅剛ノ鐵ヲ化冶スルヲ知
 テ始メテ利用ノ緒ニツキタリト謂ヘシ鐵礦ノ國民ニ貴重セラルヲ鐵ノ時

代ト謂米歐諸國ハ方ニ此時代ニス、メリ日本ハ鐵ヲ用フレトモ未タ化治未タ此時代ニ鐵冶ノ業盛ソナレハ百礦ミナ興リ製作精美ニシテ其利ヲ農進マストス、鐵治ノ業盛ソナレハ百礦ミナ興リ製作精美ニシテ其利ヲ農牧ニ及ホス、此ニ米國ノ礦產製作ヲ記セソ、

方今礦產ノ利益ニ於テ第一ト謂フヘキモノハ石炭ト鐵トノ兩種ニ越ルハナシ、米國ノ石炭脈ニ富メル、全歐羅巴洲ニ三倍ス、一千八百七十一年ニ全國ノ掘出高三千八百五十餘萬噸、鐵ハ同七十年ニ全國ノ掘出高三百四十餘萬噸、皆「ペンシルヴァニア」州ノ產、三分ノ一ヲシメタリ、此外「ミチガン」ニューヨーク「新約克」ニューヨーク「ゲニルセー」及ヒ「オハイオ」州ニテ鐵ヲ掘出セル數ハ全額ノ半ニオレリ、其他十ハケ州ニ產鐵ノ地アリ、銅ハ「ミチガン」州ノ「シユベリオ」湖傍ヨリ出ルモン、全國產額五分ノ四ニオル、貴金金銀ノ類ヲハ謂フ名ナリ、太平洋海平地ノ諸州ニ多シ、一千八百七十一年ニ外國輸出ノ金銀其價九千八百五十餘萬弗ナリキ、其他「イルイノイス州」「ミソリ」州等ニ鉛ヲ出シ「ペンシルヴァニア」州ニハ石腦油ノ利巨大ナリ、同州及ヒ「マッサセツ」諸州ニ大理石青石等建築ノ石材ヲ出シ或ツ純淨ナル玻瓈沙ヲ出シ、此國ノ礦業ハ世界ニ聞ヘテ名高シ、

製作工藝ノ興ルハ製鐵ノ業開ケルヲ以テ根本ヲナス、米國己ニ炭鐵ニ富ム、製鐵從テ盛ナリ、全國ニ礦鐵ヲ熔成スル場三百八十六ヶ所アリ、是ニ從事スル職人二萬七千五百餘人、熔烘爐五百七十四基ニテ、約二百餘萬噸ヲ熔成ス、銃砲製造所二千六百五十三ヶ所、職人五萬千人ニ及フ、其他工匠農具「シヴィル器械」ノ屬凡百般ノ鐵冶場ハ三百十ヶ所、職人四萬五千人ニ及フ、第一ニ製鐵ノ盛ナルハ「ペンシルバニア」州ニテ、費拉特ワシントン及ヒ「フィツチスボルグ」府ハ其譽高シ、第九卷第十之ニ次シハ新約克ニューヨークニテ、殊ニ造船ノ譽高シ、其他「オハイオ」州ノ「シンソナッチ」府「ミソリ」州ノ「セントロイス」府第八九卷ニ出或ハ「ニューゲルセー」州「メーリーラント」州等ミナ製鐵ノ地ナリ、○鐵材ノ最モ國民ニ利益ヲ與フルハ工匠農具ノ外紡織機械ニ過ルモノハアラサルベシ、米國己ニ棉花牧羊ニ富ム、乃機械ヲ以テ之ヲ紡キ之ヲ織ル、羊毛ノ紡織場ハ二千八百九十一ヶ所、大場少キ棉花ノ紡織場ハ九百五十六ヶ所アリ、是ニ附屬スル水車ノ力ハ十六萬千七百三十九馬力ニテ、蒸氣ノ力ハ八萬三千〇十七馬力、水車ヲ用フルト蒸氣力ニ一倍ス、是ニテ察スベシ、蒸氣ハ已ヲ得サルニ用フルトテ而テ

使役ノ職人ハ男四十七萬五千五百人、女九萬七千三百〇七人、童男女三萬二千五百八十五人ナリ、棉花ノ紡織ハ、殊ニ婦人童幼ヲ役ス、羊毛ノ業ハヤ、力ヲ要スルニヨリ婦童少シ、是ミナ全國ニ於テ最利益ノ首タルモノナリ、○此他麻亞麻ノ紡織、甘蔗楓糖ノ精製、烟草ノ製作、果穀ノ醸造、ミナ盛ゾニ、皮革材木ノ器具ヲ製スル、脂蠟曹達ノ石鹼蠟燭ヲ製スル、鍍錫鐵白銅ノ食器ヲ製スル、毛布棉布ノ衣裳ヲ縫ウ、引火奴靴帽手套ノ類、上下日需ノ物ハ、各州各都ニミナ製場ヲ設ケテ、製シ出ス、夥多シ、凡ソ此等ノ製作ハ、西洋各國ミナ各地必需物ニテ、往處ニ製作盛ナレ、一々之ヲ記セス、後ミナ之ニ準シテ推考スヘシ、又奢靡風流、奕翫ノ工ハ、大都會ニ於テ其製場ナキニハ、アラサレ、此國ノ長技トハ、爲サ、ルナリ、彫版活字ノ業ハ、華盛頓氏以來ノ注意スル所ニテ、各州ミナ書籍ヲ廉價ニテ印刷シ出ス、世ニ譽高シ、願フニ南部ニハ、烟草蔗糖ノ製造ハ盛ナルヘシ、之ヲ要スルニ、南部及ヒ密河谷ノ平地ニ於テハ、其利重ニ農ニアリ、製作ヲ務ムルハ、北部ノ諸府、歷瀾海岸ニ於テ著ク盛ナリ、○一體此國ハ、人氣ノ活潑ナルニヨリ、器械ノ發明モ亦活潑ナリ、國人自ヲ誇ル器

械ノ工ニ至リテハ世界第一ナリト、此國ニテ製作セル器械ヲミルニ、其工撓ニシテ、意匠ノ奇警ナルヲ、人心ヲ快クスルモノ多シ、歐洲各國ヲ回り、百種ノ器械ヲ見シキ、其機關ノ奇工ニテ、意想絶倫ト覺フモノヲ、見付タル毎ニ其出處ヲ問ヘハ、多ク米國ノ發明ナリ、但其弊ハ、流ル獨逸ノ緻密、英國ノ精良、佛國ノ風致ニ比スレハ、鄙野ヲ免レス、歐洲ノ人ハ、自ラ其洲ノ文華ニ誇ル、毎ニ米國ヲ目シテ野ナリトイヘ、米人ノ目的ハ、反テ此ニアリテ、彼ノ文華トイフハ、浮薄ノ變名ニテ、實用ニ益ナシト、亦笑フトナリ、

○貿易ノ業ハ、農礦及ヒ製作ノ物ニ價ヲ與ヘテ、其實益ヲ受シムル所以ナレハ、凡米歐ノ民ハ、商業ノ盛衰ヲ重要トスルヲ、農業國ノ豊凶ニ注意スルト、一般ニテ、一都一港ノ不景氣モ、全州ノ人氣ニ關係ス、故ニ其注意甚切實ナリ、昔時此國ノ起ラサル以前ニ、世界ニ貿易ノ行ハレシハ、地中海ノ四周ヨリ、亞弗利加、亞細亞ニ波及セルノミナリシニ、此國興リ、歐洲ト相競ヒ、竟ニ背後ヘ回リ出テ、太平洋ノ航路一線ヲ開キ、清國ヨリ南洋印度ニモ及ホサント欲スル所ヨリ、嘉永ノ季ニ「ペルリ」氏ヲ使節トシテ、我日本ニ送り、其機會ヲ啓キ、爾後米

人ハ日本清國ニ貿易懇信ヲ求ムルノ意尤モ切ナリ○米國ハ地大ニ天産ニ富ミ國ノ人口ハ旅客ヲ并セテモ五千萬ニ及ハス貿易ヲ務メ他邦へ送ラザレハ百貨地ニ靈壤スヘシ歐米ノ貿易起リヨリ荷蘭^{オランダ}ノ牧畜ハ米ノ秣草ヲ饑ヒテ其數ヲ倍蓰シ英ノ職工ハ米ノ棉花ヲ紡シテ其産ヲ與シ米ノ烟草糖汁ヲ得テ各國其味ニ飽キ米ノ百穀諸畜ヲ得テ歐洲ノ僻地ニ生口ヲ増セリ歐米ノ貿易ハ其管係甚々大ナリ其景況ヲイヘハ米ヨリ天産物ヲ以テ歐ノ工産物ト交易スルナリ故ニ米國ノ政治家ハ内地ノ製作ヲ勵マシ之ヲ盛大ニセンカ爲メ外國ノ工産ハ差ヲ以テ重稅ヲ課收ス名テ保護稅ト云是ヲ以テ米國ニテハ服飾器皿家什喫齋スヘテノ工産物ミナ其價ノ騰貴ナルヲ歐洲各國ニ超ヘタリ○千八百七十一年全國ノ貿易記載ヨミルニ輸入物品ノ價五億四千四百四十九萬餘弗ニテ輸出物品ノ價ハ五億九千〇九十七萬八千餘弗ニスキス英國トノ貿易其大半ニオリ而テ英國へ送ルハ棉花其最ニオル總量六萬二千噸之ニ次クハ穀類ナリ商船ノ數ハ風帆船二萬六千二百二十三艘其噸數三百一十一萬千八百〇三噸蒸氣船三千六百二十五艘其噸數

百〇四萬八千二百噸而テ諸港入津ノ船數ハ內國船三百七十四萬二千七百四十噸ニテ外國船ハ六百二十六萬六千四百四十四噸ナリ○一千八百六十年マテハ大ニ繁榮ヲ極メ駿々トシテ富庶ヲスメタレハ六十一年ヨリ四ケ年ノ間內都市民ノ戰爭(所謂南北部ノ戰)連リタレハ其進步ニ於テ自ラ一頓ノ勢ナキ能ハス是ヨリ稅額增益シ六十四年ヨリ五年マデニハ國計十八億九千七百〇五萬弗ヲ費耗スルニ至リ莫大ノ紙幣ヲ製シテ貨位ヲ損シ一時ハ正金百弗ニテ二百五十弗ノ紙幣ニカヘルニ至リシト此等ノ事故ニテ國內貿易ノ利ヲ妨ケラレ大ニ損失ヲウケ輸入ノ額ヲ超加セリ解兵ノ後ハ百方國計ヲ饒ス方法ヲ設ケ漸ク稅額ヲ減シ七十一年マテニ四億二千五百萬弗ノ國債ヲ消滅シ元氣ヲヤ、挽回スルニ至レリ但國內ニ豪商巨賈ノ多キハ歐洲ノ大國ニ比シテモ劣ラサルヘシ新約克州^{ニューヨーク}ノ如キハ豪家ノ財力甚々巨大ニテ政權モ殆ト其勢力ニ壓セラル、姿アリ共和政治ノ下ニハ民權漸クニ張テ政權之ニ屈ス貿易ノ景況モ政表書ニテハ確知シ難シト云、

○此國ノ人民ハ最初英佛及ヒ蘭暹諸國ヨリ開ケル地ニテ一時英國ニ屬シ後

離レテ獨立スルニ及フトキ僅ニ五百萬ノ人口ニテ興リシニ百年間ニ遽ニ七倍ノ多キヲ致セルハ外國ノ移民多キニヨル、一千八百二十年ヨリ七十年マテ五十一年間ニ外國人ノ移住セルモノ七百五十萬人ヲ數フ其内英國ヨリ移住セルモノ最モ多シ、次ヲ獨逸人トス、又開創ノトキヨリ黒奴ヲ亞弗利加ヨリ輸入シ使役シタルヲ以テ黒人ノ多キヲ全國人口七分ノ一ニオル、中土ニハ「インデヤン」人アリ西方ニハ清國人ヲ役ス、人種ノ厯雜ナル各種全備セリト謂モ可ナリ、○然レモ本來此土國ノ開拓ニ就タルハ歐洲ノ大商豪族、及ヒ教徒カ巨萬ノ資本ヲ以テ五方流移ノ小民ヲ使役シタルニヨル、故ニ白人種其首領トナリ中ニ就テ英人ニ最モ多シ其教育ヲ受テ成立セル國ナルヲ以テ一般ニ英語ヲ國語トナシ制度モ大抵英制ニヨリ英ヲ稱シテ母ノ國ト云其内一二ノ州ニハ獨逸語ヲ用フル州アリ南方「ロイシヤナ」州ナトニテハ廣シ佛語ヲ用ヒ西南新墨是科「アリソナ」部ハ西班牙語ヲ用フ其他郡村ノ間ニハ種々ノ國語ヲ以テ村落ヲナセル所少カラス、○此國ハ土曠ニ人稀ナル新州ナレハ經國ノ業ハ殊ニ植民ニアリ人口ノ繁殖ニ於ル飢渴セル如ク、

入

私生ヲ養ヒ棄兒ヲ育シ、百方ニ手ヲ盡スニヨリ生民ノ種モ良莠ノ別ナシトセス、各國ノ流民ハ大抵懶惰ノ頑民ニテ加フニ私生野合ノ賤種ヲ字養シタレハ一般ノ人氣甚惡シク劫殺盜竊地トシテナキハナク賤民ノ窩ハ汚穢ヲキハメ教育保護ノ法多少ノカヲ要ス、喫烟飲酒ノ戒ハ西洋ノ通風ナレモ此國最甚シ共ニ重税ヲ科シテ代ルニ茶ヲ以テス、茶ノ米國ニ盛ソニ行ハルハ此因ニヨル然モ凡民ノ嗜好抑止スヘカラス、本年國內ニ消耗セル烟草ノ價ハ一億三千五百二十萬弗、穀物ノ價ハ二億ナリ是其酒ノ價ハ六億一千六百七十七萬四千四百九十弗ニ及ヒタリ、猶嘉尙スヘキハ街路ニ醉漢少シ人々ミナ其戒ムヘキ耻ヘキヲ知ルノ證ナリ、但西洋諸國ニテ人氣ノ惡シキハ東ニハ米西ニハ露ヲ最トス、而シテ露都ノ賤民ハ更ニ墮然トシテ自放ナリ、
 ○學校ノ教育ハ普通ニ手ヲ盡セリ、小學校ノ多キト、新聞紙ノ多キト、入學ノ童子ノ多キトハ諸國ニ超越ス、一千八百六十年ノ教育調査表ヲミルニ當時全國人口三千百三十一萬六千六百四十二人ノ内二十歲以上ノ成年一千五百十八萬三千五百八十八人ニテ文字ヲ知ラサルモノ二百九十五萬二千二百三

十九人五歳ヨリ二十歳マテノ童子、一千百二十一萬〇百二十八人ニテ、就學セサルモノ、五百五十二萬九千七百七十ナリ、七十年ノ記載不詳○又一千八百七十二年ノ記載ヲミルニ、全國大小學校ノ總數ハ、十四萬千六百二十九ケ所、教師十二萬千四百〇二人、内男九萬三千三百二十九人、女七萬七千七百三十九人、生徒七千二百二十〇萬九千九百三十八人、内男三百六十二萬九千九百九十六人、女三百五十八萬七千九百四十二人、學費諸料總テ九千五百四十萬四千七百二十六弗ヲ用フ、其内生徒ノ家ヨリ出セル學費ハ、只二千九百九十九萬弗、各州郡ニテ一般ヨリ法ヲ以テ取立タル學稅、六千七百七十四萬弗ニ及フ、其餘ハ學校ノ所有物寄附金等ニシテ、三百五十八萬九千九百多キニ及ヘリ、○教育ノ方法ハ、大政府ヨリ格別ニ注意セス、各州ノ自定ニ任ス、各州ノ政府ニ於テハ、之ヲ民政中ノ一大事務トナシ、毎年州ノ議院ニ於テ、學稅ヲ議定シ、且積金ヲ大ニスル方法ヲ吟味シ、建校勸學職制等、ミナ州々ニテ思ヒ思ニ其周備ヲ競フ、故ニ全國一規ノ學制ハアラサルナリ、但其大要ハ、合衆國ノ本領ニヨリ、人民ノ意ニ任セ、人々自ラ奮發セシムルヲ旨トス、故ニ歐洲ノ如ク父兄ヲ督責シ強テ嚴法ヲ以テ迫リ、子弟ノ入學ヲ促スコトナケレド、八ミナ

不學ヲ耻テ、自怠ラサルハ、合衆國ノ氣習ニテ、自由寛政ノ實効ト謂ヘシ、但「マサセツチ」州ハ、童男女ヲ入學セシメサル父母ニハ、二十弗ノ過料ヲ收ムル法ヲ、一千八百六十三年以來設ケタリ、勸學ノ法ハ、如此ニ寛政ヲ主トスレド、各州ニ於テ、學校ヲ平民ト僧徒トニ委任スルコトハ、其弊ヲ實驗シテ廢止セリ、○此國ニ植民ノ初メハ、教育ノイモ本國ノ法ニヨリ、西班牙人ノ「シント」オースタダン」ニ移リ、英人ノ「シント」セームストン」ニ移リ、巡回教父ノ「ブレモース」ニ移ル、此記ノ初メ、等一家ノ民族、或ハ僧徒ノ内ヨリ、總代人ヲ舉テ、教育ノ世話ヲサセタレド、新英倫、マッサセツチ、ロードアイランド、カナダ、ゲット、新ニテハ、教育ノ權ヲ僧徒平民ニ委セス、政府ニテ管轄ナシタルニ、僧徒平民ニテ支配スル學校ハ、開智ヲ進歩スル主要ヲ失ヒ、政府支配ノ州々ハ、其効著シカリシヲ以テ、各地頓テ之ヲ廢止シ、政府ニテ司ルコトナシタリ、只蓄奴ノ行ハレシ南方ノ諸州ハ、兎角共舉モ行ハレサリシニ、近年南北ノ戰熄テ後、ミナ之ヲ廢止シ、今日各州ノ政府、ミナ學校ヲ支配セサル所ナシ、其他ノ學制モ、東北ノ諸州ヨリ始リテ、各州ニオヨヒ、各其民宜ヲ酌ミ折衷セシヲ以テ、大同小異ニス

キスト云○大學校「ユニヴァルシチー」ユルノ總數ハ、全國ニ三百六十九ヶ所アリ、千八百七十年「ペンシユルヴァニヤ」「オハイオ」ノ兩州、最モ多シ、其内ニ於テ著名ノ大校ハ「ケンブリッヂ」ノ「ハルワイト」、コル「レデー」ニテ、千六百三十八年ニ建立シ、其書庫ニハ八十九萬四千冊ノ書ヲ蓄ヘタリ、又「ニーヘヴン」ノ「エールコルレデー」モ之ニ亞匹スル大校ナリト云、其他法律學校二十八ヶ所、神學校九十三ヶ所、商法學校農學校共ニ各二十六ヶ所、師範學校八十一ヶ所、書庫ノ數百六十一ヶ所、盲院二十二ヶ所、啞院二十六ヶ所、癲院五十一ヶ所アリ、

○宗教ハ「プロテスタント」教ヲ以テ國教トナス、兼テ羅馬カドレーキ教モ亦多シ、其他希臘カドレーキ教、猶太教、及ヒ「カリホルニヤ」ニハ佛教ノ寺モアリ、信教ノ自由ヲ寬ニスルハ、近今歐洲諸國ノ通政ナレ、國內ニ佛教ノ寺アルハ、特ニ此一國ナルヘシ、○一般信教ノ心甚篤シ、英國ハ歐洲ニテ最モ信教ニ篤キ國タリ、然レ此國ヨリ彼地ニ航スレハ、猶未タ篤カラサルヲ覺ヘ、英ヨリ米ニ航スルモノハ、英國ノ信教猶薄キヲ覺フト謂ニテ知レタリ、安息日ゴトニ市廛ト雖モ大抵ハ戸ヲ鎖シ、土曜日ノ午後ヨリ、商賈半ハ行ハレス、是レ此國ノ

賴テ以テ風俗ヲ維持スル所歟、

○通用ノ貨幣ハ、「ドル」ヲ以テ元位トス、之ヲ弗ト書スルハ「U」ユウナイ「S」トナス、合字「U」ヲ標トシタルナリ、「ニ元トモ」ニ「セント」ニ分ツ、二十五「セント」ヲ以テ、英ノ「シリング」ニカユル、南北戦争ノキ、政府ノ財用空竭セルヲ以テ、紙幣ヲ流布ス、紙幣ノ額過多ナルヲ以テ、其價下落シ、我一行華盛頓府ニ着セシ比ニハ、約十分ノ九ヲ相場トシ、「アラバマ」船ノ議論起リ、瑞士「ネーバ」ノ記、英國ト殆ト戰ヲ交ヘントスル勢ナリケレハ、更ニ下リテ十分ノ八半ニモ及ハサルニ至リシヲアリケリ、落機山以西ノ州々ニハ、元來紙幣ノ通用ヲ承諾セサリキ、○其他度量ノ制ハ、英國ト同シ、常量一磅ハ、我百二十一匁五分ニアタル、二十八磅ヲ「シオトル」トイヒ、四「シオトル」ヲ「ポンド」トイヒ、其二十ヲ噸トス、一噸ハ我千七百斤強ナリ、立方積「ガロン」ハ、我二升五合ニアタル、八「ガロン」ヲ「ブッセル」トス、平方積「エーカー」ハ、約我四段ニテ、里法「マイル」ハ、十四町七二ナリ、

第三卷 桑方斯西哥ノ記上

十二月六日 晴

此曉ハ咫尺モ辨^{ワキ}ヘヌ程ノ深霧ニテ甲板^{カクバツ}ノ上ハ津瀉^{ツツ}ヲナスニ至ル故ニ洋中ニシハシ船ヲ止メ黎明ヲ待シニ天明ニ霧モ彷彿^{ホウホウ}ニ消レハ前ニ加利福尼^{カリフォルニア}ノ諸山顯レタリ頓テ旭日昇リ船徐々トシテ進ミ行クニ正東ニ當リ兩峯中斷ヘテ門關ノ狀ヲナシ其裏面ニマタ海水ヲマヘ蒸氣船ノ烟ヲ噴キ往來スルヲ見ル景色ウルハシ、是ヲ名ニヨフ金門(英語ニテ「ゴールデンゲート」ト云處ナリ)○二十二日ノ間洋中ヲ渡リ來テ扶桑ノ東ニ始テ見ル山水ナレハ眺望スル樂サ謂^{イハレ}ソカタナシ金門ノ形勢ハ直西ハ大洋天ヲ涵シ兩門ノ地ハ海岸山脈ノ諸峯ソロニ金門ノ北岬ハ「ラメルハス」山^{高サ二千六尺}起リ南ト北トニ脈ヲ走ラセ其北脈ハ次第ニ低下シテ富士ノ大麓ヲ見ルカ如ク海岸ニ迫リテ岬トナル其南脈ハ其嶺高カラサレヒ黒キ岩石崩レシ線ニソハタチ二三ノ岩礁ヲ顯ハシテ荒磯トナリ金門ノ北口ヲ扼ス此ニ燈明臺ヲ立タリ又

金門内桑港ノ全景



金門ノ南岬ニハ峻峯ナシ、前ニ白沙ノ岡阜アリ、披陀トシテ海濱ニ接シ、背ニハ遠嶂重疊シテ緑ヲ浮ヘタリ、此朝ハ霧ノ晴レシ際ニ、初テ白沙ノ山ヲミシトキハ、斷霧ノ山麓ニ掛リシカト疑ヘリ、此岡ハ北ニ走リテ小巒ヲ起シ、其頂ニ細草ヲ生シ、二谷ヲ抱キテ金門ノ南岸トナリ、其砲臺ハ甍角ニ起リテ屹然タリ、○兩門ノ峯々皆綠樹ナシ、北門ノ山ハ軟草青々トシテ燒痕ニ似タリ、此朝ハ海風寒ク波ハ黄色ニ渾リ、聲琅々タリ、正ニ隆冬十二月ノ初メ、百草凋枯ノ候ナルニ、山々ノ草ミナ綠ヲコラシタレハ、怪ミテ其故ヲ問フニ、此海濱ニハ霜ヲ落サス、冬季ニ雨澤一タヒ潤ヘハ、山野ノ草皆一齊ニ芽ヲ出シ、乍ニ綠ヲシクトナン、異邦風土ノチカヘルト是ニ類スルコト多シト、

○金門ノ口ハ廣サ五町ニ足ラス、右ニ砲臺アリ、煉火石ニテ築ケル、四段ソナヘノ方臺アリ、其背ニ高岡アリ、土塙ヲ胸壁トナシ、隱シ臺場アリ、其谷中ニハ兵屯ノ營所ヲ作り、電信杭ヲ連ヌ、○金門ノ水ハ瀬ヲナシテ流レ、湖水底淺ク、急湍ニ似タリ、是ヨリ桑方斯西哥ノ入海ハ、葫蘆ノ罽セル形ニク、ヘテ北方ハ廣ク、南方ハ山阜手指ヲ伸ルカ如ク、四ツノ溪谷トナリ、海ニ入ル、第一ノ阜ヲ「ゴールデンゲート」トス、即チ金門第二ノ阜ヲ「ブラックポイント」ト云、(黒港ノ義ナリ)此ニモ砲臺アリ、背ナル山腹ニハ木柵ヲ方形ニ環匝シ、練練場トナス、此岬ノ前ニ對シテ、一島アリ、海ニ横ハル之ヲ「アルガトラス」島ト云、島上ヲ削リテ駁岸ノ砲臺ヲ築キ、今ニ築造中タリ、金門ノ要害中ニ於テ、此島ノ備ヘ最モ嚴重ナリ、國アリ後ニ出

桑港ハ、加利福尼亞全州ノ咽喉ニテ、米國西方ノ要地ナリ、内海ノ水ハ「サンフランシスコ」ト「サンチエゴ」トノ兩大河ヲウケ、此ヨリ加利福尼亞州ノ内地ヘ、南ヘモ北ヘモ三四百英里ノ漕運ヲナス、外洋ノ湖ハ、東洋南洋ニヒカヘ、南北亞米利加ノ西岸ニ毘連シ、東ニ航シ、南ニ航スル諸船舶、ミナ此ヨリ出入シ、

米國ノ西岸ニ百貨吐納ノ口ニテ、即チ東南外客ヲ款待スルノ門ナレハ、重門擊柝ノ禦備亦嚴ナラサルヲ得ス。是ヨリシテ南北ハ、特ニ土壤ノ開ケサルノミナラス、山巒海ニ迫リ、大洋外ヨリ浸シ、良港灣ニ乏シ、只北方「華盛頓」部北緯四十八度ノ地ニ、是ニ亞クヘキ港灣アリ、近來米人共港ヲ起シ、日本滿州及ヒ清國ヘノ郵船運舶ニ利ヲアタヘ、益貿易ヲ隆ニセ、ソノ謀ルトナリ、後第十八卷費拉特費

此口郵船ニ我紅日ノ旗章ヲ掲ケテ進入ス兼テ日本使節ノ來津アルヘキ、新聞ニテ知レタレハ、金門ヨリハ、電線ニテ市廳及ヒ我領事ニ報知シ、アルカトラス「島前」ヲ過ル時、島上ヨリ十五發ノ祝砲ヲ打出シタリ、米國ハ民主ノ國ニテ、禮數儀式ニ簡ナリ、故ニ祝砲ハ英式ト異ニ、大抵十五發ヲ常トス、又十三發ヲ祝スルコトアリ、是ハ其國モト十三州ニテ獨立セルヲ以テ、今ニ祝砲ノ數トスルナリ、又三十七發ヲ打コトアリ、是ハ三十七州ヨリ、各一發ヲ祝スルノ義ナリ、英式ノ如ク、一等二等三等ト、禮式ノ定メアルコトナシ、○第三ノ阜ヨリ人家アリテ、村落ヲナス、此岸ニ二字ノ大厩舍アリ、煉火石ヲモツテ、築ケ

ル場屋ニテ、高大ナル烟突ヲ起ス、是硝草場ト、毛織場トナリ、此ヨリ始テ棧橋ヲ海岸ニ打出ス、即チ石炭ノ水揚場ニテ、甚粗糲ナリ、第四ノ阜ヲ廻レハ、屋礎價カ如ク、海岸ヨリ連リテ、阜ノ半腹ニ至ルヲ、桑方斯西哥ノ市街トスルナリ、北方ハ海水廣クマ、ヘニノ島嶼アリ、海岸ノ山皆高クソヒエテ、氣色ヲナス、東岸ハ一帶ノ山岡、温々トシテ南方ニ走ル、金門ヨリノ正衝ニ當ル地ヲ「オ、クランド」邑ト云、此海ノ幅ハ、廣キトコロモ三英里ニ過キス、然トモ烟霧濛々トシテ、空氣朝カナルコト少キユヘニ、港内ノ風景モ眺メアシ、○此日ノ早朝ヨリ、金門口ニ進ミ入り、十時ニ棧橋ニ着スレハ、日本御雇ノ當港領事官、ブロークス「氏」ハ、旅館ヲ定メ、理事官「ウリヤム」氏、「フェルプス」氏、及ヒ日本ヨリ滞在ノ官吏ト共ニ船ニ出迎ヘ、旅館「ガラントホテル」ヨリハ、行李ヲ心遣ヒシ程ナリ、船ヲ出テ、馬車ニ乗移リ、「モントヨメリ」町ノ「ガラントホテル」ニ着ス、時ニ十一時ナリ、

○桑方斯西哥港ハ、北緯三十七度四十七分三十五秒、英國ノ蘇威ヨリ西經百一十二度六分十五秒ノ處ニ位セル、半島ノ岬ニテ、正ニ我日本磐城國ノ相馬ノ

岬上太平洋ヲ隔テ相對スル地ナリ其地勢ハ背ニ一岡阜ヲ負ヒテ太平洋ノ濱ト桑港灣海ノ水トヲ隔テ半島ノ幅二英里許ニスキス市廛ハ其裏面ニ構比セリ北方ニハ草岡多ク南方ニハ白沙岡ヲナシ坡ヲナシ市中半ハ其沙嶺ヲ聳メテ建ツ○此府ハ合衆國ノ所轄トナリシ一七〇一年尙淺ケレモ人口年ヲ逐テ増加シ千八百六十年ニハ五萬七千人アリシニ七十一年ニ至リテハ十四萬九千四百七十三人ニ至ル所有產ノ價九千五百萬弗市中ノ收稅高二百六十五萬七千九百四十六弗八セント合衆國ニ於テ第十ノ大都會アリ元ハ金銀礦ニヨリテ起リ終ニ農耕牧畜ノ利ヲ兼テ今ハ東洋西洋往來ノ樞區トナリ世界ニ於テ肝要埠頭ノ一ナリ

「ガラントホテル」ハ屋ノ高サ五層ニテ一ノ支街上ヲ懸架シテ兩區ノ地ヲ占メテ造營頗ル精工ニシテ當州ニ多ク見サル廣廈ナリ食堂ノ廣サ百二十坪ニ及フ三百人一時ニ食案ニ就キテ餘裕アルヘシ建築ヨリ年ヲ經ルハ淺クレハ部屋客座ヲ飾リタル華毯美榻燭燦トシテ目ヲ眩シ未タ光澤ヲ失ハス第一層ニハ大理石ヲタ、ミ十分ニ磨礪ヲ加ヘタレハ履ヲ滑ラサントス浴室

湯店理髮店玉突場等ヲ具ス都テ此初層ハ書記房ノ外ハ借店トナス酒果藥烟及ヒ衣飾必需ノ物等ヲ商フモノ借テ開店シ旅館寓客ノ利ヲ受ル第二層ヨリ最上層マテ皆房ヲ分ツテ旅客ヲ待ツ番數三百ニ及フ各房ノ内大ナルハ客座「シツチングルム」寢室「ベット」浴室「バスル」及ヒ圖圖「ウオートル」皆具ス大鏡ハ水ノ如ク「カイス」ハ華ノ如ク上ニ氣燈ヲ鈎下シ晝ハ稜角ノ玻璃七色ヲ幻シ、價金粉ノ光ト相射ル夜ハ螺旋ヲ弛メテ火ヲ點スレハ五曜七曜環匝シテ光ヲ白玉ノ中ニ輝ス窓ニハ線縹ノ縷「レース」ハ紗ノ如ク花ヲ掛ケ霞ヲ隔テ花ヲ見ルカ如シ其小房モ亦我八疊ノ室ニ比スヘシ寢床ハ螺旋ノ鐵ニテ其底ヲウクシ茵蓐穩ニシテ身ニサハラス衣ヲ掛ルニ衣箱アリ箆筒アリ顔ヲ洗フニ水盤アリテ機ヲ弛ムレハ清水迸リ出ツ奴婢ヲ呼ニ電線アリ指頭縹ニ觸レハ鈴聲百歩ノ外ニ鳴ル案アリテ書スヘシ讀ムヘシ鏡アリテ鑑ムヘシ石鹼巾引火奴嗽碗火爐水瓶便器ノ瑣末マテ各房ニ皆備レリ

凡ソ西洋旅館ノ景況ハ此ニ記セルヲ以テ他ハ概推スヘシ

七日晴

午前十一時、知事來謁ス、引續テ海陸軍ノ將士來謁シ、續テ當港在留ノ各國「コ
ンシユル」ニ統來謁ス、午後ニ當港在留ノ官吏來謁シ、三時ニ豪商來謁ス、

○夜十時、旅館使節ノ室ニ向ヒタル、燈石ノ路上ニ於テ、當地砲兵隊、附屬ノ樂隊
ヨリ樂ヲ奏ス、市中ノ人民此ニ群集シ、祝聲ヲ揚テ、使節ノ安着ヲ賀ス、大使ヨ
リ衆ニ對シ「スピーチ」ヲ演ス、米ノ日本公使「デロンク」之ヲ國語ニ譯シ、演了リ
テ、又己ノ「スピーチ」ヲ演ス、衆皆手ヲ拍テ、祝聲ヲ揚ケ、相賀シ、須臾ノ間、靜マラ
ズ、西洋ノ人ハ商業ヲ盛ニシ、外國人ヲ款待スルヲ樂ム、其結習ノ人心ニ染ム
「我邦ト格別ナリ、十二時ニ樂ヲ徹ス、衆ミナ散ス、

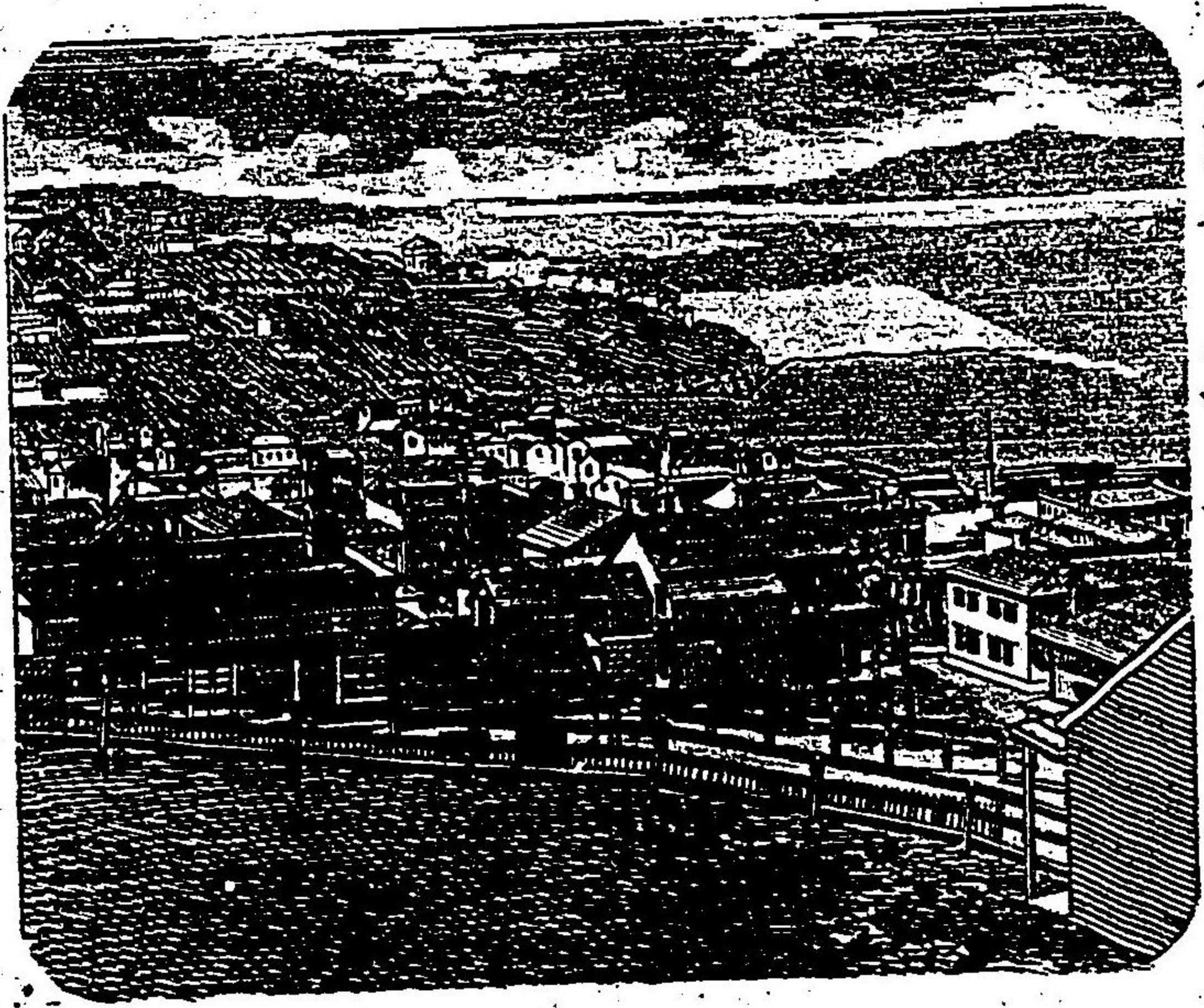
八日 快晴

九日 晴

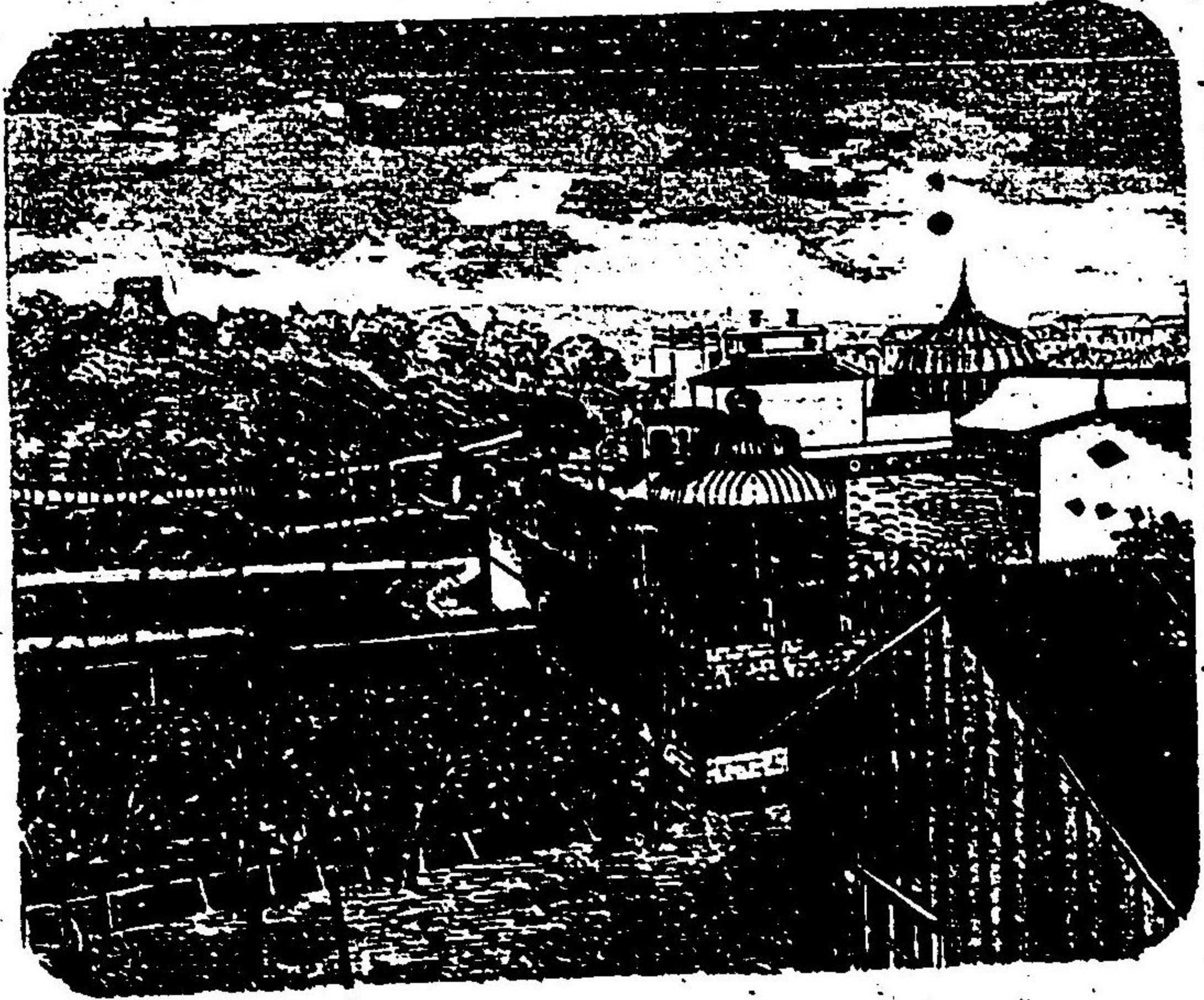
市中ヨリ案内ニテ、左ノ製作場ヲ回覽ス、

○「キンバル」社ノ馬車製作場ハ、「アリエント」街ニアリ、當州ニ於テ屈指ノ大場ナ
リ、年年ニ大車五百乘、小車一千二百乘ヲ造リ出ス、職人ヲ入ル、日ニ百五十
人、蒸氣仕掛アリテ製造ヲ助ク、

金門及ヒ黒岬ノ景



桑港ウイドワルト公苑



○「ミッシェン」社ノ毛織場ニハ「専ラ」フランケット」及ヒ「カーペット」ヲ織ル、一ケ年ニ羊毛ヲ用フル百二十萬磅共價一百万弗、職人ヲ入ル、白人百人、清人二百四十人、日本人モ二人アリ、此場ニテ酒果ヲ供ス、

○夫ヨリ歸路ニ「ウイドウルト」公苑ニ至ル、當府ノ南部ニアリ、毎一人ノ木戸錢二十五セント、此苑ハ禽獸園、草木園、博物館、及ヒ藏書館ヲ兼タル場ナリ、中央ニ泉石ノ設ケアリ、山上ニ大ナル舞臺アリ、此ニテ舞踏ヲナシ、或ハ見セ物ナトヲナシ、日曜日ナトハ殊ニ繁華ナリト云、○門ニ入ハ、内ニ一ノ樓觀ヲ建テ、此ニ動物ヲ集ム、禽獸、蟲、多、蝴蝶、卵、蛋等、ミナ乾藏法ニシテ、類ヲ分チ、棚々ニ置フ、乾藏法トハ、禽獸、魚ノ表皮ヲ剝トリ、眞形ヲ生活セル時ノ如クニ製セルモノナリ、蟲、多ハ火酒ニ浸シ、玻璃瓶ニ藏ス、此樓ニ聚メタル動物ノ種類ハ、一斑ヲ備フニ過キカレ、亦一樓ニ充滿セリ、○樓ノ周圍ニハ花客アリ、鎮格ニ玻璃ヲ嵌メテ、屋宇及ヒ周壁ヲ作リ、タレハ、屋内ノ園圃ハ、冷熱ノ乘除自在ニテ、日光ヲ蔭セス、夫草木ノ生長ニハ、光線ト温度ト皆必要ナル故ニ、此室内ヲ常ニ盛夏ナラシメテ、日光ヲ遮ラス、此ニ熱帶ノ樹ヲウニ、芭蕉、實ヲ結ヒ「キル」樹

陰ヲシキ彩鳥枝上ニ囀シ、百卉芳香ヲ送ル、大小ノ密室數字連リ、中央ノ室ニ
 名畫數十張ヲ藏メ、又礦石貨幣蛋卵蝶繭ヲ聚メヨリ、○奥ニ泉石ノ設ケアリ
 池ニハ水禽ヲ養ヒ、草ニハ蛇鳥孔雀ノ走ルヲミル、最奥ナル一區ニ、獸園アリ
 ヲ諸獸ヲ養フ、其圈養セル所ノ獸中ニ於テ、尤モ目ヲ矚スルハ大虎ナリ、其他
 豹、豺、貉、貓、ナト、ミナ肥壯ナルヲ野ニアルカ如シ、其内ニ一疋ノ牛アリ、其肩
 リ一本ノ足ヲ贅シテ下リ垂ル、又乾藏セル獸類中ニハ、兩羊ノ一體トナリテ
 生セルモノアリ、造化ノ誤リ時アリテカ、ル物ヲ生ストナリ、
 東西洋ノ風俗性情ノ毎ニ相異ナル、反對ニ出ルカ如シ、西洋人ハ外交ヲ樂
 ム、東洋人ハ之ヲ憚ル、是鎖國ノ餘習ノミニアラズ、抑財産ニ用心薄シ、貿易
 ヲ不急ニスルニヨル、西洋人ハ外ニ出テ盤遊ヲ樂ム、是一小邑モ必公苑ヲ
 修ムル所ナリ、東洋人ハ室内ニアリ惰居スルヲ樂ム、故ニ家々ニ庭園ヲ修
 ム、是土地ノ肥瘠ヨリ生スル氣習然ルカ、西洋人ハ有形ノ理學ヲ勉ム、東洋
 人ハ無形ノ理學ニ慕ス、兩洋國民ノ貧富ヲ異ニシタルハ、尤此結習ヨリ生
 スルヲ覺フナリ、西洋各都府ニ草木園禽獸園アルハ、我植木屋禽獸觀場ア

ルト、其大小ヲ差シテ、其外貌ハ相似タリ、然レ其設置ノ本領、元來相反セリ、
 西洋ニテ此等ノ設ケハ、皆人ノ耳目ヲ誘キ、聞見ヲ實ニシ、以テ生業ヲス、
 メ、學知ヲ博クセシメルニ出テ、莫大ノ費用ヲ耗スルモ、曾テ吝マサルハ、別
 ニ大利アルニヨルナリ、此「ウードワル」ノ苑ノ如キハ、公苑ニ草木園禽獸園
 博物館藏書館ヲ并セタルモノニテ、禽鳥ノ種類ヨリ、蟲多麟介ノ小ナル其
 卵ヲ孵化シ、殼ヲ脱シ、蛾ニ化シ、或ハ子ヲ字養シテ、巢ヲ構フナト、搜羅討索
 シ、類ヲ以テ品列ス、我觀場ノ珍禽奇木ヲ以テ、人ノ一怪愕ヲ博スルノ設ケ
 ニ異ナリ、并テ畫圖ニ及フハ、其動植ノ狀ヲ目撃シ、眞物ヲ粉本トシテ、實形
 ヲ畫描スルヲメニ便ナ、與フ、座瀾海平地、及ヒ歐洲ニテ、著名ノ大都ニハ、此
 諸園館ミナ專場アリテ、尤旁搜周備セリ、都府ノ人民之ニ費用ヲ濫シタル、
 其利潤ハ有形理學ヲ進歩シ、農工商ノ實益ニ發見シ、富庶繁榮ノ媒トナル、
 東洋ノ無形理學ニ於テ、一草一木ヲ研究スルヲ笑ヒ、或ハ珍奇ヲ誇觀シテ、
 眼前ノ利ヲ偷取スルト、混同シテ論スヘカヲサルナリ、此他東西洋ノ風俗
 相反シ、外貌ハ相肖タルモ、其注意ノ異ナル、毎ニ如此モノアリ、探風ノ士ノ

能注意スヘキ所ナリ、

○夜米公使ノ誘引ニテ「カリホーニヤゼートル」ノ劇場ニ赴ク十一時ニ劇了リ、
舞踏會ニ赴キ午後二時ニ歸ル、

十日 晴

朝八時半市中ヨリ案内ニテ桑灣ノ遊覽トシテ大使副使及ヒ隨員四十八人、
米公使「テロング」氏ト共ニ馬車ニテ「プロント」町ノ波止場ニ至リ「カピトル」號
ノ蒸氣船ニ上ル○波止場ノ門ニ入レハ步兵一小隊捧銃ニテ敬禮ス此ヲ過
レハ樂隊棧橋ヲ挾ミ整列シテ鼓樂ヲナシ一行ノ後ニ附從シ鼓噪シテ共ニ
船ニ上ル同遊ノ官吏豪商ハ皆妻子ヲ携ヘ來リ船上ノ客座ニ會シ酒果ヲ供
シ款話ヲ交ヘ船首ノ廣座ニハ樂隊鼓吹ヲ絶スシテ耳ヲ娛メ船中男女總テ
百十餘人ノ盛會ナリ○此日日暖ニ風輕ニ樂聲濶濶トシテ海上ニ碧キ船ハ
金門口ノ前ニ至レハ海闊ク山聳エ左右ヲ指點シテ風景ヲ觀シ第十時ヨリ
輪ヲ轉シ「アルカドラス」島ノ砲臺前ニ至リ船ヲトメ島ヨリ十三發ノ祝砲
ヲナス次テ「フォールトポインチ」ノ砲臺ヲ望ミテ船ヲ回セハ此處ヨリ十三發

ヲ祝ス夫ヨリ「アンセル」島ノ西岸ニ至レハ又十三發ノ祝砲アリ此島上ノ將
士ミナ來リテ共ニ船ニ上リ同遊ス是ヨリ北行スレハ水勢急瀬ヲナシ海勢
ヤ、狭ク「マレイホー」村マテ二英里ノ間ハ大河ヲ廻ルカ如シ「マレイホー」村
ハ八烟數千海濱ヨリ山上ニ連ル此ヨリ北ハ海水又濶ク「サツラメント」川ノ
淡水鍾リ湖ヲナス處ナリ○午後一時「マレイホー」邑ノ前ナル「メンガ」島造船
場前ニ至リ輪ヲ留ム島上ニ歩兵一小隊整列シテ禮式ヲナス桑港ヨリ此ニ
至ルマテ三十二英里ノ船程ナリ此ニテ船内ニ「晝食」ノ享應アリ食饌甚精美
ナリ食畢リ「スピーチ」アリ杯ヲ舉テ相祝ス、

二時五十分ニ上陸シ造船ノ製鐵所ヲ見テ其奥ナル在働ノ「コモドル」官ノ官
邸ニ至ル此ニテ酒果ヲ供シ會話スルヲ數刻ノ後ニ武庫ヲ回覽ス○武庫ハ
三階ノ屋造ニテ格別ニ大ナラス器械モ多カラス三時ヨリ出船シ五時頃ニ
歸館ス、

十一日 陰

○午前木戸大久保山口三副使「サンフランシスコ」街ノ「ブラス」社破山器械製造

場ニ至ル、全場ミナ煉瓦屋ニテ場内ニ九十馬力ノ蒸氣輪ヲ設ケ、一千箇ノ轉
輪ヲ轉ス、一ヶ年ニ鐵二千噸ヲ製作ス、總テ當州及ヒ「チヴァタ」州等ノ金銀諸礦
ニ用井ル、水ヲ吸上ケル「ポンプ」ヲ首トシテ探礦ノ要具ヲ製治ス、

○午後ニ、當地ノ義兵三大隊ヲ集合シ、歩操シテ旅館前ヲスキ、我使節ノ觀ニ供
ス「モントエメリー」町十字街ニ向ヒ、木材ニテ造リシ觀臺ヲオキ、是ニ上リ諸
將士ト共ニ見物ス、兵隊其前ヲ過キ、士官ハ劍ヲ捧ケテ禮式ヲナス、市人ノ聚
觀スルモノ二萬餘人、帽頭市街ヲ塞キ、立錐ノ地ナシ、○米國ノ制タル、多ク常
備兵ヲ設ケス、市人村民ミナ平生兵ヲ講ス、若不慮ノ警アレハ、乃チ銃ヲ提テ
軍ニ赴ク仕組ヲナセル、猶我消防仕組ニ彷彿タリ、是ヲ義兵トハ言ナリ、又
此日ノ兵隊中ニ、十四五歳ノ童子ニテ編成セル一小隊アリ、是ハ「オ、クラッ
ド」ノ兵學校ニ出席スル書生ナリ、諸州ニ政府ノ免許ヲウケタル兵學校アリ、
有産ノ家ノ子弟ハ、自費ニテ其校ニ入り、陸軍ノ諸科ヲ講ス、是科ヲ濟シタル
モノヨリ將士ノ選ニ入ト云、

○此日ヨリ、大島高任、瓜生賢ノ兩名、礦山視察ノタメニ「ニューアルマンタン」ニ赴

十二日 晴

○「カリホー」ニヤ州銀行ノ長「テ、オ、ミールス」氏「ウリヤム、シー、ラルストン」氏、兩名
ノ招キニヨリ、朝八時四十五分ニ、南太平驛ヨリ、蒸氣車ニ上リ、西南十七英里
ヲ走リ、「シルアップラック」村ニ至ル、「ミールス」氏ノ宅ハ、此村ニアリ、驛舍マテ馬車數
乗ヲ出シテ迎フ、此日大使ハ病ニテ辭シ、副使ヲハシメ同行ノ米人「セネラー
ル、スコフィールド」氏ヲ始メ、豪姓數十名同伴ニテ、其宅ニ至ル、此ニテ、晝食ノ享應
アリ、宅中ノ庭園ハ廣大ノ地ヲシメ、奇木異草、美花ヲ植ヘ、芬芳トシテ、常ニ薫
ス、後面ニハ山ヲ負ヒ、綠陰幽邃、洒掃雅潔ニシテ、風流愛スヘシ、
十二時ニ「ミールス」氏ノ家ヲ辭シ、途次ニ豪家「ショール」氏別莊ノ庭園ヲ一
覽ス、亦一ノ富潤ナル屋宅ニテ、園ノ結構「ミールス」氏ニ超エ、又馬厩アリ、造營
甚タ壯麗ナリ、

○夫ヨリ「ベルモント」村ニ至ル、桑港ヨリ此マテ二十七英里「ラルストン」氏ノ宅
ハ、此村ニアリ、又其家ニ招キテ、亦庭園屋内ヲ示シ、此ニ休息スルコト數刻ヲ

移ス○スヘテ都府ヨリ五英里十英里ノ近在ニハ皆如此キ豪家ノ莊墅アリ、
 「アライウエー」トハ「ウス」林園ノ景趣幽邃清雅ニシテ散步逍遙シ淨氣ヲ呼吸シ運
 動ヲナスヘシ其屋宅ノ結構モ亦風致アリ市街ノ層樓ト別様ナリ大抵歐米
 ノ商業ハ會社ニテナル市街ノ商店ハ會社ノ共通ニテ此ニ赴キ生理ヲナス
 一猶官員ノ衙門ニ出仕スルト同シ小商細賈ハ市街燥熱ノ地ニ僑居シ身ヲ
 終ルマテ鬧中ニ營生奔走スレトモ少シク房產田宅アルモノハ私宅ヲ廓外
 ニ所有シ此ヲ常居トシ日々瀛車馬車ニテ都府ニ赴キ商務ヲ辨スル一歐米
 一般ノ常俗ナリ○夫レヨリ馬車ニテ驛舎ニ歸リ再ヒ蒸氣車ニ上リテ六時
 ニ旅館ニ歸ル

十三日 陰

○「センタラルバシヒック」鐵道會社ヨリ招請ニテ米公使「デロング」氏ト共ニ九時
 〇「オ、クランド」往返ノ波止場ニ至リ「エル、カピティン」號ノ蒸氣船ニ上リ
 〇「オ、クランド」ノ長棧橋ニ達ス○此長棧橋ハ「オ、クランド」ノ海濱ヨリ長
 一英里餘海上ヘ打出シタル棧橋ナリ始メ桑港ヨリ「オ、クランド」ヘノ渡

船ヲハシメ陸地ノ蒸氣車ト同時ニ至ルヲ約セシニ車ハ常ニ早ク船ハ常
 ニ後レタリ且此邊ノ海ハ淺淤ニシテ「整浴」ニモ費ヲ耗スユエ協議レテ此棧
 橋ヲ打出シタリ○棧橋ノ首ニハ廣キ場屋ヲ水上ニ建テ船車乗替ノ驛トナ
 ス故ニ瀛船棧橋ノ驛舎ニ若スルキハ島上ニ若セシカト疑ヒツ、車ニ上レ
 ハ橋架上ニ敷キタル鐵道ヲ走ルヲミテ一驚セサルナシ瀛笛ノ吼テ橋ヲ渡
 ルハ宛トシテ水上ヲ飛行スルカ如シ○桑港ト「オ、クランド」トハ、一帯ノ海
 ヲ隔テ相望ム其往來ハ此渡航ニヨル毎時ニ往返シ陸續タエス「カピティン」
 號ノ船ハ頭尾ヲ分タス往ノ首ハ返ノ尾トナリ抵岸ノ處ハ凹形ニ柵ヲ匝シ、
 其廣サ恰モ船ヲ含ムヘシ船來リ岸ニ着シ刻橋ヲ卸セハ船ト橋ト同平ニテ、
 際縫ヲ辨シ難シ往モノハ船首ヨリ出去トキ來ルモノハ側面ヨリ入來ル一
 去一來絶テ混雜ナシ陸ヨリシテ船船ヨリシテ陸只氣輪ノ動キテ波浪ノ跳
 ルヲ見レハ己ニ身ヲ水上ニ託スルヲ知り瀛笛鳴テ車輪ノ轟クヲ聞テ始メ
 テ脚ヲ陸地ニ措キタルヲ知ル桑港ハ百事草創ノ都府ナレト亦如此ノ建設
 アリ米歐繁盛ノ都府ハ更ニ思ヒヤラレタリ○今日ハ會社ニ於テ新ニ成就

シタル車アリ使節ヲ招キテ之ヲ落成セント(全行ノ男女百五十人)「マニエラー」ル、スマヒルト「氏」會社ノ長「コヘン」氏等主トナリテ接伴ヲナシ、車中ニ廚ヲ設ケテ晝食ヲ供シ「オ、クランド」邑ヲスキテ、桑灣ノ東岸ヲ北走スル三十五英里ニテ「サンダゴース」邑ノ「ミルピスタス」驛ニ着ス、時ニ十二時ナリ、使節ヲハシメ車ヨリ下テ、近傍ノ莊園ヲ散步スル一時餘ヲ移シ車ニ返ル、○「サンダゴース」府ハ桑港南方ノ一大邑ナリ、州ノ上等裁判所ヲオキ、南部ノ訟獄ヲキク、市塵モ頗ル繁庶ナリ、○歸路ニ桑海ノ西岸ヲ走り中途ニテ「ペーウーツ」氏ノ宅前ヲスキ、此ニテ姑ク車ヨリ下リ、其庭園ヲ逍遙シ、馬廐ヲ見ル、此邊ノ近在ハ、田野大抵ミナ鋤犂樹藝ニツキ、林檎園ハ巨陰ヲナシ、牧場ニハ牛羊雞豚繁息ス、處々ニ樹木幽邃ナル村アツテ多ク豪家ノ別莊ニアフ、石門ヲ設ケ、碑壇ヲ建テ、頗ル修潔ナリ、總テ水濱ノ濕地ハ、多ク草ヲ耕種シテ牧ヲナス、穀田少シ、燥地ハ果林多シ、凡濕地ハ牧ニ適ス、我邦ノ民ノ濕地ヲミレハ、即チ水耕種稻ヲハカルト、思慮格別ナリ、六時ニ歸館ス、

十四日 晴

○朝十時ヨリ「ランマン」女學校ニ至ル、此校ハ約幅十七八間ニ、十一間ノ四層屋ナリ、中ニ十四ノ學寮ヲ分チ、每室ニ教師一名生徒二十八人ヲ配ル、スヘテ生徒八百二十八人ヲ入ルヘシ、千八百六十四年ニ、土木及ヒ器機ヲ合セ、七萬八千弗ヲ費シテ落成セリ、教フル所ハ文典校グラマル、スクリール、普通ノ諸科、文典算算及ヒ、ノ大概ト及ヒ針帯ノ業ヲ教フ、此日教師洋琴ピヤナヲ鼓シ、女生一齊ニ薔薇ノ歌一関ヲ謠フ、○唱歌ハ小學ノ日課ニテ、以テ天神ニツカヘ、人倫ヲ和ス、洋琴ヲ鼓シテ、節奏ヲナシ、步趨ヲアヤトリ、舞踏ヲナス、其教ハ男女ニ通ス、其性情ヲ發洩通暢セシムルヲ、唐虞典樂官ノ胄子ヲ育スル意ニ暗合ス、此後各地ノ小學校ニ至ル、每ニ唱歌ヲ諷スレト、常業ナルニヨリ、一々之ヲ記セス、

○夫ヨリ「リンコーレン」小學校ニ至ル、又「グラマル」ス、此ハ市中童男ノ小學校中ニテ最大ナルモノナリ、長サ約二十四間ニ、廣サ十一間許ナル、四層ノ屋造ナリ、一千八百六十五年ノ建築ニテ、其費十萬弗ヲ用ヒ落成ス、全校ヲ二十一寮ニ區別シ、每寮ニ五十六名ヲ入ルヲ限定トス、之ニ教師一名ツ、ヲ付ス、總テ教師二十一名、其中ニ教頭一名ハ男子ニテ、月俸百七十五弗ヲ給ス、餘ノ男教

師ハ一名ニ月給百二十五弗ヲ給ス、十九名ハ女教師ナリ、其月俸ハ新進ノ者ニ五十弗ヲ給ス、夫ヨリ學力ト勤功トニヨリテ、年々ニ五弗乃至十弗ヲ増加シ、終ニ八十三弗ニ至ル、時ニハ百弗ヲ給スルニ至ルモノアリト、外ニ掃除師付等ノ爲メニ學僕丁二人ニ月給六十弗ツ、ヲ給ス、諸給俸ノ外ハ一定ノ費用ナシ、諸雜費ハ年々三千弗モアレハ足りヌヘシ、市中學校事務局ニテ管知スレハ詳カナラス、年々ノ都合ニテ、出納ノ多寡ヲ差スト云、此日ハ第一級生徒ノ寮ニ於テ、米公使「デロング」氏、日本ノ地理ヲ問ヒシニ、皆問ニ答ヘテ一モ誤ラス、○此外桑港ノ全府ニ、四十ヶ所ノ小學校、二ヶ所ノ中學校、男女アリ、十五歳以下入校ノ童男女、一萬九千八百八十五人ニ及フ、全府ノ童男女ノ數ニハハ上校ス、教官ノ數、三百二十六名、學校ノ總歲入四十五萬九千八百五十三弗餘、學稅ヲ課スルハ、所有產ノ價百弗ニ付テ、四十セントヲ抽ルト云、

○午後一時ヨリ電信機局ニ至ル、華盛頓府ノ國務尙書「フィッシュ」氏、電氣機ノ發明家「モール」氏及ヒ「チカゴ」府ノ知事ニ應復ヲナス、此線ハ當節日本使節ノヲメ政府ヨリ「チカゴ」及ヒ華盛頓府へ、新ニ張タル線ニテ、其價ハ六千弗ヲ費シ

リト、

○此夜八時ヨリ「ホテル」ニ於テ、市中ヨリノ大享筵アリ、集會ノ吏民スヘテ三百人、盛ナル宴會ナリ、綠葉ヲ東子、種種ノ輪箍ヲツツリ、中ニ卉花ヲ粧點シ、以テ周圍ノ窓壁ヲ飾リ、日章旗ト三十七星旗トヲ交又シテ、處處ニ掲ケ、使節一行、及ヒ當府知事、加利福尼州統領、海陸軍將士等ハ、正面高壇ノ食案ニツキ、樂隊樂ヲ奏シ、食饌ヲス、ム、調饌精美ヲキハメタリ、食畢リテ「スピーチ」ヲ演スルモノ十五人、十二時ニ至リテ宴ヲ徹ス、○凡府内ニ嘉賓アリ、享宴ヲ設クルハ、幹事ノ人ヨリ、其經費每名ニ幾弗ナルイヲ量定シ、其切手ヲ作リテ人ヲ募ル、來集セント欲スルモノハ、其價ヲ出シ切手ヲ買フ、「ホテル」ハ其調度ヲナシ集會人ヨリ切手ヲ受取リ、其切手ヲ以テ金ヲ受取ルナリ、貿易ノ地ハ、釀金ヲナス手順モ、商事ニ異ナラス、

十五日 晴

San Francisco Here



第四卷 桑方西斯哥ノ記下 自十二月十六日至二十一日

十六日 晴

○「ラルストン」氏ノ招キニヨリテ「リユールス」驛ヨリ、蒸氣車ニテ再ヒ「ヘルモン」村ニ至ル同行ノ米人七十名、總員百六名ノ大會ナリ、「ラルストン」氏夫妻、使節ヲ迎ヘ、中堂ニ請シ、食ヲス、ムルニ樂アリ、器什ノ盛ナル、食饌ノ美ナル、加ルニ庭園ノ秀美幽邃ヲ以シ、其大家タルニ負カス、此人ハ加利福尼亞州金礦ノ利ニ因テ家産ヲ起シ、現ニ蓄金九百萬弗ヲ藏ス、家ニ良馬ヲ蓄フ、ミナ價千弗以上ノ驥騏ナリ、馬車ヲ藏スル十餘輛、以テ蒸氣驛マテ送迎ヲナス、

十七日 晴

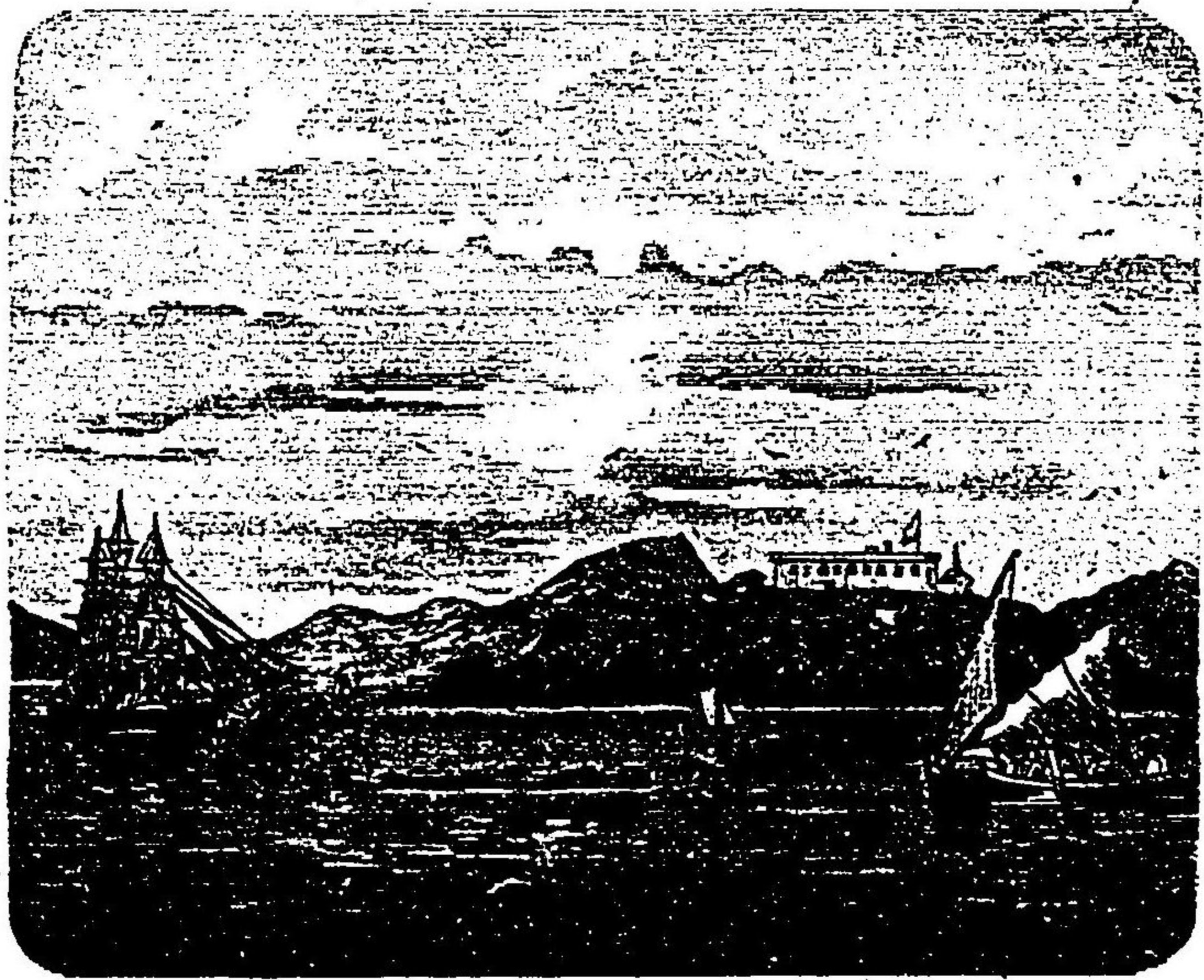
○鐵道ノ前途、大雪ニテ路塞リシ電報アリ、因テ發程ヲ延ス、是ヨリサキ同行ノ書生數シハ己ニ發程シ、落機ノ山ニ及フトキ、此大雪ニ會遭シ、前後路塞リテ、車ヲ止ムル、十七日、荒山ノ内ニテ、食ニ乏シク、麵包パン、乾酪チーズ、馬鈴薯等ニテ、僅ニ飢ヲ凌キ、辛クシテ路開ケ、前行スルヲ得タリト、落機山平年ハ雪少シ、此ノ如

キノ大雪ハ十餘年中偶一度アルヲナリト云、

○此日十二時五十分ヨリ「アグリクリエチエアル」ノ苑ニ於テ競馬ヲナシ使節ノ觀ニ供ス此苑ハ南鄙ニアリ四面ハミナ白沙ノ荒地ニテ其域ヲ修メ馬埒トナシ本日ニ使節ヲ延テ開場セリ場内ニハ草ヲウヘ芋々タリ中央ニ圓規ノ馬埒ヲ開ク大サ埒ヲ回ル三周ニテ一英里ノ距離ナリ場口ニ屋アリ屋ノ上宇ニ座榻ヲ設ケ觀臺トス此日男女群集シ或ハ夫婦連騎シテ來ルアリ婦人ノ馬ヲ愛スルモノ自ラ車ヲ御シ或ハ馬ヲ鞭テ來集ス場屋ノ前ニ車馬雜圖ス、技始ルトキ場屋ノ前ニテ札ヲ賣テ勝負ヲ賭ルアリ西洋ノ人男女ミナ馬ヲ愛スル風ヲミルニ足ル競馬ハ騎シテ驅馳ヲ競フトハ異ニシテ輕精ニ作リタル二輪ノ馬車ニ踞シテ競フナリ馬埒ノ首ニ一亭アリ此ヨリ線ヲ張テ劃リトス技始ル前ニ三輛若クハ五輛埒ニ出テ遊驅シテ馬ヲナラハシ漸ヲ以テ列ヲナシ線下ニ及フキ鈴ヲ鳴ラスヲ度トシ埒ヲ二周三周シ早ク其線下ヲ過ルヲ勝トナス、

○歸路ニ海濱ナル「クリップハウス」ニ至ル「クリップハウス」ハ遊亭ノ謂ナリ此處ハ

アルカトラス島ノ砲臺



岩亭ノ景



「アグリクリュチュワル」苑ヲ距ル西方一英里ニ滿タス太平洋ノ打寄ル濱ニシテ、
 前ニ一ノ岩礁アリテ常ニ無數ノ海狗群リ遊ヒ、白鷗亂レ翔ル、前ハ大洋ノ潮
 天ヲ拍テ沆沆タリ、北ニハ金門ノ山水畫シカ如シ、此ニ一亭ヲ設ケ遊人ヲ待
 ツ、即岩亭ナリ、海ニ向ヒ露臺ヲツクル、此亭ニ上レハ金門ノ風景目下ニ落テ、
 山峻ニ海濶ク、跳波岸ヲ嚙ミ船帆鷺ノ如ク、瞻望倦マヌ、南ハ一帶ノ沙岡坡坵
 トシテ連リ、海ニ接シ灣形ノ濱ヲナス、大濤洋上ヨリ來リ、灣ニ激シテ怒リ立
 ツ、聲鞞鞞トシテ空ヲ擲ミ躍ル、飛沫雪ヲ灑キ、數丈ノ上ニ撒ス、遊人車ヲ驅リ
 テ、必ス此ニ一過ヲ試ム、濕沙凝結シ輪ヲ膠セス、驚濤ニ迫リテ驅リ去レハ、波
 ハ奔騰シ車ニ濺カントシテ、乍遂巡シテ退ク、一來一退、真ニ壯觀ナリ、府中ノ
 男女暇日ニ來リテ、盤遊ヲナス處ナリ、

十八日 晴

○午前十一時ヨリ「オ、シランド」邑ノ「コイン」氏ヨリ招キニテ、又「カピティン」號
 ノ渡船ニテ、彼邑ニ赴ク、此日使節ミナ病故ニテ、只木戸副使ノミ往ク、「オ、シ
 ランド」邑ハ桑港ト海灣ヲ狹シ、對岸ノ地ニマリ、前ハ金門ノ口ニ向ヒ、後ニハ

連岡ヲ負ヒ、桑灣ニ於テ風景第一ノ地ニシテ、田地モ亦肥美ナリ。○長棧橋ヨリ邑中ノ驛ニ至ル、約半時間行ナリ、驛傍ニ一二街ノ市店アルノ外ハ、ミナ村家ニテ、每屋地ヲ占ムル廣ク、表ニ短垣ヲ遶シ、前後ニ庭園ヲ開キ、屋ヲ其中央ニ建ツ、高キモ三層ニスキス、樹蔭ニ依リ、庭卉ニ面ヒ、風雅ノ趣キアリ、凡ソ村家ハ、市店ト建築ヲ異ニス、市中ハ地代貴シ、故ニ楯比ニ建連ス、一小園ヲモ有シタル所ハ甚タ希ナリ、屋造甚高ク、五層六層ニ至ル、村邑ノ居ハ之ニ反シ、農戶小民モ亦園庭ヲ擁シ、艸木ヲ種ユ、豪家ハ莊園ノ美ヲ盡セルヲ前ノ「ミール」ヲ「ラレストン」ノ宅ノ如キモノ多シ、此「コイン」氏ノ宅モ亦清雅ニテ園中ノ趣キ幽靜ヲキハム、此ニテ小宴ヲ開キ談話時ヲ移シテ歸ル。○此邊ノ田野ハ、總テ平衍ニテ、牧田アリ、果林アリ、地勢高爽ニシテ、土壤鬆軟ナリ、背後ノ山岡ハ皆温温タル草坡ニテ、岩石ナシ、桃李梅梨林檎葡萄ノ圃多ク、耕植ニ糞培ヲ要セサル地味ニテ、第一等ノ肥土ナリ、開拓頗ル徧ケレト、未タ其功ヲ盡サス、正ニ鋤拓ヲハシメ、新ニ果ヲ移シ樹ヲ植エタル田野多シ、

十九日 晴風強シ

二十日 晴

酒造家某ノ家ニ至ル、此家ニテ年々ニ釀ス所ノ葡萄酒、二十三萬二千樽ニ及フ「シャンパン」酒一箱ニテ價十弗ヨリ七弗ニ至ル、葡萄酒ハ三弗ヨリ二弗半ナリ、壇ヲ佛國巴黎ヨリ輸入ス、一箇ノ價一先土四分ノ三「キルク」ハ「西班牙葡萄酒」ガリ、輸入ス、五箇ニテ二先土ノ價ニアタル、使役ノ職人日ニ二十四人、酒壇ハ雜質ノ玻璃ニテ造ル、銅鐵ヲ練漉セル餘ニテモ、容易ニ製シ得ヘキモノナレハ、米國ニテ製造シ得サルニ非ス、然ルニ遠ク佛國ヨリ需求スルハ何ソヤ、葡萄酒ハ佛國ノ名産ニテ、聲價ヲ世界ニ布テ、信認サレ、「ホルドウ」^{シヤンパンヤ}ノ名、ミナ佛國製造ノ地名ヲ以テ稱名セラルカ如ク、酒壇荷造マテ皆佛國ヲ冒サ、レハ市場ノ景況宜シカラサレハナリ、貿易ノ道ニ於テ名譽ノ用ヲイフ、貴キ一萬金ノ資本ニモ敵シ、難シ、良買ハ此名譽ヲ年々ニ増大ニスルヲ務ム、其眼前ノ小利ヲヌテ、顧ミサルハ、誠ヲ此資本ニ積メハナリ、拙商ハ反テ名譽ヲヌテ、小利ヲ攫取ス、數年間ニテ較スレハ、優劣ナキニ似タレト、永年ノ後ニ貧富天淵ニ至ルハ、比々ミナ然リ、葡萄酒ノ

名譽ニ因テ其利潤ハ酒壘ニ及フヲ以テ、猛省スヘシ我日本國近年始テ外國ニ交ル、從來ノ國產、米歐人ニ珍異セラル、モノハ指ヲ屈スルニ勝ヘサルホトナレ、輸出ノ利未ダ生セサルハ、三ノ原由ニヨル、一ハ輸送高小量ニテ、彼地製造ノ需用ニ不足ナルニヨル、二ハ輸送連続セズ、彼地ノ市場ニ價格ヲ有セサルニヨル、三ハ目前ノ小利ヲ争ヒ、名譽ヲ廣メズ、并セテ己ニ得タル名譽モ自損スルニヨル、夫世界ニ名譽ヲシキ需用ノ廣キヨリ、利益ヲ生シテ莫大ナル數ヲ積成スルハ、「キルク」ノ栓ニテモ證スヘシ、此物ハ「キルク」トイフ樹ノ皮ニテ、「ウードワル」園中、西班牙、葡萄牙國ノ產物ナリ、亞弗利加洲「アルセリヤ」ニ於テ、佛國ヨリ十四萬町ノ地ニ此樹ヲウヘ、年々一千萬「フランク」ノ利ヲ收ム、一栓子ノ利モ亦如此シ、豈ニ盛ナラスヤ、

○此日隨行ノ官員ヲ派シテ「オ、クランド」ノ學校ヲミセシム、「オ、クランド」ハ米國ノ西方ニテ有名ノ文教場ナリ、小學校數區アリ、大學校モ亦數館ヲ備フ、兵學私校アリ、盲啞院アリ、
小學校ニテハ男女ヲ混シテ教フ、近傍村民ノ男女子ミナ行厨ヲ佩ヒ、書籍ヲ

執テ來リ學フ、堂下ニ一場アリ、板ヲ以テ椽トシ、中ニ上水ノ櫃ヲ安シ、龍頭ヲ施シテ汲ムニ便ニス、此ヲ行厨ヲ開ク所トス、男女ノ佩來ル所ハ、大抵麵包ニ乳酪ヲ塗り、若クハ鹽肉ヲ挾タルモノニテ、此處ニ就テ水ヲ飲ミ食ヲナス、スヘテ西洋ノ食事ハ、水漿ヲ省キ、中ニモ晝食ハ甚簡易ナル風俗ナリ、特ニ小學校ノ童生ノミナラス、大人モ一般カクノ如シ、

○兵學私校ハ某氏ノ建造ニテ、大政府ノ免許ヲ受ケ、子弟ヲ取立ル處ナリ、生徒百餘人、ミナ桑港府及ヒ近邑ノ財產アル者ノ子弟、日上シテ學フトナリ、學費ハ他ノ學校ヨリ殊ニ貴シ、校中ニ小銃、胸亂樂器ノ類ヲツナヘ、其廣庭中ニ於テ步操ヲ肆ス、此日隊列ノ法ヲナシテ示シヌ、

○盲啞院ハ、全州政府ノ公校ニテ、石造ノ四層屋ナリ、結構壯麗ニ、山腰ニ聳ニ、啞生ハ男女五六十人アリ、上下ノ兩寮ヲ分チ、下層ハ小學ニテ、其最幼ナルハ五四歳ノ兒ニ至ル、指狀形狀ヲ屈伸シ、ヲナシテ言ニカエ、壁ニ畫シテ談ニカユル、一兒アリ、年六歳許、己ニ指狀ヲ熟知シ、教師ト問答ヲナス、一二次○上層ノ生徒ハ、年二十餘歳ニ及ヘルモノモアリ、中ニ一人男生ハ、人ニ對シ、其語言

スルキ、口喉ノ動キヲ視テ、能共言ヒシコト何事ナルヲ解悟ス、同行中ニ英語ヲナスモノ、試ミニ簡短ノ一語ヲ語リシニ、亦能ク之ヲ解セリ、如此敏機ノ啞生ハ、滿天下ニ少シト云、

盲生ハ男二十餘人、女ハ只七人アリ、往來不自由ナルユヘ、大抵寄宿シテ學フ、目盲スル者ハ、視神經ハ指頭ニ鐘ル、故ニ凸稜ヲ墨ニカエ、指ヲ目ニカエテ探リ讀ム書ヲ與フ、其文字ハ九點ヲ増減シ、二十六品字ニカエ、厚紙ニ打起セシモノナリ、又盲人ニ文字ヲ書セシムル器械ヲ作ル、其法ニアリ、一ハ真鍮板ニ縱横ノ方眼ヲ彫リ、之ヲ紙上ニオキ、鈍尖ノ針ヲ筆ニカエ、格格ノ眼中ヲ突去レハ、紙背ニ凸稜ノ文字ヲ起ス、是ハ自寫シテ、自讀スルニ用フ、是皆歐米ノ一ハ書翰ヲ寫シテ、親故ナトニ贈ラシムル爲ニ、方板ニ横筋ノ罫ヲ刻テ、上ニ布ヲ張タルヲ、紙底ニ敷テ罫紙ニカエ、左手ニテ字行ノ首ヲ押エ、右手ニ鉛筆ヲトリ、一字ヲ書スル毎ニ、左手ヲ進メ右手ヲ退ケテ寫シユク、此ハ米國ニテ近年ノ發明ナリ、○度學ヲナスニハ、銅版活字ノ如ク、數字ヲ鑄出シタルモノヲ、算子トナシ、方格ヲ施セル箱ヲ算盤トナシ、指ニテ算子ノ凸字ヲ探リヨミ、法ノ

如ク算盤ノ方格中ニ挾ミイレ、題ニ應シ抽カヘテ、加減乘除等ヲナス、上等ノ男生ハ、之ヲ執テ幾何術ノ難題ヲ算開セルモノアリ、○地理ヲ教ユルニハ、木盤上ニ地球各國ノ地形ヲ造リ、植コミシモノヲ與ヘ、摸按シテ地形ヲ察セシム、此日教師、盤中ヨリ一國ヲ抽取テ、盲女ノ年十三許ナルニ與ヘ、何國ナルヤヲ問フ、某國ナリト答フ、如此スル數國、皆答ヘヨ誤ラス、後ニ之ヲ亂抛セシマ、ニテ、其盲女ニ與ヘテ理セシムレハ、各國ノ形ヲ按シテ、盤上ニ植ル、一分時餘ニテ舊ノ如クニ植了リ退ク、○凡ソ啞生ニハ工藝ヲ教フ、其造作シタル器什モ美ナリ、盲生ニ授クル工藝少シ、多クハ樂工トナス、一女アリ、玻璃各彩ノ珠子ヲ串シテ、親ヲ種々ノ器什ヲ造リタルヲ持來リ、我輩ニ贈レリ、盲生ノ食堂ヘ往クタメ、廊ニ鐵軌ヲ敷キ、車ニノセテ往來セシム

○大學校ハ、邑中ニアリ、數區并立チ、窮理地理化學等、ミナ館ヲ分チ教フ、教師三十四名アリ、所謂「ユニヴァルシチー」ナルモノナリ、此日ハ農業化學ノ教師、水素酸素ノ講釋ヲナシ、水ヲ引テ發光シ、及ヒ鏡片ヲ燒ク等ノ試験ヲ示セリ、各館ノ樓上ニ、礦石本草、或ハ窮理諸科ノ器械ヲ集メ、頗ル備ル

二十一日晴

七一

○午前ニ馬具ヲ製造スル家ニユク馬具ヲ作ルニハ、蒸氣器械ニテ粗其形式ヲ拉成シテ、而後ニ手ヲ以テ縫帶ス、

○是ヨリ太平海ノ郵船會所ニ至リ、水揚ノ倉庫ヲミル、

米歐ノ民ハ貿易ヲ以テ最要ノ務メトス、是東洋ノ人ノ目シテ商國ト謂フ所ナリ、然レ其民大半ハ農ニ從事シ、少半ハ工ニ從事ス、商ハ百人中ニ五六人ニスキス、惟其農タリ工タルモノマテ、熱心ニ物産ノ裕通ニ注意シ、都會ノ地ハ協同シテ、商旅商船ヲ其地ニ輻湊セシメ、ノヲ希フハ、東洋農國ノ夢ニモ想像シ及ハサル所アリ、何如トナレハ、西洋ニ於テ、荷モ貿易ノ地ニハ、必スナカルヘカラサルモノニテ、以テ萬國普通ト謂モノ、東洋ニハ、絶テナキ事業アリ、船廠市場銀行相場會所及ヒ商長等是ナリ、船廠ハ海口ノ荷物ヲ受ケ、市場ハ陸口ノ貨物ヲ集メ、商賣ヲ媒介センタメ、解舍倉庫ヲ堅牢ニ建テ、其荷物ヲ預ル、之ヲ運搬スルニハ、回漕郵船飛脚用達等ノ諸會社アリ、倉庫ヲ有シ、荷物ヲ受取り、他ニ運輸スルヲ引受ルニヨリ、又海上火難

請合ノ會社モ從テ起ル、其目的タル、荷主ヲシテ安心シテ貨物ヲ送り、水揚積卸ニ費ヲ省キ危儉ノ慮リ無ラシムルニアリ、貨幣ノ取引ハ、銀行ニテ擔當ス、故ニ貨主ハ買手ト、徒手ニテ商事ヲ取組ヘシ、商事ノ景況事ノ高低ハ、相場所ニ保認シ、其都府ノ商品輸出入ノ統計ハ、商長ニ審知ス、皆商業ニ於テ、一モ欠クヘカラサルモノナリ、然ルニ我日本ノ商事ヲ顧ミレハ、問屋市場ハ買手ニ益アリテ、賣手ハ常ニ其困厄ヲ受ク、爲替兩替ハ現金ヲ兌換スルニ止ル、物産ヲ運搬シテ、價ヲ商場ニ求メ、ノヲ謀レハ、海上ノ船賃ヨリ、水揚積卸ニ費用倍蓰シ、數百里ノ運漕ハ、西洋ニテ萬里ノ航海ヨリ、運賃増加ス、數町ノ距離ニテ物其價ヲ殊ニシ、陸路二三里ヲ隔レハ、物貨ノ運搬シテ沽レサルモノアルニ至ル、是ミナ貿易ニ注意薄ク、商業ハ民ノ賣買ヲ媒介シ、物品ヲ價アル地ニ變位セシムル、本領ノ趣意ヲ未タ知サルニ因ナリ、桑港ニ於テ、此等ノ設ケハ皆周備シタレ、初見匆匆ニテ、未タ深ク其情由ヲ窮メサレハ、他日漸ク各地ノ觀察ニ觸テ、聞見ヲ詳記セントス、因テ此ニハ其梗概ヲ論シ、看官ニ注意ヲ與フノミ、

○桑方斯西哥ノ開ケハ、近ク三十年ノヲナレハ、開化ノ經驗ニ因テ、街路ヲ割出シ、井井法アリ、寬廣ニテ直ク、大路ハ二十間、中路ハ十五間、狹路モ兩車駢馳スルニ足ル、中ニハ斜ニ大路ヲ開ク、府中ニテ「マーケット」町ヲ最濶ノ路トス、繁華ナルヲ「モントゴメリ」町トス、此町旅館多シ「ガラソド」ホテルハ五百人ヲ宿スヘシ「オキシテン」ホテルハ七層ノ樓ヲ起シ、直立シテ空ニシテ「リキハウス」等之ニ亞スル旅館アリ、其他諸會社ノ商店、五層六層ノ高樓ヲ起シ、街路濶ナリト雖モ、宛トシテ、嶽巖ノ峽ヲ過ル如シ、車輪ノ喧闐ナル、近雷遙濤ヲキ、氣燈ノ燦爛タル、倒ニ屋宿ヲ羅ヌ、其壯麗目ヲ驚カセ、米國內ニテハ猶麗造ノ屋宇ノ多キ都府ナリ、府中ニテ百萬弗ノ建築ナシ、ゴストンハリス運上所最壯大ナリトス、其經費ハ八十萬弗ヲ費セリ、大抵邊鄙ノ町ハ、木製ノ屋多シ、白鉛漆粉ヲ塗リ、或ハ青磁色ニ塗ル、外觀反テヨロシ、繁華ノ區ニハ煉瓦石ノ家屋多シ、或ハ外壁ヲ赭色ニ塗ル、眼ニイリテ光輝ナシ、石造ノ宏館ハ絶テ希少ナリ、又彫題刻柱ホリシタルキキカミシハシラアル屋ナシ、是新都府ノ舊都府ニ及ハサル所ナリト云、○府中街路ノ修繕ヘ多クハ未ダ整ハス、土ヲ削リテ平衍ニシ、車輪ヲ支ヘサルニ止レ、空

氣燥ケハ、車輪塵ヲ蹴起シ、人目ヲ味スルヲ其憂ヒハ、雨後ノ沮洳ヨリ甚シ、中央繁昌ノ區ニ於テモ、磚形ノ木材ヲ鑿固シテ、修メタル車道多ク、鑿石ヲナシタル路ハ、甚タ少シ、車道ニ木材鑿固ノ法ハ、木材ヲ截テ、煉瓦石ノ如クシ、其切口ヲアツメテ、道面トナシテ、地上ニ密敷ス、猶煉火石ヲ鑿カ如シ、如此スレハ、車輪ヲ受テ、激動少ケレトモ、修復屢至ルニ弊アリ、兩側ノ人道ニハ石ノ砌ヲ施シ、全地灰土ヲ鞏固セルアリ、板石ヲ平敷シタルアリ、或ハ煉火石ヲ鑿固シタルアリ、新開町ニハ、板ヲ敷キタル所多シ、曾テ南鄙ニ赴クハ、新街ヲ開ク狀ヲ目撃スルニ、家屋ヲ未起サ、ル以前ニ、先人道ヲ修メ、板ヲ平敷シ、瓦斯管上ノ下水管ヲ埋メ、而テ後ニ車路ヲ修ム、土功此ニ進ムトハ、己ニ家屋ヲ營繕スルモノアリ、故ニシル、都市ヲ開クモ、田野ヲ開クト同シ、地方官ヨリ先之ニ道路ノ便ヲ與フレハ、人輒來リテ生理ヲ圖ルモノアリ、之ニ反シテ、道路ノ便ヲ奪ヘハ、人乍生理ヲ失ヒ、散スヘシ、○府中應用ノ便ニ至リテハ、毎町毎家ニ送ル瓦斯上水ノ管、及ヒ下水ヲ流ス管ヲ埋メ、其支條ヲ屋壁ノ内ニ修フ、室々皆氣熱ニ照サレ、汲スシテ、清水ヲ用フヘシ、是等ノ便ハ、新開ノ都府、反テ舊來名都

ニ勝ルトナリ、但當港ノ繁昌ニ從ヒ、水道ノ便ハヤ、欠乏ニ屬ス、此地ハ海角ノ半島ニテ、山ニ水ヲ出サス、用水ハ西方三英里ノ地ナル「マウチン」湖ヨリ引キ、管ヲ傳ヘテ府中ニ送ル、其工費ハ僅ニ金十萬弗ナリト、故ニ每屋ノ屋根ニ水桶ヲ並ヘ「ホンブ」ニテ清水ヲ汲滿テ、其底ヨリ水管ヲ傳ヘテ、各樓ノ室室ニ注下セシム、他日必ス上水ノ改正ヲナスナルベシ、全府ニ流水ナキユヘ、橋梁ノ美觀モナシ、○府中ノ美觀ハ、己ニ前ニ記述セル「ウードワル」公苑「シリッブ」ハ「ウス」等ナリ、寺ハ中央ノ區ニ建タル「マソニック」テノフル「ヲ」最大ナリトス、寶珠形ノ雙塔ヲ高ク築キ起シ、屋葺浪ノ如キ中ヨリ突起シ、府内ノ耳目タリ、○其產物ハ、林檎、葡萄、桃李、無花果等甚タ豐美ナリ、海物ニ、鮭魚ノ鮮ナル、牡蠣ノ腴ナルアリ、酒ニ、葡萄酒ノ美アリ、製造物ハ、毯ヲ織リ、革ヲ織リ、革ヲ硝ス、等皆府中ノ需用ニ充ルニ止リ、他ニ利益ヲ被ラシムヘキ大場ナシ、金銀地金ハ、當州第一ノ利ニテ、府中ニ造幣支局ヲ設ケ、政府ヨリ盛ソニ分拆ノ業ヲ開ク、又水銀ニ富ム、市塵ニ含金銀ノ美石ニテ、胸飾器斷ヲ製シ、販ク、此地ノ記念ニ供スヘシ、一般需用ノ物ハ、多ク新約克ヨリ「パナマ」回リニテ輸入スルヲ用フ、貿易

ノ船ハ、南ハ「パナマ」ヨリシ、西ハ支那日本ヨリ往來ス、

桑港繁昌ノ速ナル、人口ノ會計ヲ見テモ、驚クヘキホトナリ、一千八百四十五年ハ、即我弘化二年ナルニ、此トマテハ、當地ノ人口僅ニ百五十人ノ小村ナリシ、其時ノ景況ハ、今ニテモ想ヒヤラレタリ、土人海ニ漁シ、地ニ耕シ、野ハ曠クシテ山ハ荒レ、墨是科ヘ通フ船モアルカナキカナリシニ、四十八年ニ、金礦ノ發見ヨリ、遽ニ四方ノ礦人集リ、五十年ニハ五千人ノ邑ヲナシ、我永三六十二年ニハ五萬七千人ノ都ヲナシ、我萬延七十年ニハ十五萬人ノ大都府ヲナセリ、如此ク繁昌ノ速カナルハ、目今ノ世界ニモ、其例ハアラシク抑其原因ハ如何ト推窮スレハ、加利福尼亞、哇達及ヒ附近ノ諸州ニ、全銀、汞ノ三礦ニ富ム、フ世界ニ於テ第一ト稱スル所ニテ、其產額六千萬圓ノ價ニ及フ、皆此港ニ利孔ヲ括セルニヨル、其他繁昌ヲナス原因ハ、一ナラス、第一ニ氣候ノ温和ナルコト、冬ヲシラス又夏ヲシラス、此地ト英領「ヴィクトリア」島「オースタ」州ハ、新州ノ兩樂土ト稱スル所ナレハ、行旅ノ人人ニ移住ノ心ヲ動シヤスカラシム、ニハ土地ノ肥美ナルコト、眞ニ沃野千里トイフヘシ、

牧畜樹藝耕作何ヲナスモ不足ナケレハ四方ノ徒民鳩集スルモ亦宜ナリ、
 三ニハ全洲ノ地ニ寒中熱ノ三帶ヲツナヘ山ニ樹木饒ニ平野ノ廣キヲ我
 日本ヲ吞ムホトナリ中ニ薩桑兩河アリテ漕運ヲ便ス、人口サヘ鳩レ
 ハ勞作ヲ出セル物産ヲミナ當港ニ輸送スルニ差支ナシ此三ノ原由ハ内
 地ノ形ニカ、ルナリ又四ニハ支那日本ノ貿易恰モ金礦ト時ヲ同シテ
 開ケ此港ハ太平洋ニテ必ス由ル咽喉トナレリ五ニハ哈那麻ノ峽ト互ニ
 船舶往來シテ歐米ト東洋ト貿易ノ貨物モ亦必ス由ル咽喉トナレリ六ニ
 ハ落機ノ山ヲ絶テ鐵路ヲ架シタレハ海陸ノ運轉マスマス自由ニテ東西
 洋往來ノ捷路トナリタリ此三ノ原由ハ世界ノ貿易ニ關シ特ニ我邦ノ現
 今ト將來トニ關セル緊要ノ形勢タリ是ニ加フルニ金銀汞ノ富ヲ以テス
 レハ今ヨリ此地ノ興ル更ニ其量ヲシラス夫レ貿易ノ理タル一方ニ興ル
 地アレハ必ス又一方ニ相對シテ興ル地アルヘシ倫敦ハ巴黎ト相對シ昌
 敦巴黎ハ新約克費拉特費ト相對シ然則地勢上ニ於テ桑港ト相對シ昌
 へキ地ハ我橫濱ト清國ノ上海香港ニアルナリ上海香港ノ昌ヘ又我長崎

橫濱ト相關スルヲ是必然ノ理ナリ然則其相對セル國人ニ於テハ何事ヲ
 以テ共ニ相競フテ昌運ニ進ムヘキ歟ヲ慮ルヘシ天地ノ利ハ人カヲ加ヘ
 テ始テ興ル昔日ノ勞ハ今日ノ富ナリ今日ノ一小村ハ後年ニイカナル一
 大都ヲナサシメルニ難カラス畢竟其國民ノ深謀ト深慮ト兩ノ氣力ニヨ
 ル輕佻ノ舉動ハ永久ノ利ヲ開クヘキモノナラス其證據ハ歴史ヲヨミ地
 誌ヲ按シ既往ヲ以テ將來ヲ推セハ歴々明白ナリ中ニモ近ク米國開化ノ
 歴史ヲ確證トスルヘシ夫當國ノ地形タル太平洋ヨリ脈瀾海ニ至ルマテ、
 陸地一連スルト雖ヒ落機ノ山其脊ヲ分チ東西ヲ兩域ニ劃ル物貨ノ運搬
 ハ高山ヲ越ルト大洋ヲ航スルヨリ難シ故ニ其初メ米國カ脈瀾海平地ニ
 興ルニアタリテハ加利福尼亞現今日本ヨリ太平洋ヲ隔テ望
 ムヨリ猶遠ニテ此時米國人ノ志ハ僅ニアルゲニ山西ニ止レルノミ、
 然ルニ其規模ヲ弘ムルヲ三十年ヲ經テ上議院ニテ密河兩岸ノ野ヲ必ス
 米國ノ版圖ニ買入ヘシト議定セシハ當時ノ卓見ニテ其眼孔始メテ落機
 ノ東麓ニ達セリ爾後密河谷平地駁々ト開ケ再ヒ三十年ノ後ハ太平洋ノ

平地ヲ買取テ、眼孔ヲ東西洋ノ貿易ニ注キ、ベルリ民ノ使艦ヲ我浦賀へ派
 出セリ、其深謀遠慮、恰モ金礦ノ發明ト相前後シテ、其効ハ又三十年後ノ今
 日ニ著レ、桑港ノ繁昌トハナリタリ、夫三十年ハ久キニ似タレ、馬路ノ速
 ナル、既往ヨリ回想スレハ、猶昨年ノ如シ、而シテ土地ノ變化ヲナス、ト如此ナ
 レハ、今ヨリ又三十年ノ後ニハ、又イカナル變化ヲ見ルヘキカ、是正ニ遠謀
 ト深慮ト、着眼ノ要領ニテ、輕佻ノ舉動ニ勝ツ所ナリ、我使節一行ノ此ヲ過
 シハ、一千八百七十二年初メナリ、後二年ヲ經テ、同行ノ人、此地ヲ再過セ
 シニ、曩ニ南部ノ沙壤ニ於テ、方ニ地ヲ畫シ、路ヲ割リタルマ、荒穢狼籍ナ
 リシ所モ、今ハ市塵ヲ列子テ、殆ト「シリフハウス」ノ海岸ニ達シタリト、一ノ
 太平海ニテ、東岸ニハ如此ニ繁昌ヲス、ムルニ、其西岸ナル我橫濱長崎ノ
 景況ハ、イカンソヤ、清國ノ上海香港ノ景況ハ、イカンソヤ、我日本ノ民タル
 モノ、最モ剛省ヲナサ、ルヲ得ソヤ、抑桑港ハ地位ノ便利ト、港内ノ安全ナ
 ルトニヨリテ、貿易ノ盛ヲ太平海ニ鳴ラセ、且土曠人稀ナレハ、農礦業共ニ
 雇作ヲ渴望スルヲ以テ、僱工ノ價貴クシテ、府中ノ機巧ヲ妨ケ、山谿ノ茂樹、

牧田ノ毛革、礦坑ノ金石モ、蓋シ製作ヲ加ヘテ、之ヲ變形スルニ自由ナラス、
 玻黎陶器、毛布帽靴銀銅ノ細工、皮革ノ器具、木材ノ家什、甚シキハ、醜魚ニ至
 ルマテ、總テ高價ヲ以テ、他方ノ輸入ヲ仰ギ、需用ヲ饒ラス、其物貨ヲ輸送ス
 ル地ハ、他ニアラス、即同國ナル、新約克波士敦、費拉特、費ノ諸府ヨリ、歷瀾海
 及ヒ墨是科灣ヲ渡リ、哈那麻ヲ越テ、此ニ輸入ス、其海路ノ遠ク、且不便ナル
 一、我國ヨリ當港ニ至ルニ較スレハ、反テ千里ノ海路ヲ加フルニ同シ、我邦
 及ヒ東洋各國ハ、天産ニ富ミ、人口モ亦繁ク、備直甚賤シ、其景況ハ、桑港ト反
 對ナリ、是乃貿易ノ眼目ニシテ、東洋ヨリ輸送スル物貨ヲ以テ、此地ノ物價
 ヲ平均セシメハ、賓主共ニ便ヲ得テ、東西相望シ、其繁昌ヲ承ル、一、理上ニ於
 テ必然ノ形ナリ、加利福尼亞州ハ、樹木饒カナル國ナリ、而テ木製品ヲ新約克
 ニ仰シ、牧畜盛ナルノ地ナリ、而テ革製品ヲ新約克ニ仰シ、海濱線甚長キ地
 ナリ、而テ加拿他ノ醜魚來ル、礦物ニ有名ノ地ナリ、而テ金石ノ製作ヲ他邦
 ニ仰シ、後年加利福尼亞州ノ人口百萬ニ上ル、此景況ハ、速ニ變セサルヘ
 シ、如何トナレハ、人カヲ要シ、開クヘキ土地尙多ク、僱賃決テ低下セサレハ

ナリ然則東洋ト當港ノ交易ハ特ニ絹茶烟草ニ止ラス恐クハ當州ノ繁昌
スルニ從ヒ天産ハ餘リアリテ工産物ノ騰貴ハ依然ナラン此等ノ事理ハ
我邦ノ貿易ニ於テ殊ニ緊要ノ一ナレハ此府ノ紀事ヲミルモノ最モ注意
ヲナサソフヲ望ムナリ

第五卷 加利福尼州鐵道ノ記

加利福尼州ハ北亞米利加洲ニ於テ太平洋海岸ノ一大州ニテ總幅員二十四萬
九千六百四十三萬方英里北緯二十二度半ニ起リ四十一度ニ至リ暖中兩帶
ノ氣候ヲ兼タリ元ハ皆墨是科國ノ所領ニテ混沌ノ域ニ打槩オキ誰訪フ人
モアラサリキ此州ノ南方ハ墨是科ノ本土ト相對シ中ニ幅八九十英里ノ狹
長ナル入海タヘ之ヲ加利福尼灣ト名ク又其形紅海ニ類スルヲ以テ西紅
海トモ云一千七百年ノ頃マテハ歐洲ノ地理家モ此州土ノ檢査ハ處漏ニテ
米洲ト亞細亞洲トノ間ナル一箇ノ大島ナリト思ヒタリ

佛國巴黎ノ書庫ニ一千七百年代ノ地球儀アリ太平洋海邊ノ州土ハ訛謬甚
シク此州ヲ「オ、スタラリヤ洲」ヨミル如ク北米ノ西ニ於テ大ナル一島ニ
畫キタリ

時ニ奇ヲ探ルノ航客宗教ヲ弘ムル僧徒ナト此地ニ至ルモノアリテ一千八
百年ノ比ニ天主教「ヂエズイット」宗ノ僧來リテ此地ニ金礦アルヲ話セシマ

リ或ハ云英國海軍將官此地ニ碇泊シテ金礦アルト云シイモアリトカハル
 評判ナト追々世ニ廣マリ一千八百三十三年ニ至リ佛人「ハリハック」ナルモノ、
 始メテ此地ニ黃金ヲ拾ヒ出セリ後土人又「サクラメント」河ノ下流ニテ金塊
 ヲ日ニ四五弗分許、イツクトモナク拾ヒ得ルモノ多シ因テ四十年ニ合衆國
 ノ領事「ラルキン」氏委シク其事ヲ廉訪シテ大政府ノ國務尙書マテ掛合コシ
 ニケリ○此頃墨是科ノ政事アシク邊境ノ土民屢叛亂シ此州モ亦安カラス、
 東南ナル「デキサス」州ノ民叛キテ合衆國ニ内附シ是ヨリ兩國ノ際ニ議論起
 リテ戰爭トナリ遂ニ合衆國ノ大將「タイロル」ノ軍配ニテ墨ノ大軍ヲサン々
 ニ打破リ墨是科和睦ヲ乞ヒ多ク邊界ノ壤地ヲ裂キテ合衆國ニアタヘタリ、
 是ニ於テ合衆國ヨリ更ニ二億一千七百萬弗ノ金ヲ出シテ「加利福尼亞」ノ北境
 十八萬九千六百四十三方英里ト「新墨是科」ノ地ヲ并セテ永代買取タリ是
 ヲリ此州土分レテ上下ノ兩州トナリ墨是科ハ下州七萬方英里ヲ領ス是乃
 我嘉永元年ノ事ニテ今ヨリ近ク三十年前ニ過キス徐繼畬カ瀛環志略ハ此頃ニ成ル故ニ「ロッキ」以西
 ハ印甸ノ部ニテ加利福尼亞州 其時マテハ桑方斯西哥ノ港ニハ只土民百五十
 ハ墨是科國中ニ論列セリ

人許村落ヲナシ寥々タル荒域ニテアリ又然ルニ翌ル一千八百四十八年ヲ
 於テ「マーシャル」氏ナル者桑港邊ニテ黃金一片ヲ拾ヒ得テ大ニ喜ヒ社ヲ募
 リテ開礦ノ業ヲ起シ遂ニ大ナル金礦ヲ數ヶ所掘リ出シタリ因テ桑港ニ市
 街ヲクテハ不便利ナリトテ五百餘軒ノ假屋ヲ建テ諸方ヨリ寄集ル人日ヲ
 逐テ繁昌シ頃テ五千八ノ都府ヲナシヌ、
 此州ノ地形タル西ハ太平洋ニ向ヒ東ハ「シール」ラネヴァタト云山脈アリテ北
 ヲリ東南ニ連リテ界線ヲ分チ又海岸ニシヒテ一山脈アリ南北ニ接連ス之
 ヲ海岸山脈ト云加利福尼亞ノ金礦ハ其「シール」ラネヴァタノ山脈ニアリ桑方斯
 西哥港ヨリハ數十百里ヲ隔タル奧ナリ○此「シール」ラネヴァタ山ヨリ打出ス、
 一大河アリ「サクラメント」ト云北境ヨリ流ル、十四百五十英里ニテ桑港ノ
 北灣ニツ、南境ニハ沼湖多ク其水ミナ北流シテ「サンギョーキム」ト云大河
 トナリ三百五十英里ヲ經テ「サクラメント」ニ合流ス此兩河ニテ全州ノ南北
 ヲ貫キ其利ニヨリ内地ヲ漕運スヘシ○此州ノ氣候ハ一ナラサレトモ概シ
 テ酷烈ナラス桑港ニ霜雪少シ夏季ノ熱ハ八十度ニ上ルヲ異候トス一般夏

ハ空氣乾燥シ冬ハ溫氣多シ然レモ東洋ノ空氣ノ濕フカ如クナラス海岸ハ
 大概暑寒ノ差甚ク些少ナリ、
 此州ノ壤地ハ肥沃ナル平地多ク山巒モ平坡ヲナシテ牧畜ニ適ス且其地味
 ハ最上ニテ耕作ニ糞培ヲ用ヒス我北海道ニ似タリ而テ風雨和順ニ氣候溫
 暖ノ美ヲ加フ殊ニ果實ニ宜シ葡萄ヲ種レハ碩大ニシテ甜ク醸ス所ノ酒ハ
 佛國ノ美酒ニ劣ラズ又林檎モ名産ナリ濕地ニ稻ヲウエ燥地ニ麥及ヒ玉蜀
 黍ヲウエ一歳ニ兩熟スヘシ大率十年ノ内ニ七年ノ豐作ヲ得ヘシ近年棉花
 烟草甘蔗ヲ種試ミシニ皆能蕃育セリ又茶モ種試ミタレト未効ヲミス此州
 ノ農産ニ欠ク所ハ絹茶ノミ○山ニハ大木饒カナリ世界中ニ喬木多キ地ト
 稱ス「ヨ―セミテ」ト云佳山水アリ大懸瀑アリ二百丈ヲ下ル其景色世界ニ傳
 テ艶稱ス此モ又「シイラルネヴ」山ノ一部ニテ其邊ニ大木ヲ生ス一大樹ヲ
 切シ株アリ其上ヲ廣堂トナシ三十人ヲ舞踏セシメテ可ナリト云、
 人民ハ墨是科人種トインヂヤン印甸人ヲ原始トス其後歐羅巴ヨリ流寓ノ種アリ逐年
 ニ增多シ千八百六十年前ニ二十八萬口其後年年ニ増テ七十年ノ統計ニハ、

五十九萬〇二百四十七人ニ及ヘリ然レモ大半ハ桑港灣海ノ周圍數郡ノ地
 ニ集リ南北ノ僻境ハ概シテ尙混濛ノ世界ナリ○桑港ノ開ケルヤ金礦ノ業
 ニヨル故ニ清國人ヨリ金山ノ名ヲ與ヘタレモ桑港ニ金礦アルニハアラヤ
 ルナリ桑港ノ開ケル始メヨリ清國ノ人民黃金ヲ鑿タメニ渡來シテ備作ヲ
 ナシ之カタメニ家産ヲ起シ歸國スル者多キニヨリ皆爭フテ此ニ寄來リ是
 等ノトヨリ金山ノ稱ヲ與ヘシナリ今モ清人四萬九千三百十〇人千八百七
 寄寓シテ桑港ニハ支那町トテ其住居ノ陋巷アリ又近郡ニ散居シテ人家ニ
 備作ヲナシ穀ヲ耕シ蔬ヲ種ヘ百果ヲ樹藝シ或ハ製造家ニ職役ヲナス總テ
 廣東福建ノ人ニテ勉強ニ堪テ艱苦ヲ厭ハス備貸廉ナレモ五六年ノ間ニ千
 金二千金ヲ贏シ以テ田宅ヲ置テ此ニ居住スルモアリ又歸國シ家ヲ起スモ
 アリ太平洋海郵船往來ノ度コトニ下等ノ船室ニハ清人三四百人乗込サル
 ナシ清人ノ性タル儉嗇ニシテ又國俗ヲ改ムルヲ忌嫌フ此州ニアルトモ辦
 髮衰衣シ日常ノ需用品ハミナ本國ヨリ取寄セテ用フ稻ヲ炊キ鞋ヲ穿テ米
 地ノ牛羊草呢一モ資用スルヲナシ而テ餘金ヲ蓄ヘテ國ニ歸ルモノ口月常

ニ多シ、總計ヲ概算スレハ、年々米國ヨリ金一千餘萬弗ヲ清國ニ輸送スルナ
リ、且之カタメ米國ノ傭夫、其職役ノ地ヲ奪ハル、ニヨリ清人ノ渡來ヲ禁セ
シ、コトヲ抗議スレモ、如何トモシカタシト云、

清國民カ外國ニ寄寓スルコトノ夥多キハ、此州ニ限ラス、南亞墨利加、オホス
タラリヤ、及ヒ南洋群島ニモ至リ、商賈ヲナシ、傭役ニ服ス、我開港場ニ雜居
生理スル景況ニ同シ、其由來ハ殖民地ニ低價ノ傭奴ヲ渴求スルニ生ス、蓋
シ新開州地ヘ移住ノ民ニ兩様アリ、其一ハ巨萬ノ費アル上等ノ民ナリ、是
ハ本國ニテ生産ノ利途、己ニ人ニ占ラレ、保護周密ニテ、新ニ資本ヲ用フ所
ナシ、因テ未開ノ地ニ産業ヲ興サント移住スルモノナリ、其二ハ無産ノ流民
ナリ、上等ノ人、己ニ田宅器械ヲ受取ラント、四方ヨリ應至ス、歐米ノ民ハ例シテ傭
騰貴ス、賤民ハ其傭給ヲ受取ラント、四方ヨリ應至ス、歐米ノ民ハ例シテ傭
價貴シ、財主ニ利少シ、是ニ於テ賤役ノタメ、買奴套奪、清國ニテ往來ノ人ヲ
奪トノ業ヲナシ、利ヲ謀ルモノアリ、清ノ辨髮奴ハ、傭直賤シ、勤儉ニテ不潔
ヲ厭ハズ、使役ニ便ナルニヨリ、財主爭フテ傭フ、故ニ桑港ノ近旁ハ、傭直ノ

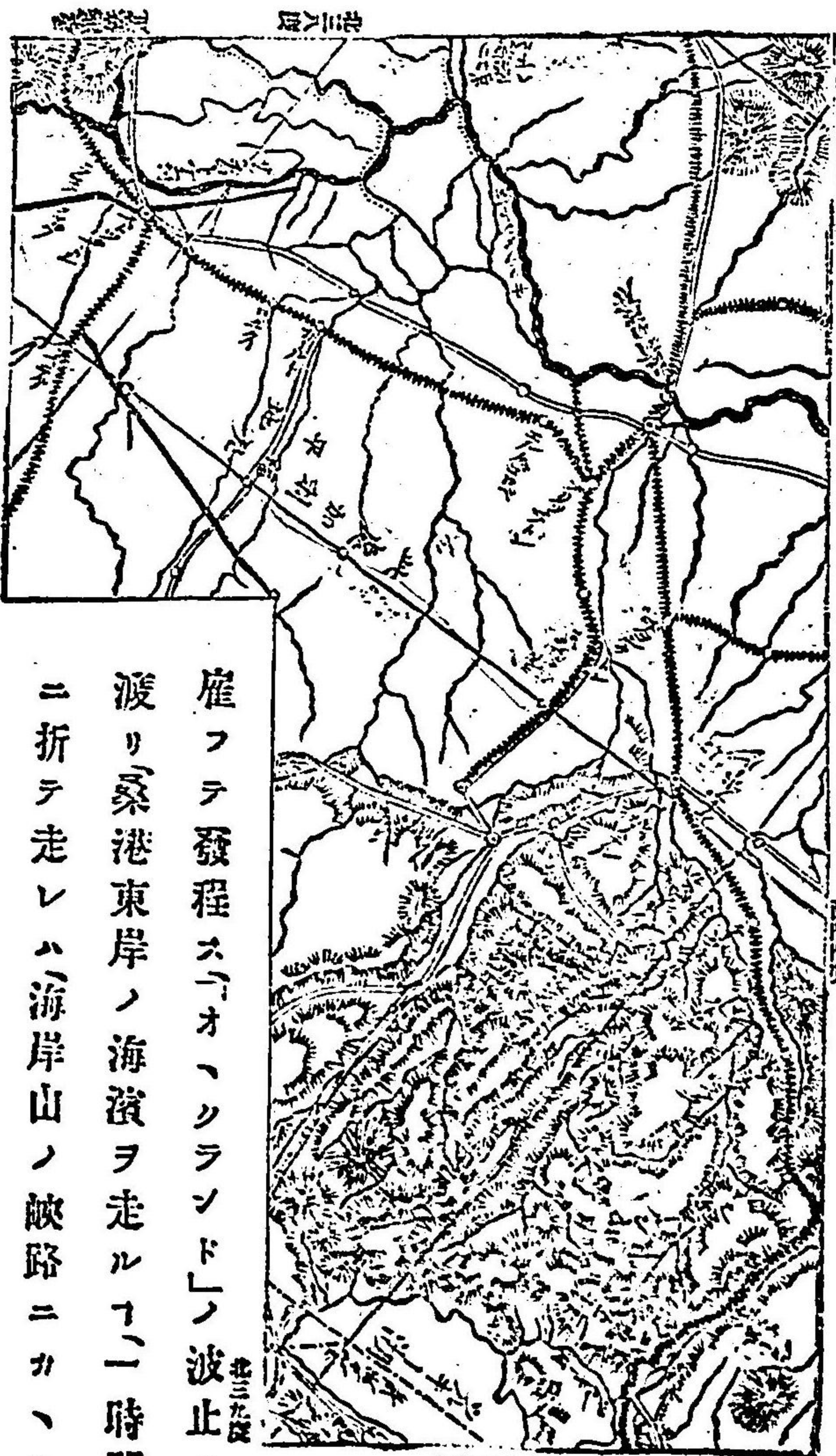
貴キ、非常ナレモ、此辨髮人カ賤直ニテ使役ヲウケルニヨリ、大ニ生理ヲ
助ケ、開拓ヲス、メタリ、然レモ是カ爲メ、白哲人民ハ、其傭雇ノ口ヲ奪ハレ、
甚タ不平ナルヨリ、竟ニ沸騰シ、支那漢ヲ驅斥スル論ヲ生スルニ至リ、州ノ
政府ニテ、屢其方ヲ商議スレモ、共和國ノ本領ニ於テ、行フヘカヲサル理アリ、
各財產家ニ於テハ、其營業ノ故障ヲ生ス、彼是ノ情實ニテ、其議モ行ハレ
サルニ歸シテ、年ヲ送レリ、此傭雇直ノ事情ハ、新開地ニ於テ甚緊要ノ一
大伴タリ、往年買奴禁止ノコトニテ、南北ノ戰、六年ノ血ヲ流シタルモ、互ニ大
ナル情實アルコト、是ニテモ推考スヘシ、西洋ノ一令一法、ミナ人民ノ財產生
理ヲ審察シ、其保護ノ要旨ヲ失ハサルヲ主トスルニヨリ、情理明白ナルコ
トモ、容易ニ決行スルニ至ラス、是其能富強ヲ保ツ所ナリ、
牧畜ノ業ハ、清人ノ性質ニ適セストテ、重ニ印甸人及ヒ歐米ノ移民ヲ使役ス、
印甸人ノ入籍セルモノ、七千二百四十一人アリ、當州ノ牧畜モ又高名ナリ、種
ヲアラビヤ諸國ヨリ取寄テ、之ヲ繁息ス、良馬ヲ生スルコト、英ニ劣ラス、凡他國
種ノ畜ハ三代ヲ過レハ、其種漸ニ變ス、故ニ三代ノ後ニハ本國ノ種ニ交ラ

植物ノ種モ亦然リ、其他牛羊雞豚ニナ野ニ被ル、土已ニ良ク、生草肥美ナレハ、幾百頭ヲ放ツト雖、餓殍ニ窮スルコトナシ、カ、ル富饒ノ州域ナレトモ、人民甚タ少シ、寧テ荒野ニ附スルモノ十ノ九ニオル、
二十二日 陰細雨

朝七時ニ「カランドホテル」ヲ獲シ、例ノ蒸氣船ニテ「オ、クランド」ノ長棧橋ノ波止場ニ至リ、「カリホーニヤ」太平會社ノ蒸氣車ニ上ル、○米國ニテハ、晝夜兼行ノ蒸氣車ニ「スリピンカール」ト名ク車アリ、上等ノ容ハ此車ニ乗ル、車中ノ兩側ヲ六格ニ別テ、每格ニ二人ヲ容ル、一車ニ二十四人、中央ヲ往來トシ、首尾ヲ廣室トシ、此ニ火爐ヲ焚キ、洗嗽ノ石盤、及ヒ用水罐ヲ設ケ、固所ヲ具シ、登ハ每格ノ中央ニ、卓子ヲ作ル仕掛ケリ、長榻卓ヲ挾ミ相對シ、氈毯ヲ齒トシ、甚タ穩カナリ、兩客卓ニ向ヒ、書スヘシ讀ベシ、夜ハ其榻ヲ合セ寢寐トナシ、又上面ノ鈎ヲ弛ムレハ一ケノ寢寐下リテ、上下二段ニ寢寐ヲナス、褥被及ヒ枕ヲ備ヘ、前ニ輕ヲ下シテ臥セシム、車中ノ裝飾ハ上宇ニ花紋ヲ畫キ、金ヲ塗リ油ヲ摺リ、華ニシテ眩ナリ、鈎下スルニ玻璃燈ヲ以テ、夜ヲ照シテ暗カラス、甚タ

便利ナル車製ナリ、

歐洲ニ此車ナシ之ヲ便トセサルニ非ス、歐地ハ立君國ニテ、貴賤等アリ、坐臥ノ儀ヲ慎ミ、貴賤雜處スルヲ嫌フ、故ニカ、ル車ヲ作りテモ、亂雜ナリトテ、乘ルコトヲ好マス、斥ケテ田舎風トスルナリ、



桑五卷

○此回一行ノ官員生徒、米公使「チロン」一家、スベテ百餘人、五車ヲ

雇フテ發程ス、「オ、クランド」ノ波止ヨリ、棧橋ヲ渡リ、桑港東岸ノ海濱ヲ走ルコト、一時間行ニテ、東ニ折テ走レハ、海岸山ノ峽路ニカ、ル、一川アリ

ヲ東ヨリ來ル蒸氣車ハ其峽ヲ走ル山巒層々トシテ中ニ野ヲ抱キ農家三々五々ニ村落ヲナシ山上ニハ頗ル樹木アリ牛羊逐々トシテ青草野ニシケリ、○一時間行ニテ一ノ隧道ニ入レハ須臾ノ間ハ車中闇黒トナル是ヲ走り出レハ山脈ハ後ニ廻リ前ニ漠然タル平地開ク此ハ海ヲ抜ク三十尺ノ卑地ニテ東北ハ雲ニ際シ一點ノ山ヲ見ス青草巒ノ如ク生シ地ノ平カナル海面ノ如ク中ニ樹木ノ隔モナシ聯邦誌略ノ所謂兩山ノ間地勢寬平土壤肥美長千五百里寬百五十里支那ノ三里ハ英ノ一里ニ當ル一千五百トイフ是ナリ此平野ニ一條ノ大河流ル即チ「サンジョーキム」河ナリ三百五十英里ノ長流ニテ本州南部ノ諸河ヲ合タル巨流ナリ地平カナレハ水勢モ亦緩漫ニ處々ヘ溢レテ沼池沮澤ヲナシ猶伯禹カ出テ水ヲシテ土中ヲ行シムルノ日ヲ待モノナリ鐵道ノ傍ニハ岐路ノ線ヲ分チ數條ノ鐵路ヲ濕州荒蕪ノ中ニ數タルヲミル荒地ノ開拓ハ運送ノ道路ヲ開クヲ着手ノ始メトス○午後一時ニ「ラヂュロップ」驛ニ達ス此驛ニ停車スルヲ十五分時例ニ晝食ノ驛ナリ此驛ヨリ正東四十餘英里ニテ「ヨージェミテ」ノ山水ニトハクト云

○夫ヨリ「ストクトン」邑ニ至リ姑ク車ヲトム桑港ヲ距テ九十二英里此平野中ノ一大都邑ナリ此邑ニ癡狂院ノ設ケアリ停車中ニ一覽ス其屋造壯大ニテ前後ニ廣苑ヲ設ケ五禽ノ戲ヲナサシム今男女ノ病人一千五百人アリ病ノ輕重ニテ室ヲ異ニス病甚キハ室ヲ鎖シ手足械ヲ施シ便溺坐ヲ汗スモアリミナ看病男女ヲ付ス手足ノ械ハ鐵ニテ作ル近年共囚犯ヲ待ツニ同シキヲ以テ革製ニカヘン事ヲ議スルト云凡ソ癡狂病ノ劇性ニテ暴動制シ難キハ殊ニ婦人多シトナシ、

○六時三十分ニ薩列明度府ノ驛ニ達シ車ヲ下リ「オルレヤンス」ホテルニ宿ス、桑港ヨリ此マテ百三十九英里地面海ヲ抜テ五十六尺ニスキス、薩列明度府ハ加利福尼州ノ首府ナレトモ其市廛ハ甚ク繁昌ナラス人口一萬八千人薩列明度河ノ東南ニアリ此河ハ當州ノ北「オレゴン」州トノ堺ナル「シイルラネウタ」ノ諸山及ヒ湖澤ヨリ集成シ四百五十英里ヲ流レ當府ヲ經過シ南ニ注キ「サンゲョーキム」河ニ合シ桑港ノ灣ニ入ル、桑港ヨリ此ニ至ルニ路ヲ北方ニトリ河流ニ沿ヒ鐵道アリ距離頗ル近シ、

然トモ河流ノ淤泥ヲ略築固シテ材ヲ敷キ架成セル鐵軌ニテ河水漲レハ
氷底トナリ往々車行ヲ止ムルヲ多キヲ以テ普通ノ往還トハナサストナ
ン此河ノ兩岸及ヒ中洲ニモ亦泥塗ノ澤鹵アリ藎葦叢生シ人ヲ礙スヘキ
茫々タル荒地多シト云

此邊ハ東境ナル「シイルラネウ」諸山ヨリ流出ル數條ノ河水カ薩列明度河
ニ會合スル衝ニ當リテ遭運ノ便ヲ占レヒ貿易ノ盛ナル都府ニ非ス府中ニ
數街ノ肆店アルノ外一般ハ田家ノ光景ナリ街路ノ設ケハ縱横ニ井ヲ畫キ
寬廣ナリ多ク兩側ニ樹木ヲウヘ人道ハ其清蔭ノ外ヲ歩セシメ枝條天ニ錯
ル一般沮澤ノ地ニテ四郊ニ池沼多シ府中ノ道路モ未タ瓦石ヲ甃スルニ及ハ
ス車路ニハ塗泥ヲ搔タテ十字街ヲ歩スル毎ニ深泥履ヲ囁テ往クヘカラス
只繁華ノ街ノミ人路ニ煉火石ヲシケリ家屋ハ木製多シ市中ニモ沮澤アリ
如此キ地ニ屋ヲ建ルニハ泥中ニ巨木ヲ打コミ橋架ノ如クニシタルヲ礎ト
シテ之ニ建築スルナリカハル卑濕ノ地ナレヒ煉火石屋ヲ建ルニハ必ス屋
下ヲ掘テ煉火石ニテ窰室ヲ鞏固シタル其上ヨリ築キ起ス西洋家屋ノ營繕

ハ是ニ習慣ヲナシタルナリ願フニ地下ニ窰室ヲ造ル風ハ爽塏ノ地及ヒ地
代騰貴ノ場所ニハ之ヲ移用シテ甚タ便利ヲ受ヘシ卑濕ノ地ニハ或ハ不便
ノ失モ多カラソ

二十三日 陰

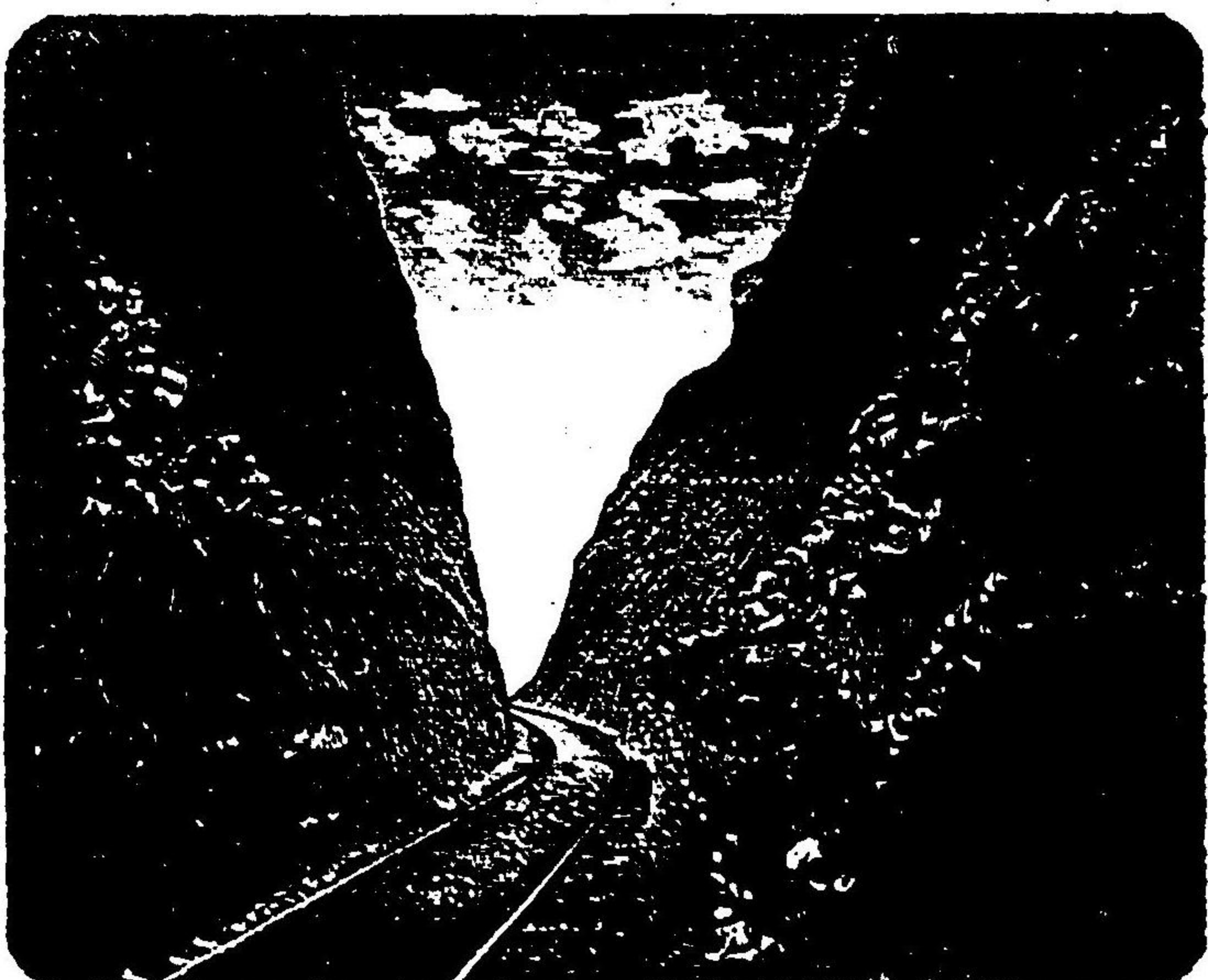
午前十時ヨリ駕シテ鐵道會社ノ蒸氣軸車製造場ニ至ル現今當州ヨリ落機
山ヲ越テ哈馬哈ニ達スル一千八百英里ノ鍊道已ニ落成シ其應用ノ車製場
ヲ此府ニ設ケ并セテ他ノ支路ノ用ニ供ス其製作ノ盛ナル太平海平地ニ於
テ第一ト稱ス其製作ノ狀ハ他日米國第一ト稱スル費拉特費府ノ觀察ニ讓
リ此ニ略ス 第十八卷ヲ
見ルヘシ

○正午十二時ニ駕シ當州ノ「カピトル」ニ至ル「カピトル」ハ議政堂ノコニテ即當
州ノ政府ナリ又「ステート」ハウス「トモイフ」當時新ニ改建シテ略成就セル宏
廣壯麗ノ大館ナリ長サ五十間幅サ三十餘間アリ地基ヲ高ク築起シ中央ニ
圓形ノ高塔ヲ聳カス地基ヨリ塔上旗竿ノ抄マテ百五十「フット」迄ニ天際ヲ
サス館内ノ樓上ヨリ階ヲ螺旋形ニ造リ塔上ニ登ルヘシ此ニ登リテ四顧

スレハ薩府ハ足下ニ基坪ヲシキ薩河ハ北ニ森淵タリ東南西ハ加利福尼平
 地漠然トシテ中ニ沼澤ノ鑑ヲ擲ツヨミル唐代ノ詩人カ慈恩寺塔ニ登リテ
 相唱和セシモ此壯觀ニハ及ハサラン○左右翼ニハ上下議院ヲ設ク共ニ高
 サ三丈ニスキル爽朗ノ廣室ニテ下院ニハ八九十人ヲ座セシメテ餘地アリ
 上ヨリ兩段ノ氣燈ヲ鈎下ス藻花玉ヲ攪メテ金光爛然タリ下ニハ華毯ヲ敷
 充ツ五彩院乎トシテ座常ニ春ヲ欺ク正面ヲ高クシテ議長ノ席ヲツクリ前
 ニ書記官ノ榻案ヲ並フ議員ハ之ニ向ヒ亦各榻案ヲ具ス周圍三面ニ餘地ア
 リテ官吏傍聽人ノ席トス上層ニ三面ノ回樓アリ州中ノ男女ミナ來リ聽ヘ
 シ猶劇場ニ席ヲ設ケタルト一般ナリ往來ノ回廊ニハ商賈ヲ縱シ果物器販
 彩影新聞紙等ヲ肆テ店ヲハル凡州ノ政府モ全國ノ政府ト大同小異ナリ
 上院ハ各府各郡ノ代人ニテ下院ハ人民ノ代人ナリ○此外ノ各室ニハ州ノ
 統領ノ房アリ州ノ大審院アリ書庫ニハ記録ヲ蓄ヘ其他書記官ノ各房アリ
 此日使節ヲ正面ノ壇ニ延テ米公使議長等其側ニ列座シ「スピーチ」ヲ演ス○
 薄暮ニ再ヒ此ニ至リ點燈ヲミル至ルキニハ室内已ニ暗シ繼ヲ動セハ百餘



「ケープホルン」ノ景 高五百尺



「プロム」ノ鑿割 直五千五百尺

ノ燈火乍ニ閃耀シ、全室晝ヲナス、是濕電ニテ火ヲ送ル仕掛ナリト云、

○夜旅館ニ於テ、市中ヨリ享宴ヲ開ク、此回我一行ノ此府ヲ經過スルニ因テ、市中ノ豪姓、金一千五百弗ヲ醜シ、三日ヲ留メテ款待セシヲ望ミタレト、前路ヲ急クヲ以テ、辭謝セリ、此夜享宴頗ル盛ンニ、十一時四十分ニ至リ徹セリ、

二十四日 雨雪

午前三時ニ蒸氣車ヲ發ス、是ヨリ一軌ノ鎮道ニテ、前路ハ「シイルヲチヴァタ」山脈ヲ越ヘ「ユタ」部ノ漠野ヲスキ、落機山ニ赴ク、此鎮道ハ、近年竣工セル「カントリ」太平會社ノ大建築ニテ、今車中ニ安眠シ、此ヲスキルハ、其賜ニヨルナリ、○薩府ヨリ進行五十英里ハ、猶平地ニテ、地勢漸漸ニ上リ、「ニューカステル」驛ニ至レハ、已ニ海面ヲ抜テ一千尺「プロメルゴット」ト名クル、鐵嶽ノ缺路ヲ馳行スル時ニ天晴タリ、是ヨリ岡巒重疊シテ、車行ヤ、險澁ナリ、八時五十分ニ「コルハッキス」驛ニテ朝食ス、此村ノ人口千ニミタス、是ヨリ山勢益層複シ、鎮路ハ傾斜シ仰イテ上ル、氣色甚壯ナリ、此邊ノ山ハ疎々ニ樹アリ、岩石ヲ露シ、松樹ノ類多シ、九時十五分ニ「ケーアホー」ノ險ニカ、ル鎮路迂回シ、巖坡ヲ渡リ、時

ニ高橋ヲ架シテ兩山ヲ接連シ、山層層ニ出テ、霎時ノ間ニ六百尺ヲ上リ岩壁
 ノ下ニ至ル、此ヲ「ケーブホルン」トス（ヨキナカメ）（好眺ノ義ナリ）○好眺山ノ景タル、背ニ
 ハ巖嶂壁ヲナシ、樹ヲ負フテ嶄然タリ、前ニハ深谷洞然トシ、窪ク群嶺ハ之ヲ
 環拱シ、綠樹ノ扶疎ナル象脊ニ似タリ、谷底ニ村アリ、河ハ水帶ヲヒキ、豆人寸
 馬ノ、縷ノ如キ路ヲ往來スルヲミル、此ニ姑ク停車シテ眺望ヲナス、此處ハ海
 平ヲヌク、三千尺ナリト云、天方ニ雪ヲ醸シ、遠望ニ快ナラサリシヲ恨ム、
 十時十分ニ、「ゴールドロン」村ヲスク、此邊ニハ谷ヨリ溪水ヲ導キテ、金沙ヲ淘
 スル樋ヲ處處ニカケタリ、時ニ陰雲、雲ヲ飛シテ、地上ニ斑斑ノ白アリ、「ドッチュ
 フラット」ニ至ンハ、人家數百戸ヲ、右ノ谷中ニミル、盡ク採金ノ家ナリ、「オルタ」ニ
 至ルル、前路ニ岩石崩レ、鐵軌ヲ壓セシ報アリ、因テ車ヲ停ムル數時ナリ、此處
 ニモ金沙ヲ淘スル樋ヲ設ケ、上谷ヨリ七八度ノ斜面ニテ、長サ二百尺許、泥水
 ヲ飛瀉セシメ、此ニ一頓スレハ、其注下ノ惰力ニテ、斜ニ五六尺ヲ跳リ、一山
 ヲ超ヘ、前谷ニ向ヒ去ル、此ニ又樋道ヲ設ケテ、其水ヲ受ル、凡ソ金沙ヲ淘スル
 樋ハ、仕掛種々ナレ、其一般ノ理ハ、樋底ニ仕切ヲナシ、之ニ水銀ヲイレオキ

礦土ヲ淘シ、送ル水ヲ、其中ニ導キ流セハ、金ノ質ハ重ク、且水銀ト親和スル性
 アルヲ以テ、樋中ヲ過ルル、沙金ヲミナ水銀ニ和シ、沈溜セシメルナリ、其水銀
 ヲ分拆シ、再ヒ金ト銀トヲ分離セシメ、而テ其水銀ヲ再ヒ樋底ニ用フ、世界中
 ニ金礦甚多シ、其内ニ於テ、「オ、スタラリヤ」（英屬細白里地）及ヒ此州ノ三礦
 ヲ最大ナリトス、當州ヨリ出セル金銀汞ノ諸貴金ハ、一千八百七十一年ニ總
 數ニ二千萬弗ノ價ニ上レリ、「シルラネヴァタ」ノ山、三四百英里ノ處ニ、カ、ル礦共
 其數ヲシラス、因テ目シテ金田ト云、銀銅鐵モ亦出ツレ、大ナラス、銀礦ノ大
 ナルハ、此山ノ東麓ニアリ、「ネヴァタ」州境ニ屬ス、「ネヴァタ」州ノ起ルハ、此利ニ依ル
 ト云、

我一行ノ經歷セル國々ニ、黄金ヲ産スル地ヲ踐ミシハ、只此一ヶ所ナリ、後
 英國ニ留リ、露國ヲ過キ、世界ニ名高キ金礦ノ説話ヲ聞集メ、又世界ニ珍シ
 キ天然ノ金塊モ一見シタレハ、此ニ其荒増シヲ述オクヘシ、
 凡ソ世界ニ黄金ヲ産スル國ハ、甚タ多ケレ、出產ノ高ヲ擧レハ、一年中ニ
 僅ノ數量ヲ出ス、小礦多シ、世界各國ヨリ、毎年ニ出ス黄金ノ總高ハ、大約四

十五萬磅ノ量ニ及ヘ、其内ニテ凡ソ三十七萬磅ハ、露米蒙及ヒ南亞墨利加ヨリ出ス量ナリ。○如此ニ四土ノ金礦ハ、世ニ著キ大礦ナレ、多クハ沙金ニテ出、塊金ニテ出ル礦ハ、甚少シ、金礦ハ塊金ヲ第一トスレ、其希少ナル如此シ、故ニ採金ノ業ハ、甚タ工力ヲ費シ、價モ低下スルヲナシ、又荷蘭ニテハ、近四五十年前ヨリ、世界ニ金礦ヲ發見セル數ヨリハ、世ニ黃金ヲ用フルノ甚々繁シナリタルヲ見テ、三、四十年ノ後ハ、金價必ス騰貴セントテ、法ヲ設ケ、金貨ヲ蓄フ、三十年ナリシニ、更ニ騰貴スル機會モアラザリキ。○塊金ハ、露國聖彼得堡府ノ礦山博物館ニ於テハ、細白里ニ産セルモノ、一塊ノ重サ八十七磅ナルヲ見タリ、又當加利福尼亞州ニテ、先年一塊ノ重サ百三十四磅ナルヲ得タリ、其純金ノ量ハ百〇九磅有半ヲ含メリ、因テ其價ヲ二萬六千弗ニ賣リシト云、是世界ニ發見セル金塊ノ最大ナルモノナリシニ、三、四年前ニ英領ノ「オ、スタラリヤ」ノ金礦ニテ、十八丈ノ下ヨリ發掘セルトテ、約百五十「ポント」我十八貫ノモノ、一塊ヲ、埃國ノ博覽會ニ出セリ、其質ノ純雜ヲ詳カニセサレ、天然金塊ノ最大ナルモノナリ。○黃金ハ地底

ノ花剛石層ニ含ムモノナリ、如何ナル理ニヨリテ聚凝スルヤ、今ニ能ドムハメタル確説ナシ、其質中ニ銀銅或ハ硫化鐵ナトヲ混和シ、硅質ノ石ニ抱合ス、然ルニ其硅石ノ質、久キヲ經テ雨ニ洗ヒ、寒ニ凍リ、水分ノ漲裂ニ因テ、水ノ凍ルキ其質ハ膨脹スル性ノモノナリ、其硅粒カ水ニ剥落サルルキ、金モ傳着シテ、谷傳ヘニ流レ落ル、是ヲ沙金ト名ツク、金質ハ重ク、沙質ハ輕シ、約七ト一トノ割ナレハ、沙金ハ硅沙ノ流レ去ルキ、自然ニ沈底シ、河中處處ニ留ル、故ニ金礦ノ近傍ニハ沙金ヲ多量ニ打出シ、漸漸ト礦ヲ遠サカルニ從ヒテ希少ナリ、此理ヲ按シテ、沙金ノ流レル筋ヲ尋ネ、浜リテ、金礦ヲ見出ストナリ。○塊金ト云ハ沙金ノ聚凝大ナルモノナリ、塊金モ沙金モ、ミナ石中ニ含ミテ存スルモノナレハ、金礦ヨリ得タル石ニ、金ヲ含メリト覺フトキハ、其石ヲ碎キ細密ナル篩ニカケテ、細粉トナシ、器ニイレテ水淨シ、浮揚スル石粉ヲサリテ、器ニ沈底スル重キ金質ヲ濾取レハ、金分ヲウル、猶其沈底ノ金質ニモ、石粉ノ雜リタルト思フキハ、本文ニ述ヘシ理ニ因テ、之ヲ水銀ノ中ニイルレハ、金ハ水銀ニ抱合シテ沈ミ、只石ノミ水ニ浮ムヲ、紙濾ニシテ之ヲ盡ニイレ、火

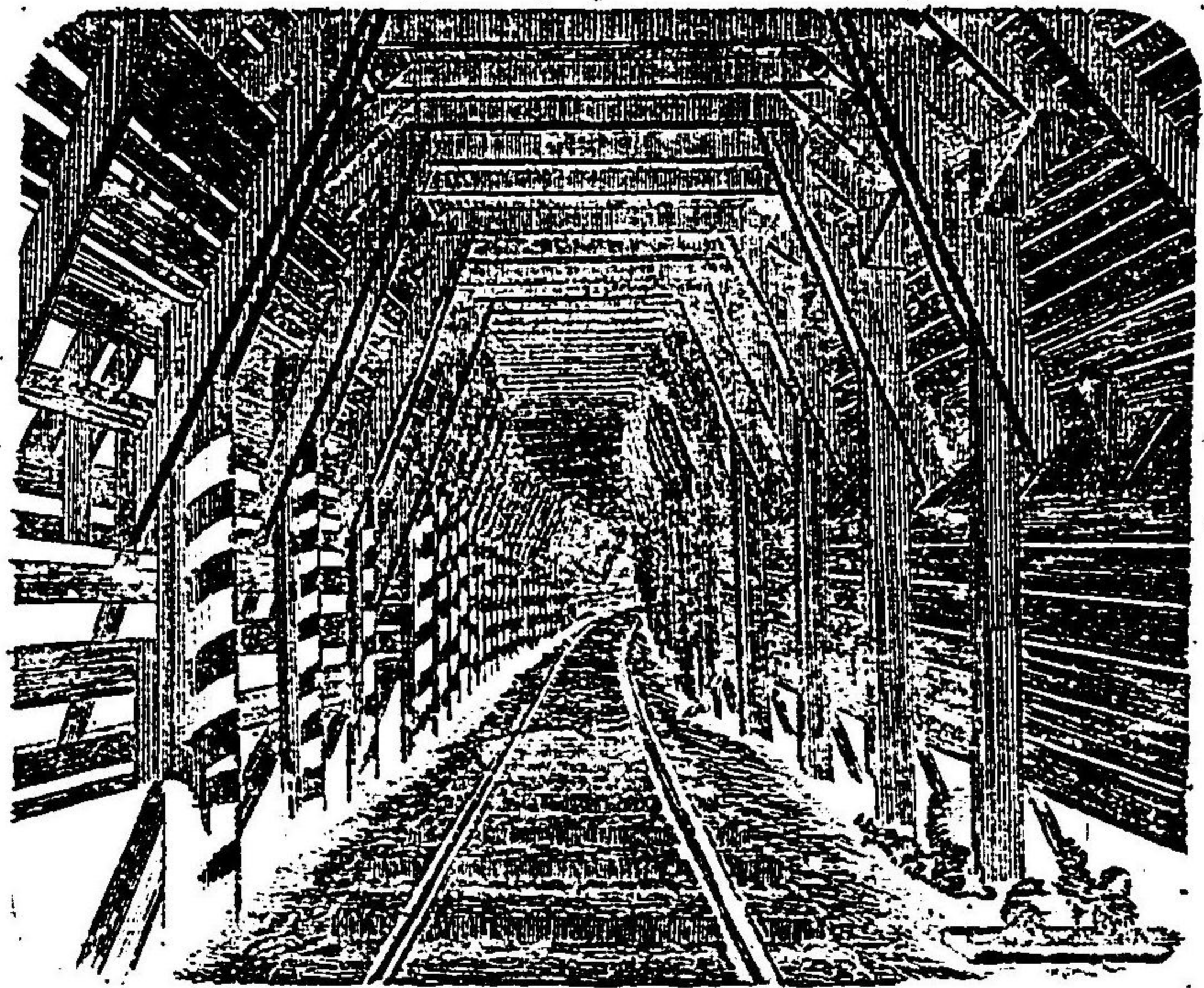
ニテ煉レハ水銀ハ升リサリテ金ノミ殘ルモノナリ○天然ノ黃金ニハ純
 粹ナルモノナシ必ス銀銅若クハ鍍ヲ混和ス露國細白里ニ無類ノ純金ヲ
 出ス礦アリ百分中ニ九十九ノ金ヲ含ム其他ハ金一ニ銀二或ハ金一ニ銀
 四アル礦ヲ上等トス普通ノ礦ハ八分一ヨリ十二分一マテノ金ヲ含メル
 モノトス故ニ礦石ヨリ黃金ヲ得テ其内ヨリ純金ヲ分拆スル後ニ及ンテ
 其實得ノ量ハ甚些少ナルモノナリ若シ含金ノ量甚寡ケレハ開採シテモ
 得失相償ハス細白里地方ニ如此ノ礦ハ甚多ケレハ開採セシテ棄タル
 モノ數百ヶ所アルト云普魯西國ノ金礦ニ沙一億粒ヲ掘レハ其内ヨリ礦
 金分五十六粒ヲ獲テ分拆ノ後ハ純金四分ノ一ヲ得ルモノアリ獨逸人ノ
 氣象精ヲ惜マサルユエニ猶之ヲ掘ルト云他國ニテナキナルヘシ○礦
 金ヲ分拆シテ純金ヲトルニハ其金粉ヲ硝酸ニ投スルカ或ハ硫酸水ニテ
 煮レハ銀銅ハ溶化シ純金ノミ底ニ殘ル若シ純金ノ量多ク銀銅ノ量些少
 ナルハ溶化ニ難シ如此ハ四分ノ一ヨリ少ク銀銅ヲマシヘタルモノナリ
 ○黃金ノ物タル貴重ナレハ實用少シ貨幣トナシテ貿易ヲ媒介スルヲ第

一ノ實用ナリ其他ハ百器ノ細工ニ莊嚴トナル迄ナリ元來黃金ノ性質ハ
 至テ軟韌ナルモノナルユヘ打延スモ引延ルニモ自在ナリ厚サ一寸ノ黃
 金ヲ打延レハ二十八萬分ノ一マテ薄クナルヘシ然レハ其質ノ軟ナルユ
 エニ純金ノミニテハ用ヲナサス必ス銀或ハ銅幾分ヲ加劑シテ用ニ供ス
 又黃金ハ色艶ニシテ光輝多ク空氣中ニ在テモ酸化セサルヲ以テ光輝ヲ
 失フコトナシ故ニ器物ノ顔料トナシ或ハ織密ナル細工ヲナシテ服飾器皿
 ニ用ヒ世ニ貴重セラル○近五六十年來歐洲ニテ金ノ細工盛ニ流行シ年
 々ニ其數ヲ増加シ今ハ格別ニ貴重セス我日本ハ黃金ヨリ貴重ノ物品乏
 シ又物品常ニ不融通ナルニ金銀ノミハ貨幣トナリテ通用スルニヨリ貴
 賤トナク至寶ト思ヘトモ歐米諸國ハ貿易ニ慣テ世界ノ珍寶ヲ見知シタ
 レハ黃金ニハ甚シク目ヲ囑セス露國礦物館ニテ細白里ヨリ掘出シタル
 大金礦ノ傍ニ烏拉山ヨリ掘出シタル寶石アルヲ示シ此一小塊ニテ四萬
 「ルーブル」ノ價アリ大金礦ニモ買取ヲ得スト謂ヘリ金剛石ノ如キハ雖
 卵大ノ一礦ニテ二十萬弗ニ賣レシモアリ故ニ豪富ノ家ニテ粧飾ニ寶

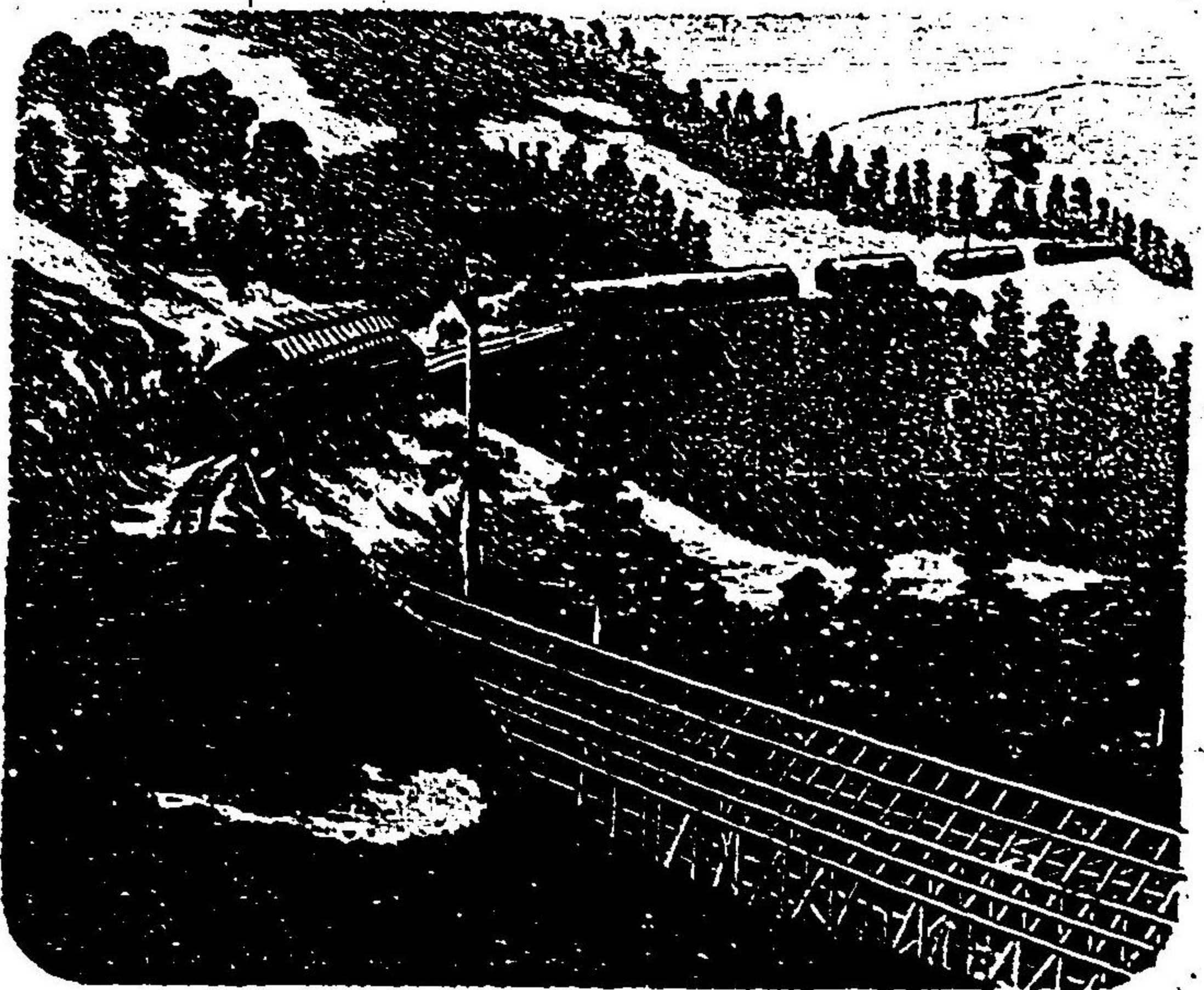
石ヲ用ヒスシテハ、人ハ誇耀スルニ足ラス、黄金ノミノ細工ハ、名手ノ手ヲ
 經テ頗ル貴重ヲナセトモ、格別風致モナキ金飾リハ、貨幣ヲ掛タルト同シ
 トテ榮トセス。○只黄金ノ用タルハ、其質火ニ熔シテ、延ヘシ薄ロシヘシ、割
 リタルモ合セ、切リタルモ續ク可エニ、貿易ノ媒介トナスニ適當ス、故ニ
 何國ニテモ貨幣トナシ用フルナリ、所謂貿易ノ媒介トハ、物ト物ト交易ス
 ルニ價ノ適合セヌ時ニ是ニテ餘分ト不足トヲ勘定スルナリ、黄金ヲ藏シ
 テ貿易ヲ務メサルハ、衣ヲ製シテ衣サルト同シ、必ス黄金ヲ獲ント欲スル
 其ハ其國ノ物産ヲ送リテ、之ヲ米露及ヒ豪ヨリ貿易シ得ルヲ易シ、故ニ黄
 金ヲ窖藏センヨリハ、一塊ノ寶石ヲ貯フニ如カサルモノナリ、

○前路ヨリ蒸氣車來リ、路修リタル報ヲ聞テ、一時半ニ轆ヲ發シ、走ルヲ五英里
 ニテ「サデーロン」ニ至ル、此處ハ己ニ四千四百三十尺ノ高地ナリ、此ヨリ鐵道
 ノ傾斜益急ニ、軸車ヲ増シ、三輛連リ牽ク「サデーロン」「チナーリン」等ノ高山
 前後ヲ塞キ、雲樹森森天ニ連リ、峯々玉ヲ盤キ、飛雪ハ風ニ從ヒ、綠亂シテ、松樹
 ノ間ヨリ散シ、白上ニ白ヲ埋ム、山嶽ヲ路險ナレト、車中ニハ二重ノ玻璃ヲ設

雪覆ヒノ内景

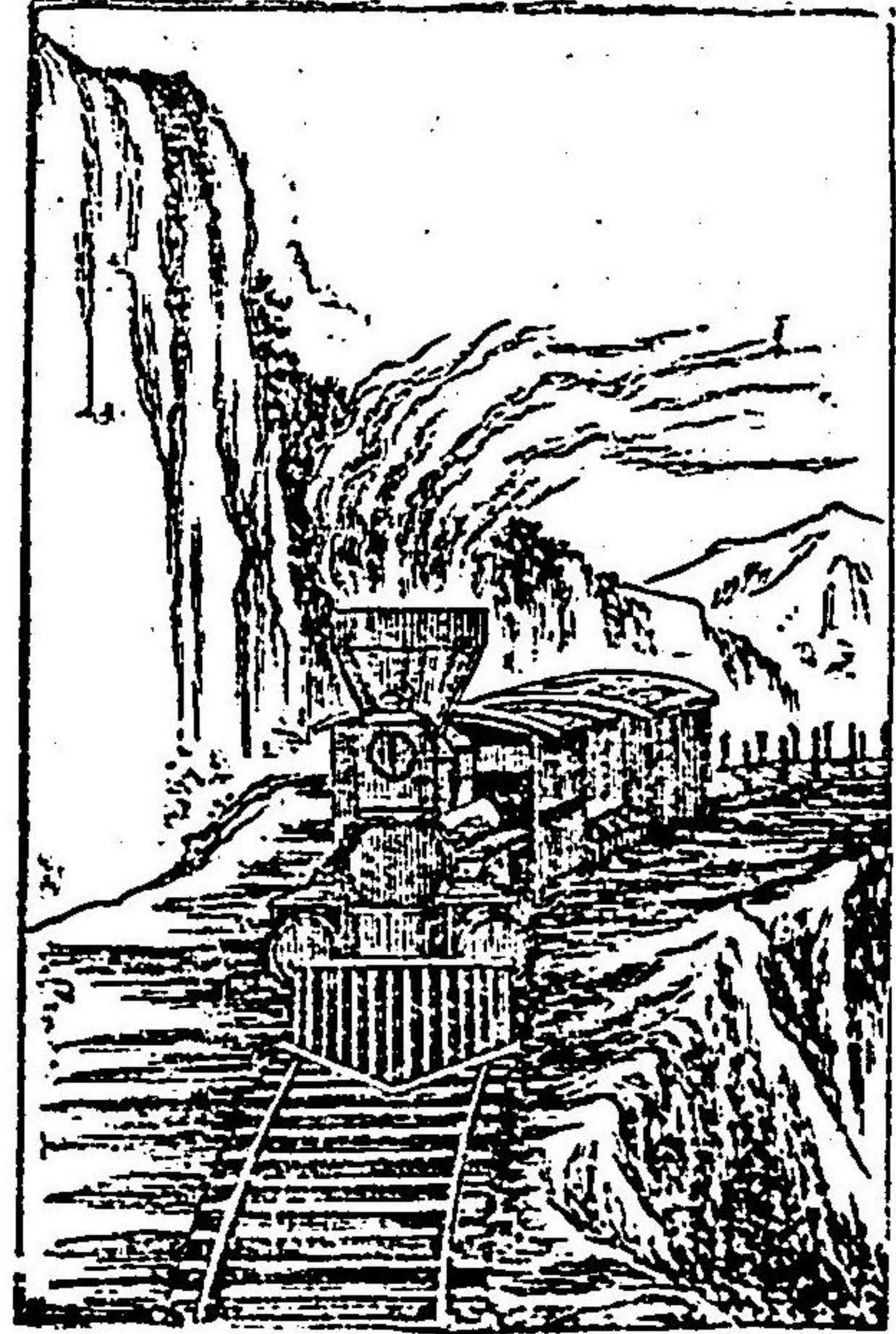


シイルラ子ダ山鐵道雪覆ヒ



シ、火爐温ヲ送レハ、春風ノ中ニ銀世界ヲナカメ、華毯座穩ニシテ險山ヲ越ニ、
只玻璃ノ外寒ヲ遮ル、車中ノ温度ト不均ナレハ、氣息窓ニ蒸溜シ、眺望ヲ妨ケ
ラル、ヲ苦ムノミ、○此邊ヨリ「スノーセッド」トテ、雪覆ヒノ屋ヲ鏡規上ニ設ク、
其製ハ方尺許ノ木材ヲ以テ、八稜角ノ半形ニ釘結シ、其外ヲ板ニテ張タル總
甲屋ナリ、此雪覆ヒヲ二三英里、乃至十五六英里、陸續ト設ク、車其内ニイレハ
闇黒トナリ、洞中ヲ往クニ同シ、時アリテ板隙ヨリ雪光ヲミルノミ、○「サデー
ルン」ヨリ進行スル五英里ニテ「ウエストポータル」ノ隧道ヲ出テ、雪覆ヒ陸續相
連リ、乍闇ク乍明ニ、如此ナルヲ一時半ニテ、竟ニ數十英里ノ雪覆ヒニ入テ、日
暮ニ至レリ、此山中ハ石炭ヲ運スルニ便ナラス、因テ薪ヲ焚テ走ル、雪覆ヒ中
ニ薪ヲ積タル所アリ、殆ト十町ニ連ナル、山路險ニ車行鈍ク、五時間ニ進行ス
ル僅ニ四十八英里ニテ、三千尺ヲ上リ、六時三十分ニ「スミット」ニ着ス、
「スミット」ハ「シルラ子ウタ」山脉ノ絶頂ニテ、海面ヲ抜テ七千〇十七尺、(我千百
六十二間)四面ノ峯巒波濤ヲタ、ミ、猶天ニ秀ツルノ高峯アリ、其中腹ヲ剝露
テ、一ノ隧道ヲツクリ、其山腹ヲ穿チイル、此驛ニ一字ノ假屋アリ、食ヲ造リテ

Stopper Mine



待ッ此口ハ途中ノ故障ニテ晝食ニヨシナリ因テ晝夕ノ兩食ヲ此ニ辨セリ、
此山上ノ大雪ハ深サ六七尺ニ及ヒ、驛舎半ハ雪ニ埋マレ、車ヲ出レハ其寒膚

雪掻車ノ圖

ヲ刮ル此ヨリ雪掻車ヲ繫キ前行
ノ用意ヲナス、雪掻車ハ、板狀ノ帽
ヲ堅木ニ製シ之ヲ蒸氣軸車ノ首
ニ施シタルモノナリ、是ヨリ進行
シ隧道ニ入レハ、咫尺闇黒ニテ天
モ亦夜ニ入タレハ、車中ニ穩眠シ
テ、イカナル險坂ヲ下リシヤヲ知
シス

「スミット」隧道千八



隧道ヲ出テ「ソルキー」河ヲ下ル



第六卷 尼哇達州及ヒ「ユタ」部ノ記

二十五日 晴

昨夕ハ「シイル」ラネヴァ「山」ノ絶頂ナル「スミット」驛ニテ、雪掻車ヲ繁キ進轉シ、大
隧ノ中ニイレハ、暗暗タル永夜ニテ、此日ハ其儘ニ暮ニケリ、凍笹咽ヒテ、輪
ト亂レ、軌道ヲ滑轉シ、穩眠中ニ絶壁ヲ穿テテ、背後ニ馳出ルハ、實ニ神魁鬼工
ヲ欺ク、李太白カ蜀道難ニ、地崩山碎壯士死、而後天梯石棧相鈎連ト賦セシモ、
是ニハ勝ラシ「シイル」ラネヴァ「山脈」ハ、此ヲ脊高ノ處トナシ、進行十一英里ノ間
ニ千七百七十尺ヲ下レハ、即一水ノ淙淙トシテ、玉ヲ憂シテ流ルヲ聞ツ、
「ソルキー」驛ニ達ス、此ヨリ「チヴァ」州ニスル

○尼哇達州ハ、地積八萬三千五百方英里ノ曠土ニテ、加利福尼亞州ト「シイル」ラネヴァ
「山」ノ背脊ヲ分ツ、人口ハ儘ニ四萬二千四百九十一人ニス、キス、銀礦ノ名所
ナリ、「ガト」州ノ「首府」トス、「ソルキー」驛ノ南ニアリ、一千八百七十一年ニ産出
ノ貴金、銀ノ共價二千二百五十萬弗ニ及フ、此州ノ銀礦、頻年ニ盛多ヲ致ス

「世ヲ驚カス恐シハ世界ノ銀價ヲ低下セシムルニ至ラント謂フ勢ナリ夫
 銀ハ其光彩ノ艶ナル^{ハナカ}適ニ金ニ及ハス白銅ト甲乙ヲ争フニスキス亦酸類ニ
 剋ス只其性ノ無毒ナル銅ニ優レルノミ故ニ西洋ニテ銀ハ豪家ノ常用器皿
 ニ用フ固リ貴金中ノ劣レルモノ其貨幣トナルモ黄金ノ補助トスルニ過キ
 ス其價位ノ低衰ニツカフ亦或ハ然ラザル歟

「ツルキー」驛ヨリ奔流ニソフテ下リ走ル之ヲ「ツルキー」河トイフ流勢甚壯ナ
 リ其源ハ山上ノ大湖ヨリ來ル湖ヲ「ツルキー」湖トイフ是ヨリ流レテ連峯ノ
 間ヲ下リ「ツルキー」驛邊ヨリ鎮路ト共ニ流レ去ル響ハ松嶺ニ和シ常ニ楓杳
 ノ音アリ山ハ玉笋ヲ連テ去天不盈尺ノ勢アリ其勝景實ニ壯絶スト恨ラレ
 ハ黑夜ニテ之ヲ眺覽スルヲ得サリシヲ進行七十英里ニテ河ハ北流シテサ
 リ鎮路ハ「ワットスウォルチ」山驛ニ達ス此河ハ是ヨリ北シ「ペーラ」湖ニ奔注
 ス此湖ハ水面積六百方英里ニモ及フ大湖ニテ「ツルキー」河水日夜滔々トシ
 テ注ケル依然トシテ溢ルハナク亦尾閘ノ漏口ナシト天ノ山水ヲ排置スル
 地處ニ於テ如何ナル奇脈ヲ伏セルヤ○「ツルキー」山驛ヨリ「ワットスウォルチ」



テ地勢下ルヲ一千七百七十尺^{フット}此山坡ヲ越エ「チバタ」ノ大野ト
 ナルマテ夜中ニ經過シ景況如何ヲシテス夫ヨリ尙四十五英
 里ヲ走リ「アロウ」ノ小驛ヲ過ル味爽トナレリ車窓ヨリ望
 メハ茫蕩タル荒野ニ山嶺散起シ昨夜ノ大積雪モイツノマニ
 カ己ニ夢ヲ隔テ只山頂ニ魔^{カク}遊ノ白ヲトメタルノミ野ニ片雪
 ノ痕ヲミス此邊ノ野ハ水面ヲヌク四千尺^{フット}ノ平地ナリト云○
 是ヨリ進行スレハ「バンポールド」河鎮路ト相左右シテ東スニ
 時間行ニテ「バンポールド」村ニ達ス停車二十分時朝食ヲ辨ス
 此邊ヲ「バンポールド」ノ荒野ト名ク元亞墨利加沙漠トイヒシ
 所ナリ四顧ノ山嶺ハ處々ニ散起シ爾爾タル枯草天ニ際シ山
 ニ一樹ナク路ニ一泉ナシ河流散漫シ四モ人家ヲミズ李華カ
 弔古戰場文ニ平沙無垠^{ハルカ}不見人河水縈帶群山糾紛其景況眞
 ニ迫ルヲ覺フナリ

○此邊ハ印甸土人ノ住處ニテ窟宅ヲ構ヘタルヲ車中ヨリ時

時ミルヲアリ、窟宅ハ荒草中ニアリ、草ヲ束シ其上ヲ塔形ニ覆フ、窟内ノ景ハ
 加何ナル状ナリヤト、之ヲ知ル人ニ問ヒシニ、曰ク、恰モ球状ヲナセリ、半球ハ
 地下ニアリ、半球ハ地上ニアリト、古昔我日本ノ民モ亦穴居ノ俗ナリシヲ、古
 史ニ土蜘蛛ノ事ヲ記シタルニテ知ラレタリ、又西國ノ山中ニハ、石窟ノ處々
 ニ存スルヲ、土俗ニ鬼ノ窟宅ト唱フ、蜘蛛トイヒ、鬼神トイフハ、皆混濛ノ世、蒙
 昧ノ夷民ヲ稱スル名ニテ、當時穴居ノ景況モカクヤアリヌヲソ、文明開化ノ
 地ヲスキ、此曠古蒙昧ノ域ヲ渉ル、俯仰ミナ耳目ノ感ヲ増テ多シ、○此邊スヘ
 テ印甸土人ノ領地ナリシニ、近年ニ至リ、米人颺テ地ヲ奪ヒシユヘニ、土人ミ
 ナ怨憤シ、今ニ報復セントスルノ心タヘス、鐵道ノ初テ成リシ頃ハ、土人凶暴
 シテ、之ヲ破碎シ、或ハ大石ヲ壓シ、種々ニ妨害ヲナシ、怒レハ毒矢ヲ挾ミテ、行
 旅ヲ射ルニ至レリ、○十一時ニ「バットルモンタン」驛ニ朝食ス、「バットルモンタン」
 トハ、合戰山ノ義ナリ、往時米人ト印甸土人ト戰ヒシ高原ナリ、今ハ村落十餘
 戸アリ、土人之ニ役ヲトル、抑「インヂヤン」トハ、印度人ト云義ナリ、往昔ニ「ユ
 ヌボス」民カ、最初ニ州地ヲ壓濶洋ノ西ニ見出サント志セシハ、亞細亞洲ノ東

ノハタニ「印度」ト云國アルヨシヲ言傳ヘタレハ、西方ロリ捷路ヲトリ、此地ニ
 航渡スル志シナリシニ、竟ニ亞墨利加ノ洲土ヲ發明シタレハ、此コソ「印度」ナ
 リト思ヒ、因テ其人民ヲ「インヂヤン」ト名ツケタリ、其後此地ハ別ノ洲土ナル
 ヲヲ確知シ、之ヲ辯スルモノアレヒ、「コロソボス」ハ、終身前説ヲ執拗シテ改メ
 サリケリ、今ニ中亞墨利加ノ群島ヲ西印度ト云モ、此由來ニモトツクイナリ、
 ○亞墨利加土人ヲ概シテ「インヂヤン」ト呼做セシ、其種類ハ一ナラス、此邊ニ
 住モノハ、其中ニモ賤シヤ民ニテ、其首ハ被髮シ、面ニハ木汁ヲ以テ黄色ニ塗
 抹シ、裝飾トセリ、其面目ハ我邦賤民ノ内ニ、往々ニアル骨相ニテ、色黃黒ニ鼻
 太ク、唇ハ粗厚シ、體骨高シ、衣ハ民家ヨリ破衣ヲ乞テ着タルモノニテ、定俗ヲ
 知ルニ足ラス、薪ヲ負テ人家ヘ鬻グアリ、又勾玉ヲ以テ往來ノ人ニ賣ルアリ、
 言語ハ自ラ其一種ノ語アリト云、後鹽湖府ニ於テ、東久世侍從長ヨリ、當府出
 張ノ「セチラール」某氏ヘ、「インヂヤン」人ノ「ヨ」ヲ聞取シ、大略ヲ載セン、
 西方ノ「インヂヤン」人ハ、石版ニテ漆ヲ以テ「パン」ヲ煉ル、亞細亞地方ノ風俗
 ナリ、鹽湖地ノ近傍ニスル「インヂヤン」ハ、軍人役ヲ「ヤキン」ト稱シ、「カミヤ

キノト稱ス上ト云役人ト云轉語ニ似タリ或ル地方ニテハ木ヲ凹形ニ削
 リ其中へ瓦ヲ投ケイレテ遊ヒヲナス「オノスタラリヤ」ニモカ、ル巖アリ、
 日本ニモ投瓦ノ戯アリ又亞細亞地方ノ風ナルヘシ亞細亞地方ヨリ太平
 洋ヲ渡ルニハ風潮共ニ便ナリ或ハ小船モ通スヘシ又新墨是科部ニ住ス
 ル「インヂヤン」人ハ別一種ニテ勇猛ナリ是ハ日本人ノ流裔ナラン「ニタ」部
 ノ北「オレゴン」地方ニスム「インヂヤン」人ハ勇壯ノ人種第一アリ他ノ「イン
 チヤン」ト尤モ異ナリ文字ハクハシク廉訪セス
 問何ノ年ヨリ住スルヤ、

曰「歴史記録ナシ北方ヨリ移リ來リタルモノナルヘシ」○亞細亞ト米國ト
 ノ界ナル「ベーリンゲ」峽白令峽ハ冬月ニ冰合シテ獸類ヲナ歩涉ス或ハ此
 海峽ヨリ渡リシナラン「インヂヤン」ニ宗教アリ其教文中ニ北方ヨリ平定
 シテ地ヲ畧セル云々ノ説アルヨシ○其所持スル石佛アリ甚々日本國ノ
 佛像ニ似タリ舟モ亦日本製ニ似タリ舳サキニ蛇又ハ人首ナドヲ作り付
 テ艦ヲオスニハ歌ヲウタケ○「インヂヤン」人モ數種アリ大略東方人種西

方人種ト分ツ西方人種ハ即チ當地ナリ食物ハ野菜海草ナトヲ採テ食ヒ、
 木ノ蔓ニテ作りタル籠ヲ背負フ墨是科國北方ノ「インヂヤン」人ハ利巧ナ
 リ堅泥ヲ以テ四角ノ瓦ヲ製シ疊累シテ家室ヲ造リ澄明ナル石ヲ用ヒテ
 窓格トナス木柱梁椽モアリ層樓モ作ル猛獸ヲ避テ垣墻ヲ造ル夜ハ附ヲ
 徹シ猛獸ノ入來ルヲ避ク五穀ヲ耕作シ青色ノ石ヲ愛ス所謂禪太玉ナリ
 ○婦人ノ結髪モ「ミナ」日本人ニ似タリ瓶ニ水ヲ貯ヘ道ニ載ケテ運行ス瓶
 ニハ書ヲ描ク「ミナ」手製ノ陶器ナリ紡織ハ壁ニ絲ヲカケ長ク垂レシメテ、
 布ヲ織成ス、

問教諭スレハ開化ニ赴クヘキヤ、
 答「ホヘアラフ郡村落人種ハ教ヘテ開化ニ赴カシムヘシ他ノ「インヂヤン」
 人ハ化スヘカラス○婦人ハ口下頰邊ニ黥ヲナシ鼻ニ貝ヲ貫キカク此貝
 ハ又大小ヲ差等シ貨幣トナス○「モルモン」宗ノ經中ニモ「インヂヤン」ハ亞
 細亞ヨリ來ルトアリ白令峽ニ潮退ケハ地續キトナル古來ハ相通セシナ
 ラン○「インヂヤン」ニ「イマシー」ト云語アリ古昔「エミシー」ノ説ナラン太平

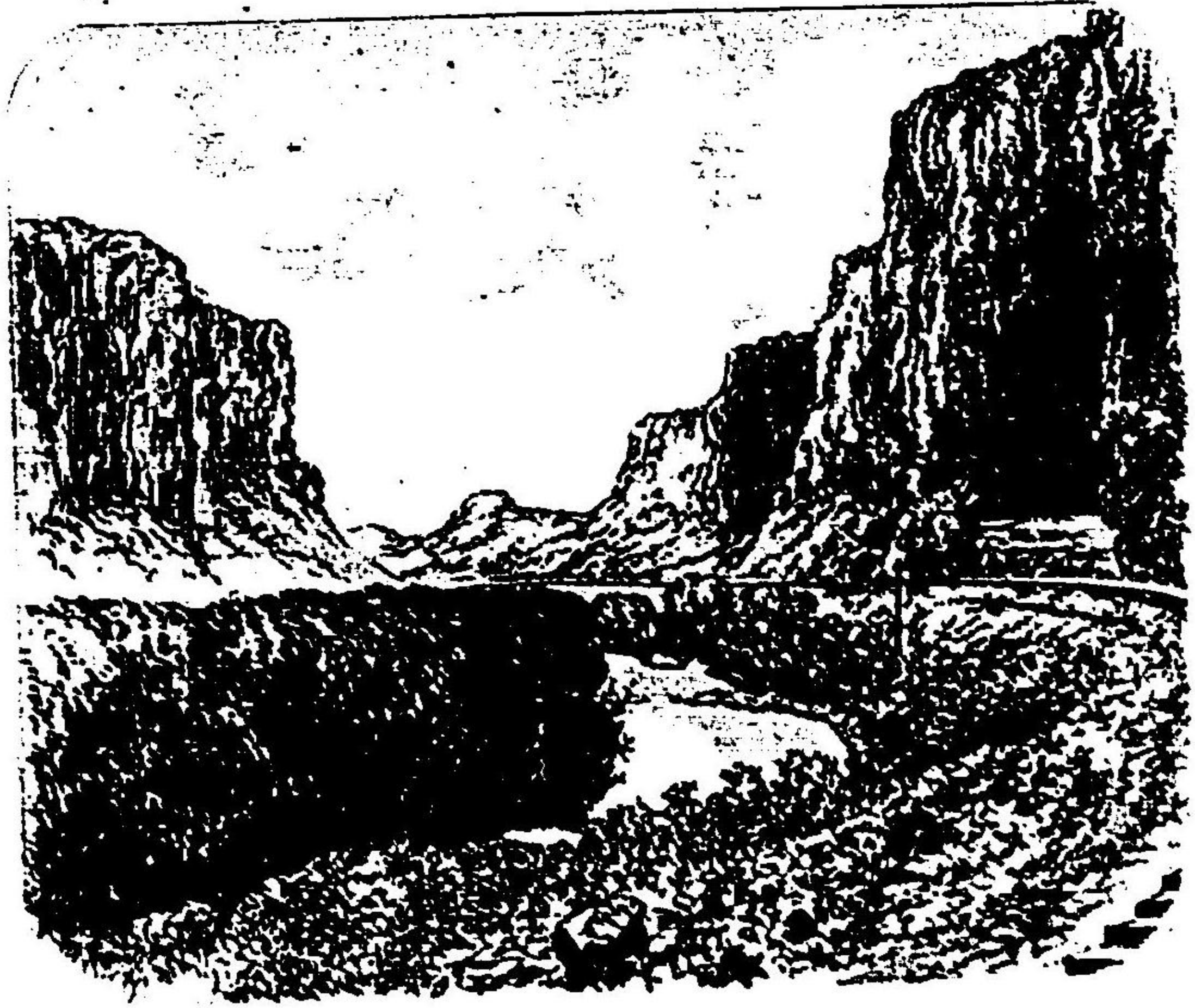
窪「インゲヤン」人ノ應聲ニ「ヘイト云」土人ノ俗、兄死スレハ弟其嫂ヲ娶リ、父
 母ヲ尊敬シ、婦人ヲ愛ス、左レト夫ハ我婦ヲ疎略ニス、木椎ヲ作りテ火ヲ鑽
 リ、雷符ヲ作りテ矢ノ根トナス、「コロソボス」渡來ノ片、墨是科ノ土人ハ開化
 セルモノニテ、墨是科ヘ政府ヲ設ケ建ツ、然ルヲ歐羅巴人來リ之ヲ驅逐セ
 リ、今ニモ墨是科ニハ古代ノ火ト唱ヘ、火ヲ焚キテ長ク消滅セシメス、齋戒
 ヲナスコアリ、人ヲ殺セシトハ兩三日閉籠リ、身ヲ清メテ後ニ人ノ中ニ出
 ツ、石壁ナトニ象駱駝等ヲ彫刻ス、

「バットルモンテ」ヲ發車シテ後モ猶漠々タル荒野ヲ走ル、群山糾紛シ、目ヲ極
 ムレハ、矮草秋風ニ枯テ蒼然タルヲ、如シ、絶テ生氣ナシ、時ニ印甸土人窟
 穴ヲ其叢中ニ構ヘ、十英里ニ一小驛アリ、居民ノ景況ハ、荒島流竄ノ况概アリ、
 往々ニ支那辨髮民ノ住スルヲミル、兩廣福建ノ民ハ、遠海ヲ渡リテ生理ヲナ
 スモノ夥多ク、金山ノ發見ヨリ米國ニ航渡スルコト年々ニ盛ナリト聞シモ、此
 邊遠ノ荒野ニマテモ、徒住シタラントハ意サリキ、○此邊ノ野ハ、土質瘠疎ナ
 ルコト灰ノ如シ、土ヲ掘タル跡ニハ、五寸ナラスシテ積石磊磊トシテ出テ、曾テ

ハンボルト荒野印度土番ノ住居



ハンボルト河ベリカステ峽



洞澤ノ氣ヲ帶ヒス地理家之ヲ相シ此地ノ元始ハ火山ヨリ噴出セル燒土ノ成タル地ナラント謂ト山脈ハ離散シ東ニ聳レハ西ニ伏シ西ニ横レハ東瀕ニ遠山落々トシテ連嶂ヲミス雪色斑然終日生樹ヲミス

○二時半ニ「ベリカステ村ニ至ル」ハムボルト河ハ此ニ至リ幅三百尺許ナリ山嶺漸ニ合シ河水峽ヲ分テ流ル河岸ニ水楊樹ヲ生ス其暢茂セルモ二尺ニスキサレヒ河濱ノ地ハヤ、潤ヲ含メルニ似タリ一部ノ村落アリ「テント」ヲ張テ家トセルアリ或ハ土磚ヲ積テ依様ニ瓦壁ヲナセルアリ又木材ノ屋ニ鉛漆ノ倣然タルモアレヒ此邊ノ漠野ハ數百英里ノ間ニ絶テ樹木ナキ赤土ナレハ材ヲ運輸スルノ路程遠ク價不賈ナレハ多クハ木材ノ屋タニモ造ル能ハス生意ノ艱モ亦甚シ尙此一村ヲナスハ移民イカナル生計ヲナシテ此ニ住スルヤ驚クニ足ルナリ○此村ヲ過レハ河峽益局束シ山嶺屏ヲ立ルカ如ク僅ニ一河ノ流レヲイル、ノミ鏡路ヲ架スル其山足ヲ鑿破シ一條ノ路ヲ開ケリ故ニ往々ニ山上ヨリ岩石墮崩シテ落ルアリテ鐵路ヲ壓シ人ヲ傷ル「ア」リ修繕ニ勞多キヲ以テ今マサニ別ニ地ヲ相シ路線ヲ改メ「ア」ヲ



測量スルト云、此ヲ「ベリサツテ」ノ峽路トイフテ、鐵道中ノ一勝景
 タリ、兩厓ノ山嶽々トシテ聳へ、其最高キハ一千五百尺ニ及フ、
 峽河ハ水清ク流穩カニ、遠嶂影ヲ倒ニシテ巉岩ヲ浸シ、村民時
 ニ小艇ヲウツテ流ニ溯ルアリ、鐵路ハ是ヨリヤ、高地ニツキ
 河流ト別ル、○五時ニ「エルコ」驛ニ達ス、停車スルハ半時、此ニテ
 晩食ヲ辨ス「エルコ」ハ此邊ノ一庶村ナリ、人口三千ニ及ヒ、市街
 ヲナシテ頗ル較美ノ屋モアレヒ、四鄙ノ矮屋ハ「ベリサツテ」一般
 ノ光景ナリ、此村ニ石炭ヲ出ス、蒸氣車ノ必需ナレハ、鐵路ト共
 ニ繁昌スルト云、停車ノ間ハ村邊ヲ消遙シ、夫ヨリ發車スル一
 英里行ニテ日沒ス、此邊ヨリ又地上ニ斑雪ヲミル、今朝過タル
 「アロウエン」ノ野ハ、水面ヲヌクテ四千尺ノ地ナリ、此ニ「パウル」モ
 テノ「マテ」ニ五百尺ヲ上リ、此ニテハ己ニ二千尺ヲ上レリ、是ヨリ
 百十英里ヲ走リ、夜半ニ「テコマ」驛ヲスキ「ネバタ」州境ヲツクシ、
 「ユタ」テリトリ「ノ境」ニ入レリ

「ツルキ」ヨリ「テコマ」マテ「ネバタ」州ノ境ハ、鐵路スヘテ四百六十三英里、桑
 港ヨリ七百二十四英里

二十六日 陰

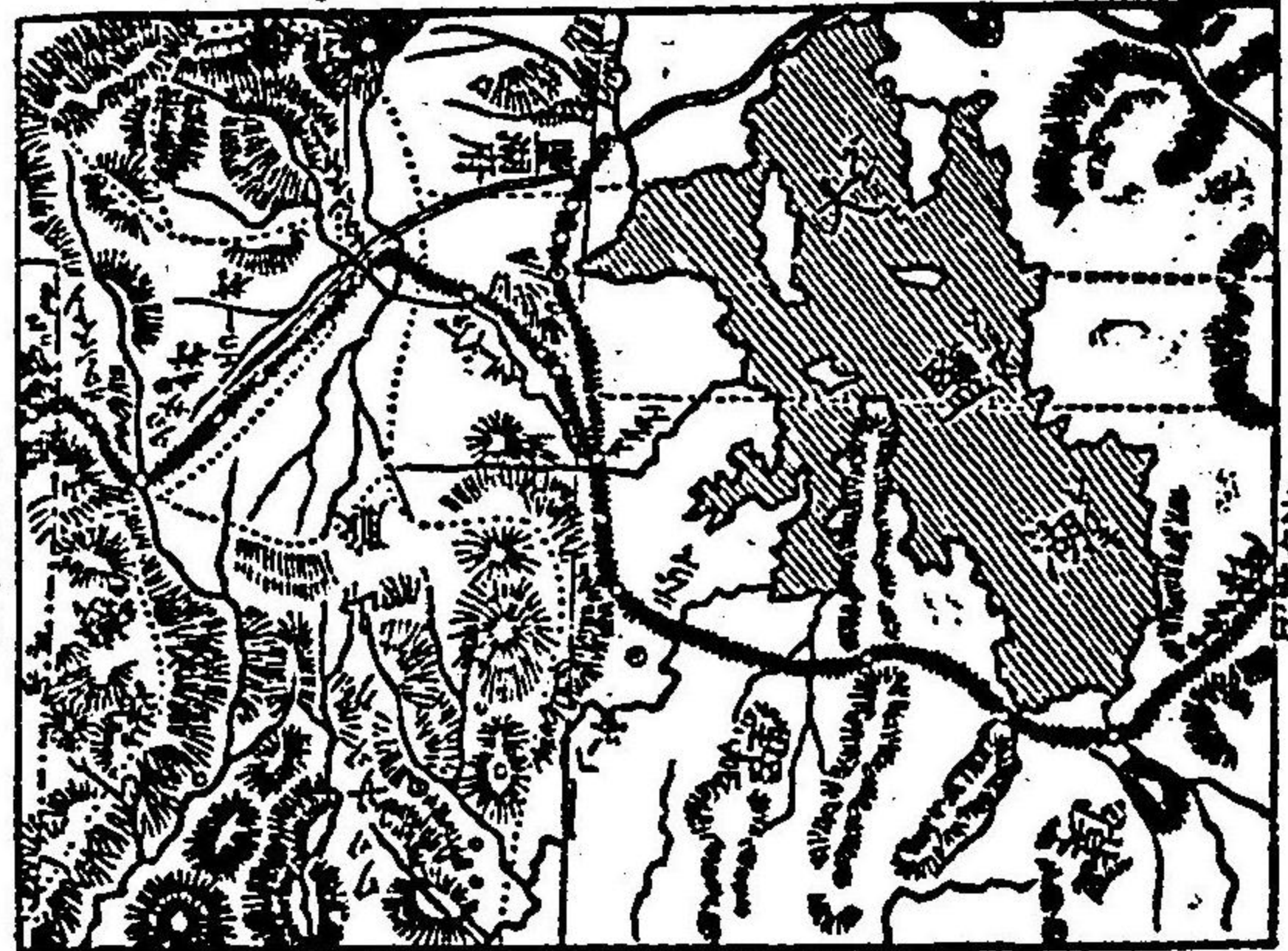
昨夜「ルシ」驛ヨリ「ユタ」部ニ入ル、猶一色ノ漠野ナリ、海ヲヌクテ四千五百尺、
 ○「ユタ」部ハ「落機」大山脈ノ西麓ナル野地ニテ、地積スヘテ八萬八千〇五十六方
 英里、人口ハ一千八百七十一年ノ統計ニ、八萬六千七百八十六人ニ及フ、大政
 府未ダ州治ヲ建ルヲ許サスト云、

「コリン」子驛ニテ天明トナル、此ニ大湖アリ「ソール」トレイキト名ク「コリン」ネ
 ハ其東北濱ニアリ、人口二千ニ及フ、東ハ山ヲ負ヒ、西ハ湖邊ノ平地ニテ、落機
 山ノ西麓ヨリ流レ來ル「ベ」河アリ、西流シテ湖ニ注ク、流淤野ニミチ地ハ沮
 澤ヲナセリ、○七時半ニ「オク」デ「ン」驛ニ達シ、朝食ヲ辨ス、此村ノ生口ハ三千ニ、
 及フ、東ニ「ワッ」サツク山ノ餘脈ヲ負ヒ、西ハ湖濱ノ沮澤ニ面シ、時ニ湖光ヲミル
 濱湖ハ「ウ」エ「ベ」河ノ流淤ニテ、鋤犁ノ跡ナシ、高爽ノ地ニハ、籬柵ヲ匝シ、牧畜ヲ
 ナセル處多ク、山岡ニハ樹木ヲミル、村戸ノ繁キモ小屋多シ、村ノ四邊ヤ、開

鋤ニツケテ十ノ八九ハ猶荒廢ノ地ナリ「カントリー」太平會社ノ鐵道ハ此驛ニテ盡キ是ヨリ「ユニオン」太平會社ノ鐵道ニ接ス落機山ノ大雪ニテ鐵軌ヲ埋没シ會社ヨリ數千人ヲ發シ雪ヲ撥スレテ路未タ開カサルトノ報アリ因テ「ユタセン」タラール會社ノ蒸氣車ニ移リテ南方ノ「ソールトレイキ」シチー」ニ赴ケリ

「ソールトレイキ」ハ鹽湖ト譯ス鹽湖ハ此邊ノ小海ナリ凡チウヅク山以東落機以西ノ大漠野ハ四至皆山ニテ水ノ大洋ニ注入スル處ナシ湖ヨリ流レ湖ニ注キ源頭アリテ尾閘ナシト云鹽湖ノ水面積ハ總テ二千百方英里ニ及フ大略方形ヲナシ中ニ山岬ヲ斗出シ四島四嶼ヲ點綴ス其最奇ナル處ヨリ向岸ヲ望メハ一碧天ヲ浸ス環湖ノ山ハミナ巉嶮タル岩嶂ニテ土色黃赭ニ草木ヲ生セス枯燥シテ潤澤ナシ皺皺ハ奇騁ヲ露シ湖ニ映シテ氣色ヲナセヒ索然トシテ風致ナシ四顧ノ野ハ蒼々莽々トシテ漠野ノ光景殊ニ荒寒ヲ覺ヘタリ○此湖ハ鹽鹵ノ脈ヲ鍾メ其水甚鹹ニ鱗族モ生息スルヲ得ス土耳其ノ死海モ其鹹ヲ讓ルトナリ凡洋海ノ湖ハ至テ鹹ナルモ百分中ニ三分ノ鹽ヲ

含ムニスキス此湖ハ百分ニ二十五ノ鹽ヲ含ムトナリ鹽ハ「コロール」質ト



達トノ抱合ニテナルモノナリ其源ハ陸ニアリ水ニ溶化セラレテ海ニ入ル海水ノ鹹味ハ元陸地ヨリ送ルナリ此湖濱ノ地ニ鹽ノ結晶塊ヲ處處ニミル漢土涼州ノ漠野ニ石鹽ヲ沙中ヨリ出ス古地誌ニ載タリ鹽ハ陸地ニ生シ海ニイテ元來陸地ノ產物ナリ後新約克ノ鹽坑英國「チムスル」ノ條ニ鹽岩ヲ記見ヨ ○「オクテン」ヨリ鹽湖ノ東南ヲ走リ「シエー」ヘ河ヲ越ヘ湖濱ノ野ヲユケハ湖上ノ岬島ニ山峯亂立シ湖水鏡ノ如ク車走レハ山移リ頗ル眺望ニロロシ三十五英里ヲ走リテ鹽湖府ニ達ス

「テコマ」ヨリ「オクテン」マテ鐵路百五十七英里桑港ヨリ八百八十一英里

○鹽湖府ハ北緯四十一度三十分西經百十四度零ニ位シ人口一萬四千アリ山ノ利ニヨリテ近年頻ニ繁庶ヲナス其地ハ湖濱ノ平野ニテ西方廣嶺ナリ

東方ハ落機ノ餘脈「ワツサツ」山蜿蜒ト積岩ノ嶺嶺ヲ走ラシ北ニ赴ク高峯ハ雪ヲ盛キテ崔嵬タリ府中ニ一河ヲ抱ク「ヤコルダン」河ト云此南四十英里ニ「ロヴ」府アリ其地ノ「ユタ」湖ヨリ打出シテ此府ヲスキ鹽湖ニイル市中ノ街路ハ其寬キハ百尺ニモ及フ縱橫井々トシテ兩側ニハ樅樹ヲ植テ馬車人行ノ道ヲ分ツ固リ斃石モナサレハ雨雪ノ後ハ塗泥履ヲ没ス人道ニハ沙ヲ撒シ較潔ニシテ歩スヘシ「瓦斯」會社モ未タ興ラサレハ只十字ノ街ニ於テ四隅ニ各一基ノ燈ヲ點シ路ヲ照ス人家ハ木材ノ屋多シ「モルモン」宗ノ人ハ一婦ヲ娶レハ一窓ヲ増スト云○府中ノ地域甚廣ケレハ繁華ナル市街ハ三四條アルノミ店前ノ人道ニハ板ヲ敷キ肆店ニハ礦精油ヲ燃シテ瓦斯ニカヘ時ニハ氣管ニ穴シ花狀ニ燈炎ヲ分チテ人觀ヲアツメル肆店アリ○此日午後ニ當府ニ著シテ「タウン」セント「ハウス」ニ宿ヲナス

二十七日 雪晴此朝室外
寒三十四度

此朝大雪尺餘ニ及ヒ山野ニナ白シ昨夜倉卒ニ僻邑ニ投宿シ一行半ハ旅宿ヲ定ムルニ違アラズ晨ニ雪ヲ踏テ驛ヨリ旅館ニ往來シ頗ル艱困ナリ○

午後ニ府ノ東部ノ温泉ニ至ル市中ヨリ一英里餘ナル山角ニアリ源泉ニテ温度ハ肌ニ適ス此ニ木製ノ湯屋ヲ構ヘ室々ニ湯ヲ蓄フ深サ四尺五六寸ニ及フ數區ヲ分ツテ浴セシム湯錢ヲ収ムル人コトニ二十五セントニ

二十八日 陰寒室外ノ空氣ニ
十八度夜雨フル
此日當「テリトリー」政廳ニ至ル「テリトリー」ハ部ト譯ス政府ノ開拓地ト謂ノカ如シ○「ユタ」部ハ一千八百五十年國會ノ議決ニテ「テリトリー」ノ治ヲ開キタリ凡ソ合衆國ハ各州聯合シテ一國ヲナセルモノニテ各州ニハ州憲（ステート・コン）ヲ設ケ其州民ヨリ統領ヲ推舉シ政府ヲ建テ各自主ノ政治ヲナス國內ニテハ儼然タル獨立國ナリ外國ニ對スレハ共同シテ之ヲ待ツ故ニ大政府ハ州々ヨリ共設セルモノニテ州々ハ大政府ヨリ建タルモノニ非ス未タ州ヲ成スニ至ラサル開拓地ハ官有トシ國會ト大統領トノ預リニシテ大政府ヨリ一人ヲ擇ヒテ統領トナシ其下ニ於テ部中ノ住民ヨリ撰テ立法官ヲ置シマテニテ國會ハ議員ヲ出ス權ナシ只一人ノ代權人ヲ出シ其部ニカ、ル議事ノミ發論ヲ許サル○此日部ノ統領府ノ知事等官吏百餘

人ト、廟中ニ會語シ「スピーチ」アリ、

夫ヨリ當部ニテ第一ノ豪家「セニン」氏ノ家ニ至ル、主人酒果ヲ供ス、

○歸路ニ「モルモン」宗ノ大寺ニ至ル、此寺ハ石ヲ以テ柱トシ、板ヲ以テ屋根トシ、

楕圓形ニ築キ起シ、長サ二百五十尺、幅百五十尺、廣キ堂内ナレト、中ニ一柱ナ

シ、一萬二千人ヲ座セシムヘシ、正面ニ風琴ヲ仕掛ケ、三面ニ回樓ナリ、○此堂

ノ側ニ又地ヲ鑿リ石ヲ疊ミテ、一大堂ヲ起サント、基礎略成レリ、其規模ハ更

ニ此堂ヨリ廣大ナリ、「モルモン」ノ信徒ハ、スヘテ二十萬人ニコヘストナシ、然

ルニ山阪ノ荒都ニモ、カハル大寺ヲ起ス、西洋ノ人、宗教ヲ信シ、其寺ノタメニ

金ヲ贖スルヲ惜マサル、是ニテモ察スルニ足ナリ、

「モルモン」宗ハ耶蘇教ヨリ分レタル一種ノ異教ニテ、西洋人ハ以テ邪宗ト擯

斥スル教タリ、其教旨タル、一夫七婦ヲ娶ル以上ニ非レハ、天堂ニ上ルヲ得ス

ト謂フ宗ニシテ、此宗ヲ始テ唱ヘ起セルハ、當國「ヴェルモント」州ノ人「ゲウゼフ

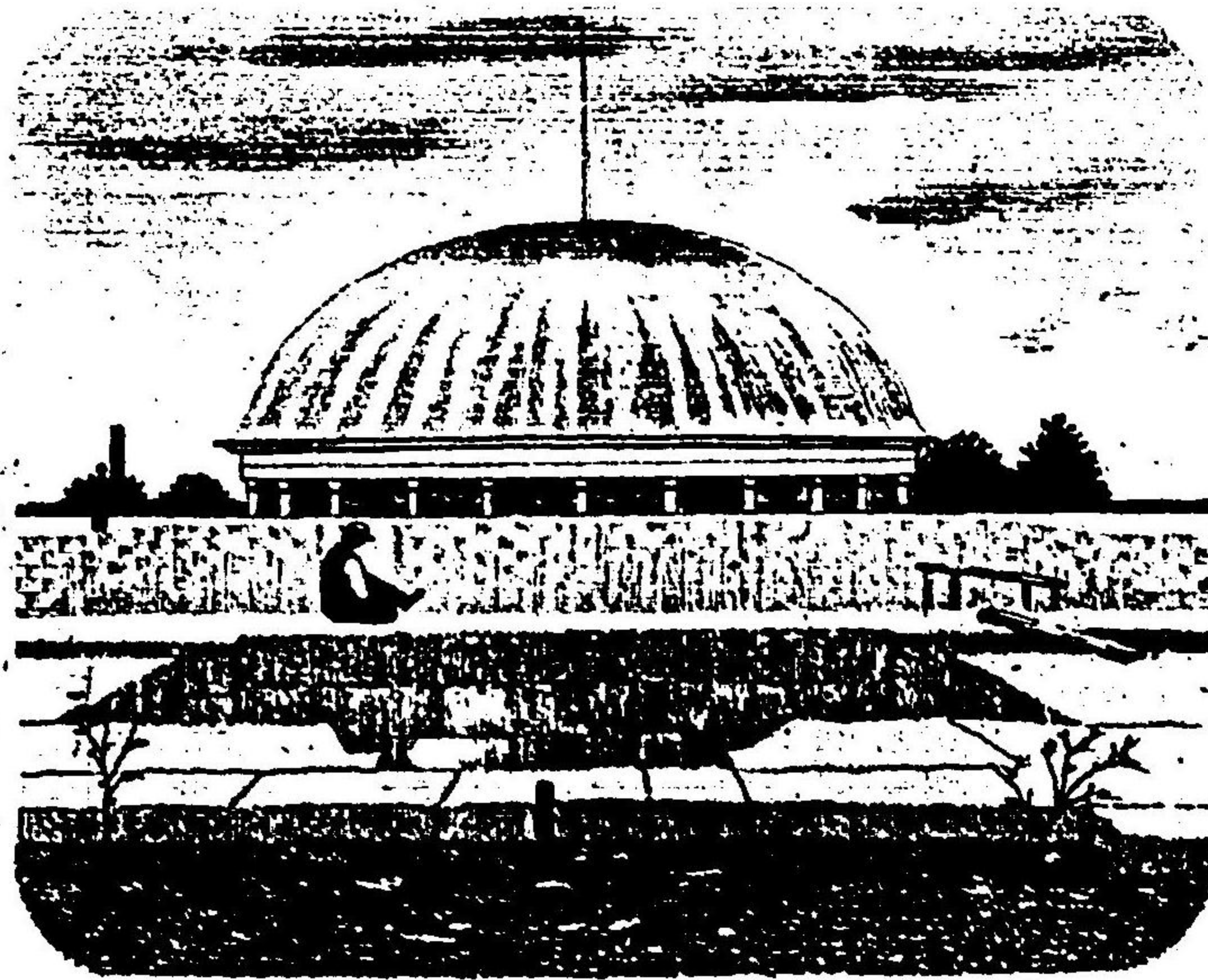
スミット」ナルモノ、林中ニテ神人ニアヒ、其告ニテ經文一卷ヲ石室中ニ得タリ

ト稱シ、此宗ヲ唱ヘ起セシニ、後暗殺ニ逢ヒ、其姪ニ「ハルガミヤン」コング「ナル

大鹽湖府廳前ノ景



モルモン宗ノ寺



者アリ、新約克州ノ人ナリシカ、三十二歳ニテ妻ヲ失ヒ、是ヨリ意ヲ學問ニ傾
ケ、其後英國ニ遊ビ「モルモン」ノ奥義ヲ研シ出シ、歸テ後ニ其教ヲ主張シケレ
ニ、新約克ノ人ヨリ放逐セラレ、一黨百四十三人ト共ニ、此山奥ニ窟匿シテ、選
ニ此府ヲ開キ起スニ至レリ、是一千八百四十七年ノ事ニテ、今ヲ距ル、二十
三年ノ前ナリ、「ヨング」氏當年七十一歳ニテ猶健存ス、妻十六人、子四十八人ア
リ、家産巨萬ヲ累テ、其邸宅ハ府ノ東北ナル山嶼ニアリ、街ニ跨リ、地域ヲシメ、
儼トシテ城郭ノ如ク、勢ハ封侯ニ比ス、宅地内ニ「デモタノ」河ノ支流ヲ引テ、紡
織場ヲ起シ、水輪ニテ機ヲ運シ、羅紗ヲ織ル、一日ニ三百「ヤールト」ノ長キニ及
ブ、「ユタ」部ニ羊毛ヲ出ス、十萬「ポント」スヘテ、此人ノ製造料ニ供スルナリ、又「ユ
タ」セソ「タラル」會社ノ鎮道モ、此人ノ私社ニカ、ル、○此「モルモン」教ハ「ユタ」部
ヨリ「ネヴァタ」新墨是科部ニ流布シ、信教ノ徒二十萬人ニ及ヒ、延テ加利福尼亞州
ニモ浸溢セントスル勢ナリケレハ、米國ノ人、ミナ之ヲ憎ミ、本年大政府ノ議
決ニテ、其宣教ヲ禁止セント、教師ヲ呼出シ、議院ニテ論辨セシニ、辭屈セリ、因
テ今ヨリ信徒ノ外ハ、宣教スルヲ止メ、「ヨング」カ外出ヲ禁シ、其家ニ番兵ヲ以

テ脱走ヲ防衛セリ

此教ハ英國ニモ唱フモノアリト「ヨング」モ蘇格蘭ニ遊ヒテ此放蕩ヲ研シ
タリ然レモ此後蘇格蘭ニ至リシモ蘇人ニ鹽湖府逗留ノヲ話スレハ虎
穴ニモ宿シタル如キ想像ヲナシテ且曰ク英國ノ無賴無行ノ徒ハ「ミナ逃
テ鹽湖ニ徒ル」天下惡黨ノ叢ナリト惴惴然ト懼レタリ西洋人ノ異宗ヲ畏
ル此類ナリ後一千八百七十三年ニ至リ「ヨング」ハ其徒ト此府ヲ脱走シ
リトノ新聞アリ

○此寺ノ前ニ博物館アリ一字ノ小室ニテ聊カ各種ノ物件ヲ集ム背ニ禽獸園
アリ異獸三四頭ヲ養フノミ

夜劇場ニ招カル場屋ノ設ケ頗ル廣大ナリ日本ヨリ輸入ノ挑灯ヲ挑ケテ享
應ヲ示ス礦油燈ノ前ニアリテハ闇淡トシテ光ナキヲ覺エタリ

二十九日 晴寒嚴ナリ

「ドングラス砲臺ニ至ル此地ハ鹽湖府ノ東方三英里ノ山麓ニアリ合衆國常
備兵鎮臺ノ一ニテ印甸土人ノ反側ニ備フ堡壘ナリ山ニ憑テ砲臺ヲ築キ西

方ハ湖水ニヒカヘ湖濱ノ野ヲ俯瞰シ鹽湖ヲ西南ニ望ム要害ノ地ナリ此ニ
備フ歩兵六小隊砲兵一小隊小銃六百挺ヲ蓄フ合衆國ハ東百大洋ニヒカヘ
北ハ英屬地ニ境ヒ國境ニ常備兵ヲ備ヘ不慮ニ警スル地甚少シ只内部ニ印
甸土番アリ山陬野莽ニ嘯聚シ開化ニ馴致スヘカラス怒レハ蜂聚シ驚ケハ
禽獸シテ邊境ヲ擾亂ス故ニ合衆國常備兵ノ設ケハ重ニ其反側ニ備フ此邊
ノ部地ニ其鎮臺多シ○此日「セネラルモロー」以下將士十八人營ニ迎ヘテ酒
果ヲ供シ「スピーチ」ヲ演シ諸壘ヲ回リテ歸レリ

晦日 微雨晚際ヨリ晴

午後一時ヨリ「モンティンホール」學校ニ至ル男女九歳ヨリ十七八歳マテノ
童生百五十人ヲイレテ教フ當府ハ部内ニテ第一ノ都會ナリ生齒ハ一萬五
千ニミタサレモ二十一ノ學區ヲ分チテ每區ニ一學ヲタテ各九小區ヲ分
チ教育ヲ督ス學費ハ所有稅三分ノ一ト修業料ヲ父兄ヨリ年ニ三弗乃至七
八弗ヲ取立ルト云

○夫ヨリ「モルガン」商學校ニ至ル此學校ニテハ諸色ノ取引張簿ノ附控ヘヨリ